

四日市看護医療大学

学生の確保の見通し等を記載した書類 目次

(1) 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況・・・・・・・・・・ 2

① 学生確保の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

ア. 定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要・・・・・・・・・・・・ 3

ウ. 学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

② 学生確保に向けた具体的な取組状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

(2) 人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・ 7

② 社会的および地域的な人材需要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

ア. 社会における必要性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

イ. 臨床検査技師の勤務状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

ウ. 臨床検査教育の四年制化への期待・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

エ. 人材需要アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

資料

## 学生の確保の見通し等を記載した書類

### (1) 学生の確保の見通しおよび申請者としての取組状況

#### ① 学生の確保の見通し

##### ア. 定員充足の見込み

一般社団法人日本臨床検査学教育協議会によると、2018年6月1日時点で全国の臨床検査技師養成課程は58大学で開設されている（国公立22大学、私立36大学）【資料1】。このうち、臨床検査技師の養成を学科等の主たる目的としているのは53大学と推察される（国公立22大学、私立31大学）。【資料2】はこれらの53大学のうち、臨床検査系以外の学科・専攻等との一括入試行う2大学を除いた51大学の2018年度の入学定員、2009～2018年度の志願および合格状況を一覧にしたものである。2018年度の入学定員は51大学合計2,934名で1大学平均57.5名、東海四県の5大学に限ると合計360名で1大学平均72名となっている。志願および合格状況について要約すると、以下の表の通りである。

##### <全国>

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
学科数	35	35	39	40	43	45	46	48	50	51
志願者数(a)	7,486	8,549	9,825	11,208	12,495	14,009	12,169	13,049	14,875	14,203
合格者数(b)	4,044	4,128	4,385	4,504	4,930	5,083	5,206	5,535	5,859	5,800
倍率(a÷b)	1.9	2.1	2.2	2.5	2.5	2.8	2.3	2.4	2.5	2.4

※蛭雪時代「2009年～2018年8月 全国大学内容案内号」、一部、河合塾「Guideline」に基づく。

※2015年度は1大学、2018年度は1大学が志願者数・合格者数を非公表。

##### <東海四県>

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
学科数	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5
志願者数(a)	1,039	1,206	1,434	1,837	1,888	2,112	1,579	2,081	2,042	1,979
合格者数(b)	564	503	627	683	853	673	709	827	804	918
倍率(a÷b)	1.8	2.4	2.3	2.7	2.2	3.1	2.2	2.5	2.5	2.2

※蛭雪時代「2009年～2018年8月 全国大学内容案内号」、一部、河合塾「Guideline」に基づく。

※岐阜県1大学、愛知県3大学、三重県1大学の結果。

全国においては、2009年度は35学科に対し、志願者数7,486人で合格者数4,044人、倍率（志願者数÷合格者数）は1.9倍であった。一方、2018年度は51学科に対し、志願者数14,203人で合格者5,800人、倍率は2.4倍であった。過去10年間で志願者数は倍増し、また倍率も2011年度以降は2倍超を維持していることから、臨床検査系学科が受験生にとって人気の高い学科であることが分かる。

東海四県においては、2009年度は4学科に対し、志願者数1,039人で合格者数564人、倍率は1.8倍であった。一方、2018年度は5学科に対し、志願者1,979人で合格者918人、倍率は2.2倍であった。過去10年間で学科新設は1大学に留まるが、2010年度以降の倍率は2倍超を維持（2014年度は3.1倍）している。また、【資料3】は2018年度時点における、東海四県の臨床検査系学科の充足状況である。学科別の状況が明らかとなっている2大学においては全て100%超の学生が在籍しており、残り2大学においても、学部または学科全体で1大学で98.7%、他1大学で107%と高い充足状況となっている。

なお、本学が臨床検査学科を開設すると、東海四県において臨床検査系学科を設置する私立大学は6大学となる。本学の臨床検査学科の入学定員は、全国平均の57.5名および東海四県平均の72名を大きく下回る50名とする予定である。また、臨床検査技師に加え細胞検査士養成にも対応した教育課程を置き、東海四県では初めてダブルライセンス取得が可能となる。さらに本学が位置する四日市市は三重県北部に位置する三重県最大の人口を擁する中心都市で、桑名市、鈴鹿市、亀山市など近隣市町から四日市へ通学する者も多い上、東海における最大都市・名古屋市からも近鉄名古屋線で結ばれており、東海の広い地域から通学至便な立地といえる。事実、本学は2007年の開学以降、既設の看護学科に市内・市外から多くの入学者を得ている。

以上の点や、臨床検査系学科の全国ならびに東海四県他大学における志願状況、東海四県他大学における定員充足状況を踏まえると、本学の臨床検査学科の定員充足はなんら問題はないと推察されるが、学生確保の見通しを客観的に検証するため、学生確保の見直し調査（高校生アンケート調査）を第三者機関に委託し実施した。

## イ. 定員充足の根拠となる客観的データの概要

【資料4】は本学が臨床検査学科の学生確保の見直しについて更なる検証を行うために、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し実施した高校生アンケート調査の結果である。その実施概要は以下のとおりである。

調査内容	本学が2020年度に設置構想中の臨床検査学科における学生確保の見直しを検証するために、高校生アンケートを実施した。 アンケート項目は全7問で、全て選択肢式とした。
調査実施時期	平成30年10月～12月

調査対象	2020年度の大学入試を受験する可能性が最も高い <u>高校2年生</u> （2020年3月卒業予定者）をアンケートの対象とした。
実施高校	三重県・愛知県を中心とする東海四県、過去に既設の看護学科にて志願者確保の実績がある周辺県の高校にアンケート実施の依頼を行い、48校（公立27校、私立21校）より実施協力を得た。
実施人数	4,782人

このように、高校生アンケート調査は本学の臨床検査学科の学生確保が期待できる、本学が位置する三重県および通学至便な愛知県を中心とする東海四県、また過去に既設の看護学科にて志願者確保の実績がある周辺県の高校にアンケート実施の依頼を行い、48校（公立27校、私立21校）、具体的には三重県22校（公立14校、私立8校）、愛知県18校（公立7校、私立11校）、岐阜県4校（公立4校）、静岡県2校（公立1校、私立1校）、長野県2校（公立1校、私立1校）より実施協力を得ることができた。これら48校に在籍する高校2年生（2020年3月に卒業予定で2020年度に大学進学時期を迎える者）、合計4,782人を対象に高校生アンケート調査を行った。

高校生アンケート調査では、本学の臨床検査学科の具体的な特色・学費・アクセスなどを具体的に示した上で、受験意欲について回答を求めたところ、予定する入学定員50名を大きく上回る165人が臨床検査学科を「受験したい」とした。その上で、受験意欲を示した165人に対し合格した場合の入学意欲について回答を求めたところ、55人が「合格した場合、入学したい」、108人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」とした。「入学したい」とした高校生55人のみで、臨床検査学科が予定する入学定員50人を上回り、さらに「併願大学の結果によっては入学したい」と回答した108人を加えると、臨床検査学科への入学を具体的に検討している者は計163人おり入学定員の3.26倍であった。

なお、文部科学省「学校基本調査（平成30年度）」によると高校生アンケート調査を行った三重県、愛知県、岐阜県、静岡県、長野県の高校数は全日制のみで515校あり、平成30年度時点での高校2年生（2020年度に大学進学時期を迎える者）は5県合計で151,883人いる。今回実施した高校生アンケート調査は48校4,782人の高校生の入学意欲について測定した結果に留まっていることから、今後の広報活動を通して本学の臨床検査学科が広く認知されることで、5県ならびにそれ以外の周辺県においてもアンケート結果を上回る志願者確保は可能であると推察される。

ただし、今後学生確保を行う上で、長期的には本学も少子化の影響は免れない点を考慮すべきである。**【資料5】**は平成27年度国勢調査を元に作成した、大学進学対象者推移予測（2020～2034年度）である。2020年度における三重県、愛知県、岐阜県、静岡県、長野県の大学進学対象者数合計は167,173人で、平成30年度時点の全日制高校2年生の人数151,883人を多少上回っている。国勢調査では各地域において住民登録を行



う者が年齢別に算出されており、通信制・単位制高校通学者、当該地域以外の高校への通学者、就労者等を含むが、長期的な少子化進展の規模を確認する上では支障と判断できるため根拠データとして用いている。臨床検査学科が開設する予定の 2020 年度と 2034 年度（開設 15 年目）を比較すると、大学進学対象者は全国で 81.9%（2034 年度の 2020 年度比）となる。高校生アンケート調査を行った高校数が最も多い三重県では 75.2%で全国水準より減少する割合がやや高く、高校数が 2 番目に多い愛知県では 86.9%で減少率は比較的低い。5 県合計では 2034 年度は 133,525 人で、2020 年度比 80.0%となる見込みであり、本学も今後進展する少子化の影響を免れないことは明らかである。高校生アンケート調査の結果によると臨床検査学科への入学を具体的に検討している者は計 163（受験意欲を示した 165 人のうち入学意欲を示した者）人おり、上記の人口減少を踏まえても  $162 \text{人} \times 80.0\% = 129 \text{人}$ で、依然として入学定員 50 名の 2.58 倍程度の志願者確保が可能であると推察されるが、長期的かつ安定的に学生確保を行うために開設当初より少子化進展を踏まえた積極的な広報展開を行っていくことが重要である。

## ウ. 学生納付金の設定の考え方

私立大学の臨床検査系学科における平成 30 年度時点の学生納付金は【資料 6】のとおりである。私立 31 大学における入学金、授業料、施設費、実習費、諸会費（各納付金の呼称は大学により異なる場合がある）を含む初年度の学生納付金合計は平均で 1,763,334 円、東海四県の 4 大学では 1,744,325 円である。本学では臨床検査学科の教育目的を実現しうる教育体制を置くことを前提に、学生の過大な負担とならないこと、また他大学との競争力といった観点も十分に考慮した上で、以下のとおり設定した。  
〈初年度納入金：1,715,500 円〉（内訳）入学金：200,000 円、授業料 960,000 円、施設費 270,000 円、実習費 260,000 円、諸会費 25,500 円

## ② 学生確保に向けた具体的な取組状況

学生確保に向けた具体的な取組状況としては、新学科である臨床検査学科は、既設学科である看護学科と同じ学問系統である医療系であることから、これまで積み上げてきた実績に基づいた広報活動を行っていく予定としている。

まず、高校訪問においては、エリア別に A 最重要エリア（三重県：北勢・中部・伊勢志摩、愛知県：名古屋市内・西尾張）、B 重要エリア（三重県：東紀州・伊賀、愛知県：東尾張・三河・知多、岐阜県西濃・飛騨、静岡県西部）、C 推進エリア（長野県：南信州、静岡県中東部、北陸、沖縄）の 3 つを中心に効果的な活動を行っている。A エリアには年間 5 回、B エリアには年間 3 回、推進エリアには年間 2 回以上を基準に訪問を実施し

ており、新学科についても同様の活動を実施していく【資料7】。

また、臨床検査学科を有する大学が存在しない近隣県（静岡県、富山県、福井県、和歌山県等）については、現在のBエリアに位置づけるとともに、出口調査で反響のあった神奈川県や京都府への高校訪問を新たに計画していく。

オープンキャンパスについては、現在年3回の開催としており、1回あたりの平均参加者数が2016年度211名、2017年度294名、2018年度245名と毎年水準の高い参加者確保ができています。この結果と実際の志願者数を照らしてみても、2016年度707名、2017年度710名、2018年度623名と定員100名の中ではやり高水準にある。更に本学への資料請求についても、直近3カ年で2017年度5546件、2018年度6463件、2019年度7485件（見込）と着実な上昇を辿っている。このことは、本学への関心の高さの証しであり、新学科についても既設学科と同日開催として医療分野への関心を高める工夫を行うなど、オープンキャンパスの参加者及び志願者の確保を図って行くこととし、新学科においてオープンキャンパス1回あたり平均50名以上の参加者を確保し、入学志願者150名以上の確保を見込む。

その他、各種説明会（進学相談会）については、東海4県を中心に年間60～70回前後開催しており、2017年度638名、2018年度624名の相談実績があった【資料8】。土日を含めきめ細かな対応を積み重ね看護学科と併せて新学科の相談を実施していく。

更に、新学科への受験希望者の状況把握に沿って、必要に応じ新たな地方試験会場を設置するなど、学生確保に繋げていこうと考えている。

## **(2) 人材需要の動向等社会の要請**

### **① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）**

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、看護医療の分野に関する専門知識・技術の教育と研究を行い、あわせて豊かな教養と人格を兼ね備え、地域の保健、医療、福祉に寄与し、地域の活力向上に資する看護医療専門職の人材を育成する」ことを目的及び使命とする。

なお、ここで言う「専門知識・技術」とは、大学教育で重視される教養教育や、基礎から応用まで体系的に積み上げられた専門教育をベースに、専門性をさらに深めていく中で身につけていく様々な学識・スキルのことであり、将来、医療の専門家として頼られ、各分野で重要な役割を担っていくために欠かせないものであると考えている。

また、看護医療学部は上で述べた大学の目的に則り、生命の尊厳を認識し、個々の人格を尊重できる寛容性と社会的倫理観を備え、科学的根拠に基づく問題解決能力を有し、患者本位の医療を選択、実践し得る指導的人材の育成を目的としている。

また、臨床検査学科では、医療を行う上で強い倫理観と幅広い教養、豊かな人間性を持ち、医療現場で即戦力として活躍できる実践的かつ高度な専門技術と幅広い知識を備えた上で、臨床検査の知識や技術を生かして医学・医療の発展・進歩に貢献できる臨床検査技師を育成することを目的とする。なお、養成する人材像が備えるべき要素は、以下の通りである。

#### **1) 医療を行う上での強い倫理観と幅広い教養、豊かな人間性**

大学教育は単に専門の学問を教授するだけでなく、学生の人格を陶冶させる役割も担っている。他者のためや社会のために働くという認識を持ち、患者を中心とした医療をいかなる場面においても実践できる、強い倫理観をもった良識ある医療人として活躍できる人材を育成する。また、臨床検査の分野にとどまらず、積極的に広く社会を支えることができる豊かな人間性を持つ人材を育成する。

#### **2) 医療におけるコミュニケーション能力とそれを支える専門性**

良質な医療を提供する上で、患者に対しても、医療職に対しても、コミュニケーションは欠かせないものである。また、チーム医療に参画するにあたり、個々の構成員が実践的で高度な技術と幅広い専門知識を有していることが要求される。よって、医療におけるコミュニケーション能力に優れ、臨床検査の意義や特徴、得られたデータについて患者や医療人に適切に説明・相談ができる知識や技術を有する臨床検査技師を養成する。

また、医師の診療支援のために患者の病態や病期を踏まえて検査データを解析できる能力の養成にも力を入れる。

### 3) 進歩を続ける医療に適応でき自ら研鑽してることができる能力

生命科学分野のみならず、医療においても日々新しい知見が積み重ねられている。常に最新の医学知識や医療情報を収集し、それを自分に与えられた課題・任務にどう反映させることができるのかを考える力を持つ人材を育成する。普段から科学的思考で物事を捉え、主体的に課題を探求し科学的な根拠をもって問題を解決する力を育む。病院内での臨床研究支援を積極的に行い、自らも臨床研究を率先して進め、医療の進歩に貢献できるような人材を育てる。さらに、臨床検査学科で学んだ知識・技術を生かして様々な分野で活躍・貢献できる臨床検査技師の養成に取り組む。

## ② 社会のおよび地域的な人材需要

### ア. 社会における必要性

「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」により、「臨床検査技師等に関する法律の一部改正」が成立し、平成 27 年 4 月 1 日より臨床検査技師が診療の補助として採血に加え、検体採取(下記 5 つの行為)が行えるようになった。

- 鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液その他これらに類するものを採取する行為
- 表皮並びに体表及び口腔の粘膜を採取する行為（生検のためにこれらを採取する行為を除く）
- 皮膚並びに体表及び口腔の粘膜の病変部位の膿を採取する行為
- 鱗屑、痂皮その他の体表の付着物を採取する行為
- 綿棒を用いて肛門から糞便を採取する行為

また、同時に「臨床検査等に関する法律施行規則」の一部改正により、臨床検査技師の業務である生理学的検査に嗅覚検査及び味覚検査（下記 2 つの行為）が追加された。

- 基準味覚検査及び静脈性嗅覚検査（静脈に注射する行為を除く）
- 電気味覚検査及びろ紙ディスク法による味覚定量検査

その目的・背景として、高度急性期から在宅医療・介護までの一連のサービスを地域において総合的に確保することで地域における適切な医療・介護サービスの提供体制を実現し、患者の早期の社会復帰を進め、住み慣れた地域での継続的な生活を可能とすること、つまり地域包括ケアシステムの充実化が挙げられる。2025 年には団塊の世代が 75 歳以上となり、3 人に 1 人が 65 歳以上、5 人に 1 人が 75 歳以上となる。つまり今後、医療や介護を必要と高齢者がますます増加するが、例えば医療については、入院患者が

増えると救急患者の受入れを断る事例が増え、対して退院して在宅で治療を継続したくとも往診してくれる医師が見つからないのではないかなどといった不安がある。また、介護については、介護度が重度になったり、高齢者のみの世帯でも安心して暮らすことができるか、在宅で暮らすことができなくなった時の施設が十分にあるか、認知症になっても地域で生活を続けていくことができるかなどといった不安がある。そのため、高度な急性期医療が必要な患者は、質の高い医療や手厚い看護が受けられ、リハビリが必要な患者は身近な地域でリハビリが受けられるようにする必要がある。同時に、退院後の生活を支える在宅医療や介護サービスを充実し、早期に在宅復帰や社会復帰ができるようにするとともに、生活支援や介護予防を充実させ、住み慣れた地域で長く暮らすことができるようにする必要がある。2025年を見据え、限られた医療・介護資源を有効に活用し、必要なサービスを確保していくため、臨床検査技師は検体採取が可能となったことで、次のような役割が期待される。

### 1) 病棟での臨床検査技師の関わりについて

これまで病棟における業務は医師、看護師が中心であったが、近年チーム医療が定着したことで、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、そして臨床検査技師など様々なメディカルスタッフが業務範囲を拡大している。臨床検査（検体検査）の工程は大きく分けて検査前工程、検査工程、検査後工程の3フェーズに区分されるが、医療技術の進歩により臨床現場即時検査（POCT）対応装置によるベッドサイド検査の導入も一部では進んできており、検査工程が病棟で実施される機会も増加すると言われる。さらに医療制度改革により病床機能の再編が進められている中、いわゆる高度急性期病床や一般急性期病床では、入院診療、病棟業務に重点が置かれることが想定され、臨床検査技師は病棟において、以下の役割が期待される。

- 採血準備・採血・検体採取と適切な検体処理、それらに伴う患者への説明
- 患者が受ける生理機能検査についての説明
- 輸血療法についての説明、輸血後の副作用チェック、輸血後感染検査の管理
- 検査結果の確認、病棟内患者の検査データの一元管理
- 患者状態を確認し異常値等については適宜主治医へ報告
- POCT の実施
- ベッドサイドでの生理機能検査の実施
- NST、ICT、DM、化学療法、輸血療法など従来のチーム医療を病棟で展開
- 患者に対する検査結果についての説明
- メディカルスタッフに対する臨床検査についてのアドバイス
- 病棟内カンファレンスへの参加

## 2) 在宅医療での臨床検査技師の関わりについて

これまでの在宅医療では病状が安定した慢性期疾患の管理や緩和医療が中心であったが、2025年問題を控え国は、平成24年度介護報酬改定並びに平成26年度診療報酬改定において、地域包括ケアシステムの構築に向け急性期病院から回復期病院さらに介護老人保健施設にまで在宅復帰に関する評価報酬が設定された。また医療費の圧縮のために診療報酬の包括評価制度において現在のDPC/PDPSからDRG/PPSへの移行も想定されており、対象病院においてはさらなる在院日数の短縮が求められる。これらの情勢から医療必要度の高い患者が早期に病院を離れ、在宅あるいは在宅に準ずる施設において療養することが当たり前になってくることが想定される。病状が不安定な患者の管理に臨床検査は不可欠であり、以下のような新たなニーズが発生する。

- 検査説明、検体採取、検体の適切な処理と管理保存、迅速な検査実施、結果の説明
- 検査結果の整理、集計、記録、保管、及び結果の精度確認と結果値の保証
- 採血の実施（プラス $\alpha$ 将来的には+ヘパロック、点滴に対応）
- POCTの実施と、POCT管理運営
- 栄養管理、透析予防、血糖モニター、炎症の発見、電解質異常、など
- 心電図・超音波検査等の生理機能検査の実施
- 感染防止への関わり
- 検査データの共有化、システム化に向けた取り組み

介護の現場では主に、介護士やヘルパー（介護助手）が在宅利用者を訪問してそれぞれのサービスに当たっている。慢性的、突発的に医療処置が必要になった時には、医師による往診が行われ、現状では同行は看護師である場合が多い。この往診に臨床検査技師が同行し、採血を初めとする検体採取から検査に関わる様になることが想定される。その場で医師の指示の下にPOCT装置を用い生理学的検査、検体検査を行い測定、計測、データ管理を行い、データ保管し必要に応じデータを解釈し、医師に結果を伝え記録を残す事に関わる。また、検体採取や検査前後の説明については臨床検査技師が対応することも想定される。さらに定期的訪問や定期健康診断の様な採血（検体採取）であれば、医師の指示を受けて、一人で利用者宅を回って、検体採取や測定してデータを収集して来るまでを一人で行うことも想定される。加えて、臨床検査技師が積極的にデータ管理に関わる様にして、検査データの整理、次回検査の指示要請・準備、訪問終了時のデータ整理・過去データとの照合を行うことで確実なデータ管理がなされることにより在宅医の負担軽減につながり、在宅医療の質向上に寄与することとなる。

臨床検査技師の職能団体である日本臨床衛生検査技師会は、在宅医療における臨床検査技師の必要性を強く訴えている。現時点において、臨床検査技師単独での訪問について保険適用はないが、退院後の経過観察、再発予防のために、臨床検査技師が在宅医療に携わるケースが増加している。臨床検査技師の在宅医療への関わりを示す具体的な内容としては、以下のものが挙げられる。日本臨床衛生検査技師会は、平成27（2015）年

3月5日に『病棟』『在宅医療』への臨床検査技師の関わりについての提言」【資料A】を公表するとともに、平成30(2018)年4月28日(土)及び29日(日)には「臨床検査技師による在宅医療推進講習会並びに第20回日本在宅医学会・日臨技合同シンポジウム」を開催【資料B】するなど、今後、臨床検査技師が在宅医療の現場へ進出していくことは喫緊の課題であるとの認識を示している。また、臨床検査振興協議会データ「在宅医療における臨床検査(特にPOCT)の実態調査(在宅医療を行う151施設の175人の医師が回答)」【資料C】によると、在宅医療に携わる医師のコメントとして、在宅医療の現場では臨床検査は「病院と同じくらいの必要性がある」「検査が出来なければ、きちんとした治療ができない」「在宅患者の中には重症の方もいるので検査は必要」「在宅医療における臨床検査の重要性については、もっとしっかりとその大切さを厚労省、中協医等の関係機関は学び、認識すべきである」「今後も臨床検査が必要と考える」「自分で検査を院内でするのはひと、時間、費用ともに難しい」といったコメントが寄せられており、在宅医療における臨床検査技師の必要性をうかがわせるものであった。

地域的に見ても在宅医療の現場において、臨床検査技師の必要性は高まっている。平成26(2014)年6月25日成立の「地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律(医療介護総合確保推進法)」を受け、平成31(2019)年2月に三重県が公表した「平成30年度医療介護総合確保促進法に基づく三重県計画(以下「三重県計画」)」によると、計画の基本的な考え方として、「急性期から回復期、在宅に至るまでの、地域ごとの効率的で質の高い医療提供体制の構築を進めていくこと」としている。三重県では医療介護総合確保推進法が成立する前の平成24(2012)年7月より、県内の保健・医療・福祉関係者が参画する三重県在宅医療推進懇話会が発足しており、地域における包括的かつ継続的な在宅医療提供体制の整備、地域における関係機関や多職種の連携体制構築、在宅医療の連携体制構築に関する人材の育成・確保を挙げている。「三重県計画」は三重県在宅医療推進懇話会が作成した在宅医療フレームワーク等を活用しつつ、市町等の取り組みを支援しながら、県全体としての底上げを図っていくとしている。また、「三重県計画」は在宅医療サービスの円滑な運用を図るために人材の育成が不可欠で、かかりつけ医や訪問看護にかかる機能の充実を図るとともに、多職種による合同研修を取り入れるなど、現場に即したより実践的な取組が必要としている。

四日市市では全国的に見ても早い時期である平成19(2007)年5月より「四日市在宅医療研究会」が発足し、平成29(2017)年1月までに58回の研究会が開催されている。厚生労働省第2回全国在宅医療会議ワーキンググループ資料「在宅医療の四日市モデル」【資料D】によれば、四日市市では早くから在宅医療に力を入れてきた結果、病院での死亡が全死亡者数に対し、平成19(2007)年の79.7%から平成27(2015)年には67.6%へと減少し、自宅での死亡が全死亡者数に対し、平成19(2007)年の13.6%から平成27(2015)年には18.1%へと増加している。全国主要都市の在宅看取り率(平成24(2012)年)と比較しても、18.5%である四日市市は最も高い状況にある。四日市市では、自宅・

施設の看取りが進むことで病院死は全国最小レベルとなっており、在宅医療が進展している地域であると言える。

先進的な在宅医療の取り組みを行っている三重県と四日市市において在宅医療と臨床検査技師の関わりが高まりを見せている背景には、臨床検査技師を在宅医療に参入させることで、超音波や心電図といった検査を自宅にしながら実施できるため、術後患者のモニタリングを患者に来院の負担を強いることなく行え、再入院を防ぐなどの効果が期待されていることなどが挙げられる。検体採取や POCT 検体検査、ポータブル超音波、心電図などの知識に長けている臨床検査技師が在宅医療の現場へ進出していくことで、さらに在宅医療の新しいモデルが構築できるものとする。

### 3) 臨床検査技師の配置基準の明確化

さらに、平成 30 年 12 月 1 日に改正医療法施行規則（検体検査関連）が施行したにより、医療機関等が自ら検体検査を実施する場合における精度の確保のために設けるべき基準（歯科医療機関、助産所に対しても適用）として、精度の確保に係る責任者として、医師または臨床検査技師を配置（歯科医療機関の場合、歯科医師または臨床検査技師）、精度の確保に係る各種標準作業書、各種作業日誌・台帳の作成が必要となった。また、検体検査の精度の確保のために努めるべき事項、内部精度管理の実施、外部精度管理調査の受検、適切な研修の実施が求められる。また、検体検査の分類が見直され、これまで二次分類として扱われた遺伝子検査が、一次分類「遺伝子関連検査・染色体検査」として加わることとなり、その責任者として業務経験を有する医師または臨床検査技師を配置する必要がある。

このような状況を踏まえると今後、臨床検査技師の活躍の場はますます広がり、より多くの臨床検査技師が必要となることは確実な状況といえる。

## イ. 臨床検査技師の勤務状況

【資料 9】は厚生労働省政策統括官付保健統計室「医療施設調査・病院報告」を基に作成した病院における臨床検査技師の人数推移（常勤換算）である。全国では平成 9 年の 44,420 人から平成 28 年は 55,072.1 人で 24.0%、10,652.1 人増となっている。本学が臨床検査学科を開設する三重県では 23.0%、134.7 人増である。また、東海四県では 22.3%、1,026.5 人増である。

【資料 10】は「医療施設調査」および「平成 22 年・27 年国勢調査」を基に作成した人口 10 人に対して勤務する、病院における臨床検査技師の人数である。前項では平成 22 年 38.3 人に対し、平成 27 年は 42.6 人となっており、臨床検査技師の需要拡大を裏付ける内容となっている。一方、東海四県の場合は、岐阜県は平成 22 年 32.2 人が平成 27 年 38.7 人、静岡県は平成 22 年 34.1 人が平成 27 年 37.4 人、愛知県は平成 22 年 33.1 人が平成 27 年 35.3 人、そして三重県は平成 22 年 35.6 人が平成 27 年 39.1 人である。



四県すべてで増加しているものの全国水準を下回っている。

さらに【資料 11】は一般社団法人日本臨床衛生検査技師会「平成 29 年度会員施設実態調査」の抜粋で、勤務する臨床検査技師の年齢構成を示している。全体 32,477 人のうち、50～59 歳が 7,498 人で最も多く、次いで 40 代が 7,454 人で、それぞれ 2 割以上を占めている。つまり 40 代以上の臨床検査技師が全体のおよそ半数を占める形となり、今後 20 年程度の間には多くの臨床検査技師が退職し、人材不足になることが懸念される。

## ウ. 臨床検査教育の四年制化への期待

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会の臨床検査技師教育検討委員会が平成 30 年 9 月 22 日に提出した「臨床検査技師教育見直しについて（答申書）」によると、重要課題の一つとして「臨床検査教育の四年制化（大学教育）」が挙げられている。臨床検査技師を取り巻く環境は急激に変化している。例えば、団塊世代が 75 歳を迎え医療や介護の需要が増大する 2025 年に向けて、都道府県ごとに策定された地域医療ビジョンにより、病床の機能分化が進み急性期病床、慢性期病床が減少し、回復期病床が増加している。その結果、医療と介護の連携を進めるチーム医療の展開が進められ、「病院完結型医療」から「地域完結型医療」へ、また、科学的なデータによるタイムリーで且つ的確な診断が必要であり、在宅での臨床検査も増加することが想定される。加えて、ゲノム医療など、科学技術の進歩により最新医療は高度・専門化し、また、少子高齢化の克服に向けて、国では IoT、人工知能の活用を推進し、医療を取り巻く環境は刻々と変化しており、医療環境の変化に乗り遅れない臨床検査技師教育が必要となることは間違いない。そのため、臨床検査技師教育を四年制化（大学教育）に移行することで、高齢化進展に伴う医療供給体制の見直しへの対応（在宅医療への対応、地域包括ケアシステムへの対応等）、医師の働き方改革への対応（チーム医療対応力、他職種の業務把握）、医療技術の高度化等への対応（人工知能、ビッグデータ活用力、ゲノム医療等の新技術への対応）、国際化への対応が不可欠としている。

## エ. 人材需要アンケート調査結果

ア～ウの状況を踏まえると、本学の臨床検査学科が養成する人材の必要性は明らかであるが、更なる検証を行うために、【資料 12】は第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）に依頼し実施した人材需要アンケート調査の結果である。

その実施概要は以下のとおりである。

調査内容	本学が 2020 年度に設置構想中の臨床検査学科における人材需要の見直しを検証するために、人材需要アンケートを実施した。 アンケート項目は全 7 問で、6 問が選択肢式、1 問が記述式とした。
調査実施時期	平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月

調査対象 (送付先)	臨床検査学科の卒業生採用が見込まれる、東海地方の病院と検診センター、東海地方に拠点を持つ臨床検査企業の他、全国の製造業（医薬品、医療検査機器）、合計1,091箇所を依頼対象とし、アンケート調査用紙を送付した。
回収件数	176箇所（回収率16.1%）

このように、人材需要アンケート調査は臨床検査学科の卒業生採用が東海地方の病院と検診センター、東海地方に拠点を持つ臨床検査企業の他、全国の製造業（医薬品、医療検査機器）、合計1,091箇所にアンケート調査用紙を送付し、176箇所（回収率16.1%）から回答を得た。施設等の種類別でみると、回答数が多い順に「病院」で110箇所（全体の62.5%）、「臨床検査会社」19箇所（同10.8%）、「検診センター」13箇所（同7.4%）、「製造業（医薬品）」「製造業（医療検査機器）」各4箇所（同2.3%）であった。また、所在地（本社・主たる事業所等）については、最も回答が多かったのは「愛知県」で48箇所（同27.3%）であった。本学所在地である三重県は28箇所（同15.9%）で、東海地方（愛知県、三重県、静岡県、岐阜県）全体では、計130箇所（同73.9%）で東海地方を拠点とするところが中心であった。一方で、「東京都」17箇所（同9.7%）、「大阪府」6箇所（同3.4%）をはじめとする近畿地方が計13箇所（同7.4%）あった。現在勤務する臨床検査技師・細胞検査士の人数については、臨床検査技師が常勤4,019人、非常勤が656人で計4,675名、細胞検査士が、常勤243人、非常勤198人で計441名であった。充足状況については、臨床検査技師が「大きく不足している」が4箇所（同2.3%）、「やや不足している」が60箇所（同34.1%）で、合計すると64箇所（同36.4%）が臨床検査技師は不足していると回答した。また、細胞検査士が「大きく不足している」が4箇所（同2.3%）、「やや不足している」が30箇所（同17.0%）で、合計すると34箇所（同19.3%）が細胞検査士は不足していると回答した。

さらに、本学の「臨床検査学科」の概要を示し、学科特色および養成する人材の評価、採用意向について回答を求めた。その結果、「臨床検査学科」を「大変評価する」47箇所（同26.7%）、「ある程度評価する」76箇所（同43.2%）であった。合計すると、全体の約7割の123箇所（同69.9%）が「評価する」とした。さらに、約3割の57箇所（同32.4%）が「臨床検査学科（仮称）」が養成する臨床検査技師を「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計99人であった。一方、細胞検査士については21箇所（同11.9%）が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計30人であった。

このように、臨床検査技師の役割に対して期待が高まっている状況を背景に、本学の臨床検査学科が養成する臨床検査技師、細胞検査士ともに高い人材需要が見込まれることが明らかとなった。

## 資料目次

資料 1：日本臨床検査学教育協議会 正会員（国公立大学の加盟校）一覧

資料 2：国公立大学の臨床検査系学科における志願・合格状況（一般・センター入試のみ）

資料 3：東海四県の国公立大学の臨床検査系学科における定員充足状況

資料 4：学生確保の見通し調査 報告書

資料 5：年度別地域別にみた大学進学対象者推移予測

資料 6：私立大学の臨床検査系学科における学生納付金

資料 7：2018 年度高校訪問実績校一覧

資料 8：2018・2017 年度進学相談会実績

資料 9：病院における臨床検査技師数

資料 10：人口 10 万人対・勤務する臨床検査技師の人数

資料 11：勤務する臨床検査技師の年齢構成

資料 12：人材需要の見通し調査 報告書

資料 A：日本臨床衛生検査技師会 提言（平成 27 年 3 月 5 日）

資料 B：第 20 回日本在宅医学会・日臨技合同シンポジウム資料

資料 C：臨床検査振興協議会「在宅医療における臨床検査の実態調査」

資料 D：厚生労働省第 2 回在宅医療会議ワーキンググループ資料

## 日本臨床検査学教育協議会 正会員(国公立大学の加盟校)一覧

番号	設置	正会員(学校名・学部名・学科名)	都道府県
1	国立	北海道大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	北海道
2	国立	弘前大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	青森県
3	国立	東北大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	宮城県
4	国立	筑波大学 医学群 医療科学類	茨城県
5	国立	群馬大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	群馬県
6	国立	東京医科歯科大学 医学部 保健衛生学科 検査技術学専攻	東京都
7	国立	信州大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	長野県
8	国立	新潟大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	新潟県
9	国立	金沢大学 医薬保健学域保健学類 検査技術科学専攻	石川県
10	国立	名古屋大学 医学部保健学科	愛知県
11	国立	京都大学 医学部 人間健康科学科 検査技術科学専攻	京都府
12	国立	大阪大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	大阪府
13	国立	神戸大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	兵庫県
14	国立	鳥取大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	鳥取県
15	国立	岡山大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	岡山県
16	国立	山口大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	山口県
17	国立	徳島大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	徳島県
18	国立	九州大学 医学部 保健学科 検査技術科学専攻	福岡県
19	国立	琉球大学 医学部 保健学科	沖縄県
20	公立	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科	埼玉県
21	公立	香川県立保健医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	香川県
22	公立	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科	愛媛県
23	私立	つくば国際大学 医療保健学部 臨床検査学科	茨城県
24	私立	群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科	群馬県
25	私立	女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科	埼玉県
26	私立	埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科	埼玉県
27	私立	大東文化大学 スポーツ・健康科学部 健康科学科	埼玉県
28	私立	国際医療福祉大学 成田保健医療学部 医学検査学科	千葉県
29	私立	東邦大学 理学部 臨床検査技師課程	千葉県
30	私立	千葉科学大学 危機管理学部 医療危機管理学科	千葉県
31	私立	文京学院大学 保健医療技術学部 臨床検査学科	東京都
32	私立	東京工科大学 医療保健学部 臨床検査学科	東京都
33	私立	帝京大学 医療技術学部 臨床検査学科	東京都
34	私立	杏林大学 保健学部 臨床検査技術学科	東京都
35	私立	桐蔭横浜大学 医用工学部 生命医工学科	神奈川県
36	私立	北里大学 医療衛生学部 医療検査学科	神奈川県
37	私立	麻布大学 生命・環境科学部 臨床検査技術学科	神奈川県
38	私立	新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科	新潟県
39	私立	北陸大学 医療保健学部 医療技術学科	石川県
40	私立	中部大学 生命健康科学部 生命医科学科	愛知県
41	私立	藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科	愛知県
42	私立	岐阜医療科学大学 保健科学部 臨床検査学科	岐阜県
43	私立	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部 医療栄養学科 臨床検査コース	三重県
44	私立	長浜バイオ大学 バイオサイエンス学部	滋賀県
45	私立	京都橘大学 健康科学部 臨床検査学科	京都府
46	私立	森ノ宮医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	大阪府
47	私立	関西医療大学 保健医療学部 臨床検査学科	大阪府
48	私立	神戸学院大学 栄養学部	兵庫県
49	私立	神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	兵庫県
50	私立	天理医療大学 医療学部 臨床検査学科	奈良県
51	私立	岡山理科大学 理学部 臨床生命科学科	岡山県
52	私立	川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床検査学科	岡山県
53	私立	倉敷芸術科学大学 生命科学部 生命医科学科	岡山県
54	私立	広島国際大学 保健医療学部 医療技術学科	広島県
55	私立	純真学園大学 保健医療学部 検査科学科	福岡県
56	私立	国際医療福祉大学 福岡保健医療学部 医学検査学科	福岡県
57	私立	熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科	熊本県
58	私立	九州保健福祉大学 生命医科学部 生命医科学科	宮崎県

2018年6月1日現在

出典: 日本臨床検査学教育協議会ホームページ

## 国公立大学の臨床検査系学科における志願・合格状況(一般・センター入試のみ)

出典: 蛭雪時代「2009年～2018年8月 全国大学内容案内号」 一部、河合塾「Guideline」より

番号	設置	大学名	学部名	学科名-専攻・コース名	所在地	2018年 定員	2009年度			2010年度			2011年度			2012年度			2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度													
							志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率											
1	国立	北海道	医	保健-検査技術科学	北海道	37	177	40	4.4	143	40	3.6	191	38	5.0	195	38	5.1	163	38	4.3	208	36	5.8	159	37	4.3	199	38	5.2	150	37	4.1	159	37	4.3											
2	国立	弘前	医	保健-検査技術科学	青森県	40	145	37	3.9	152	38	4.0	174	36	4.8	155	36	4.3	171	36	4.8	147	36	4.1	202	36	5.6	149	32	4.7	90	30	3.0	106	30	3.5											
3	国立	東北	医	保健-検査技術科学	宮城県	37	79	33	2.4	94	38	2.5	78	32	2.4	73	34	2.1	99	35	2.8	84	34	2.5	99	33	3.0	65	31	2.1	73	30	2.4	71	32	2.2											
4	国立	筑波	医(学群)	医療科(学類)-医療科学(2年次より)	茨城県	37	101	30	3.4	109	29	3.8	125	28	4.5	116	27	4.3	124	29	4.3	121	28	4.3	102	29	3.5	103	30	3.4	125	27	4.6	63	28	2.3											
5	国立	群馬	医	保健-検査技術科学	群馬県	40	143	34	4.2	87	34	2.6	105	36	2.9	176	34	5.2	193	35	5.5	135	36	3.8	108	35	3.1	232	37	6.3	175	38	4.6	173	36	4.8											
6	国立	東京医科歯科	医	保健衛生-検査技術学	東京都	35	103	33	3.1	108	34	3.2	126	33	3.8	100	32	3.1	93	36	2.6	108	34	3.2	99	35	2.8	94	35	2.7	140	35	4.0	99	31	3.2											
7	国立	信州	医	保健-検査技術科学	長野県	37	227	40	5.7	249	39	6.4	239	40	6.0	268	35	7.7	268	35	7.7	265	34	7.8	217	37	5.9	219	39	5.6	211	37	5.7	192	37	5.2											
8	国立	新潟	医	保健-検査技術科学	新潟県	26	79	28	2.8	74	29	2.6	89	31	2.9	100	30	3.3	110	29	3.8	87	31	2.8	100	30	3.3	86	32	2.7	98	33	3.0	104	32	3.3											
9	国立	金沢	医薬保健(学域)	保健学類-検査技術科学	石川県	40	97	36	2.7	120	36	3.3	114	35	3.3	87	35	2.5	79	30	2.6	137	36	3.8	115	35	3.3	91	40	2.3	117	38	3.1	122	36	3.4											
10	国立	名古屋	医	保健-検査技術科学	愛知県	40	87	26	3.3	88	25	3.5	94	26	3.6	106	27	3.9	102	27	3.8	97	27	3.6	99	27	3.7	109	26	4.2	85	25	3.4	81	27	3.0											
11	国立	京都	医	人間健康科-検査技術科学	京都府	100 (学科全体)	85	39	2.2	81	39	2.1	101	38	2.7	99	39	2.5	78	40	2.0	99	41	2.4	104	40	2.6	87	39	2.2	学科一括入試に変更																
12	国立	大阪	医	保健-検査技術科学	大阪府	40	139	48	2.9	147	46	3.2	116	48	2.4	147	46	3.2	192	48	4.0	162	46	3.5	125	45	2.8	135	46	2.9	73	43	1.7	93	41	2.3											
13	国立	神戸	医	保健-検査技術科学	兵庫県	40	205	49	4.2	212	47	4.5	237	46	5.2	240	45	5.3	245	45	5.4	170	43	4.0	199	44	4.5	157	44	3.6	186	47	4.0	198	45	4.4											
14	国立	鳥取	医	保健-検査技術科学	鳥取県	40	113	37	3.1	196	34	5.8	157	36	4.4	209	33	6.3	158	34	4.6	155	32	4.8	128	36	3.6	111	37	3.0	158	38	4.2	149	34	4.4											
15	国立	岡山	医	保健-検査技術科学	岡山県	40	111	34	3.3	94	35	2.7	128	34	3.8	161	33	4.9	134	32	4.2	98	32	3.1	102	33	3.1	121	33	3.7	118	35	3.4	110	33	3.3											
16	国立	山口	医	保健-検査技術科学	山口県	40	161	36	4.5	83	35	2.4	203	39	5.2	141	36	3.9	180	38	4.7	118	36	3.3	126	38	3.3	148	38	3.9	147	38	3.9	135	38	3.6											
17	国立	徳島	医	保健-検査技術科学	徳島県	17	23	13	1.8	55	13	4.2	41	13	3.2	102	14	7.3	47	13	3.6	51	14	3.6	26	14	1.9	80	13	6.2	45	12	3.8	56	13	4.3											
18	国立	九州	医	保健-検査技術科学	福岡県	33	70	33	2.1	96	34	2.8	64	29	2.2	74	29	2.6	95	29	3.3	73	29	2.5	80	30	2.7	76	33	2.3	47	31	1.5	91	30	3.0											
19	国立	琉球	医	保健-検査技術学(2年次より)	沖縄県	60 (学科全体)	学科一括入試																																								
20	公立	埼玉県立	保健医療福祉	健康開発-検査技術科学	埼玉県	40	145	26	5.6	190	26	7.3	179	27	6.6	176	27	6.5	183	27	6.8	232	27	8.6	174	29	6.0	104	26	4.0	127	26	4.9	200	25	8.0											
21	公立	香川県立保健医療	保健医療	臨床検査	香川県	20	40	11	3.6	17	10	1.7	40	11	3.6	29	10	2.9	35	13	2.7	21	11	1.9	44	11	4.0	14	10	1.4	36	11	3.3	38	10	3.8											
22	公立	愛媛県立医療技術	保健科	臨床検査	愛媛県	25	41	18	2.3	71	16	4.4	69	16	4.3	64	15	4.3	58	18	3.2	61	20	3.1	56	18	3.1	46	18	2.6	65	18	3.6	49	21	2.3											
小計(国公立)							2,371	681	3.5	2,466	677	3.6	2,670	672	4.0	2,818	655	4.3	2,807	667	4.2	2,629	663	4.0	2,464	672	3.7	2,426	677	3.6	2,266	629	3.6	2,289	616	3.7											

※国公立20大学の入学定員合計:704名(東海四県の1大学合計:40名) 1大学平均:35.2名(東海四県の1大学平均:40名)

(臨床検査系以外の専攻とあわせて学科一括入試を行う京都大学、琉球大学は除外した)

国公立大学の臨床検査系学科における志願・合格状況(一般・センター入試のみ)

出典: 蛍雪時代「2009年～2018年8月 全国大学内容案内号」 一部、河合塾「Guideline」より

番号	設置	大学名	学部名	学科名-専攻・コース名	所在地	2018年 定員	2009年度			2010年度			2011年度			2012年度			2013年度			2014年度			2015年度			2016年度			2017年度			2018年度																	
							志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率	志願	合格	倍率															
1	私立	つくば国際	医療保健	臨床検査	茨城県	80	開設前																																												
2	私立	群馬パース	保健科学	検査技術	群馬県	60	開設前																					246	74	3.3	216	115	1.9	329	115	2.9	225	95	2.4	454	118	3.8	335	104	3.2						
3	私立	埼玉医科	保健医療	臨床検査	埼玉県	70	83	59	1.4	125	84	1.5	88	68	1.3	93	63	1.5	139	63	2.2	109	78	1.4	147	85	1.7	205	73	2.8	153	79	1.9	127	84	1.5															
4	私立	国際医療福祉	成田保健医療	医学検査	千葉県	80	開設前																																												
5	私立	文京学院	保健医療技術	臨床検査	東京都	80	216	92	2.3	264	82	3.2	427	92	4.6	440	88	5.0	600	96	6.3	540	111	4.9	614	165	3.7	734	127	5.8	586	160	3.7	605	170	3.6															
6	私立	東京工科	医療保健	臨床検査	東京都	80	開設前																																												
7	私立	帝京	医療技術	臨床検査	東京都	100	641	119	5.4	826	118	7.0	808	141	5.7	1,183	104	11.4	1,121	102	11.0	1,103	120	9.2	1,013	114	8.9	753	115	6.5	971	160	6.1	960	150	6.4															
8	私立	杏林	保健	臨床検査技術	東京都	85	937	260	3.6	1,207	317	3.8	1,187	254	4.7	1,237	260	4.8	1,150	199	5.8	1,136	208	5.5	979	205	4.8	1,093	222	4.9	1,286	323	4.0	1,017	262	3.9															
9	私立	桐蔭横浜	医用工	生命医工	神奈川県	40	95	85	1.1	103	76	1.4	107	90	1.2	144	98	1.5	185	116	1.6	166	113	1.5	278	117	2.4	180	138	1.3	174	103	1.7	206	114	1.8															
10	私立	北里	医療衛生	医療検査	神奈川県	105	707	169	4.2	826	220	3.8	707	184	3.8	732	193	3.8	737	176	4.2	647	142	4.6	590	172	3.4	630	180	3.5	647	178	3.6	605	180	3.4															
11	私立	麻布	生命・環境科	臨床検査技術	神奈川県	80	711	155	4.6	529	162	3.3	585	148	4.0	631	160	3.9	716	152	4.7	682	169	4.0	564	154	3.7	523	151	3.5	536	199	2.7	617	191	3.2															
12	私立	新潟医療福祉	医療技術	臨床技術	新潟県	100	開設前																					459	115	4.0	425	127	3.3	471	163	2.9	455	150	3.0	446	146	3.1	418	164	2.5	511	145	3.5	470	112	4.2
13	私立	北陸	医療保健	医療技術	石川県	60	開設前																																												
14	私立	岐阜医療科学	保健科学	臨床検査	岐阜県	90	248	172	1.4	311	193	1.6	239	195	1.2	496	206	2.4	457	201	2.3	515	215	2.4	415	263	1.6	423	230	1.8	496	212	2.3	416	297	1.4															
15	私立	中部	生命健康科学	生命医科学	愛知県	60	207	156	1.3	263	88	3.0	266	86	3.1	281	126	2.2	381	119	3.2	491	131	3.7	326	132	2.5	384	155	2.5	402	125	3.2	374	124	3.0															
16	私立	藤田医科	医療科学	医療検査(旧:臨床検査)	愛知県	120	497	210	2.4	544	197	2.8	620	279	2.2	691	274	2.5	683	447	1.5	705	242	2.9	490	226	2.2	892	349	2.6	771	375	2.1	845	378	2.2															
17	私立	鈴鹿医療科学	保健衛生	医療栄養-臨床検査	三重県	50	開設前																					215	41	5.2	263	50	5.3	265	59	4.5	304	58	5.2	249	61	4.1	273	67	4.1	288	67	4.3	263	92	2.9
18	私立	長浜バイオ	バイオサイエンス	バイオ-臨床検査学	滋賀県	30	開設前																																												
19	私立	京都橘	健康科学	臨床検査	京都府	80	開設前																																												
20	私立	関西医療	保健医療	臨床検査	大阪府	50	開設前																					223	71	3.1	318	54	5.9	373	65	5.7	251	63	4.0	358	47	7.6	336	60	5.6						
21	私立	森ノ宮医療	保健医療	臨床検査	大阪府	60	開設前																																												
22	私立	神戸常盤	保健科学	医療検査	兵庫県	80	131	83	1.6	166	93	1.8	209	88	2.4	181	98	1.8	239	115	2.1	241	105	2.3	非公開			167	104	1.6	174	116	1.5	172	88	2.0															
23	私立	天理医療	医療	臨床検査	奈良県	30	開設前																					73	20	3.7	32	16	2.0	42	15	2.8	31	16	1.9	17	10	1.7	34	18	1.9	32	23	1.4			
24	私立	岡山理科	理	臨床生命科学	岡山県	95	264	224	1.2	373	246	1.5	283	227	1.2	333	249	1.3	387	196	2.0	294	202	1.5	296	193	1.5	310	175	1.8	258			176	1.5	学科別非公開															
25	私立	川崎医療福祉	医療技術	臨床検査	岡山県	60	開設前																																												
26	私立	倉敷芸術科学	生命科学	生命医科学	岡山県	50	121	54	2.2	179	52	3.4	168	62	2.7	183	72	2.5	169	70	2.4	197	75	2.6	191	76	2.5	172	83	2.1	173	98	1.8	122	102	1.2															
27	私立	広島国際	保健医療	医療技術-臨床検査学	広島県	40	開設前																					376	80	4.7	368	79	4.7	371	94	3.9	411	105	3.9	458	116	3.9	434	91	4.8	380	112	3.4	327	121	2.7
28	私立	純真学園	保健医療	検査科学	福岡県	75	開設前																					92	72	1.3	214	120	1.8	253	104	2.4	277	115	2.4	221	118	1.9	249	124	2.0	202	131	1.5	196	130	1.5
29	私立	国際医療福祉	福岡保健医療	医学検査	福岡県	80	開設前																					383	144	2.7	592	86	6.9	362	120	3.0	342	86	4.0	356	111	3.2	216	121	1.8						
30	私立	熊本保健科学	保健科学	医学検査(旧:衛生技術)	熊本県	100	257	163	1.6	367	169	2.2	319	147	2.2	422	152	2.8	480	152	3.2	458	156	2.9	329	172	1.9	373	166	2.2	350	160	2.2	322	154	2.1															
31	私立	九州保健福祉	生命医科学	生命医科学	宮崎県	60	開設前																																												
小計(私立)							5,115	3,363	1.5	6,083	3,451	1.8	7,155	3,713	1.9	8,390	3,849	2.2	9,688	4,263	2.3	11,380	4,420	2.6	9,705	4,534	2.1	10,623	4,858	2.2	12,609	5,230	2.4	11,914	5,184	2.3															

※私立31大学の入学定員合計:2,230名(東海四県の4大学合計:320名) 1大学平均:71.9名(東海四県の4大学平均:80名)

合計(国公立+私立)	7,486	4,044	1.9	8,549	4,128	2.1	9,825	4,385	2.2	11,208	4,504	2.5	12,495	4,930	2.5	14,009	5,083	2.8	12,169	5,206	2.3	13,049	5,535	2.4	14,875	5,859	2.5	14,203	5,800	2.4
合計(東海四県)	1,039	564	1.8	1,206	503	2.4	1,434	627	2.3	1,837	683	2.7	1,888	853	2.2	2,112	673	3.1	1,579	709	2.2	2,081	827	2.5	2,042	804	2.5	1,979	918	2.2

※国公立51大学の入学定員合計:2,934名(東海四県の5大学合計:360名) 1大学平均:57.5名(東海四県の5大学平均:72名)

(臨床検査系以外の専攻とあわせて学科一括入試を行う京都大学、琉球大学は除外した)

## 東海四県の国公立大学の臨床検査系学科における定員充足状況

番号	設置	大学名	学部名	学科名-コース名	所在地	2018年 定員	収容 定員	在籍 学生数	充足率
1	国立	名古屋	医	保健-検査技術科学	愛知県	40	学科全体で充足率98.7%		
2	私立	岐阜医療科学	保健科学	臨床検査	岐阜県	90	340	388	114.1%
3	私立	中部	生命健康科学	生命医科学	愛知県	60	240	262	109.2%
4	私立	藤田医科	医療科学	医療検査(旧:臨床検査)	愛知県	120	455	506	111.2%
5	私立	鈴鹿医療科学	保健衛生	医療栄養-臨床検査	三重県	50	学部全体で充足率107.0%		

出典:各大学ホームページで2018年5月時点の状況。

四日市看護医療大学  
「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」  
設置に係る学生確保の見通し調査  
(設置構想についての高校生アンケート調査)  
報告書



## 目次

1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要	3
2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果	4
3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント	6
<b>添付資料</b>	
「設置構想についての高校生アンケート調査」	9

## 1. 「設置構想についての高校生アンケート調査」概要

四日市看護医療大学が 2020 年度に設置予定の「看護医療学部 臨床検査学科（仮称・設置構想中）」における学生確保の見通しを測定するために、2020 年度に大学進学時期を迎える高校 2 年生を対象に「設置構想についての高校生アンケート調査」（無記名式）を実施した。三重県を中心とした計 48 校の高校生 4,782 人から回答を得て集計した結果、**予定する入学定員 50 名を大きく上回る 165 人が「受験したい」とし、その上で 55 人が「合格した場合、入学したい」、108 人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。**

調査対象	2020 年度の大学入試を受験する可能性が最も高い高校 2 年生（2020 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。四日市看護医療大学に志願者・入学者が多い三重県を中心とした中部・東海地方の実績校にアンケート実施を依頼し、48 校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 回答者の基本情報（居住地、性別、高校卒業後の希望進路、関心のある学問分野）</li> <li>● 四日市看護医療大学「看護医療学部 臨床検査学科（仮称・設置構想中）」の受験・入学意向</li> </ul> 以上、全 7 問ですべて選択肢式。
調査時期	2018 年 10 月～12 月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた高校に高校生アンケート用紙（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（高校 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
回収件数	有効回答数 4,782 件

実施高校の県別内訳

	公立	私立	合計	割合
長野県	1	1	2	4.2%
岐阜県	4		4	8.3%
静岡県	1	1	2	4.2%
愛知県	7	11	18	37.5%
三重県	14	8	22	45.8%
合計	27	21	48	100.0%
割合	56.3%	43.8%	100.0%	

在籍高校所在地別の回収件数

	公立	私立	合計	割合
長野県	182	29	211	4.4%
岐阜県	203		203	4.2%
静岡県	120	34	154	3.2%
愛知県	938	1,071	2,009	42.0%
三重県	1,225	980	2,205	46.1%
合計	2,668	2,114	4,782	100.0%
割合	55.8%	44.2%	100.0%	

→ 配布した「設置構想についての高校生アンケート調査」用紙は 9 ページ【添付資料】参照。

## 2. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

**問1** あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 三重県	2,239	46.8%
2. 愛知県	1,937	40.5%
3. 岐阜県	211	4.4%
4. 静岡県	153	3.2%
5. 長野県	214	4.5%
6. 滋賀県	0	0.0%
7. 福井県	2	0.0%
8. 和歌山県	7	0.1%
9. その他	8	0.2%
(無回答)	11	0.2%
合計	4,782	100.0%

**問2** あなたの性別をお答えください。(あてはまるものにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 女性	2,256	47.2%
2. 男性	2,514	52.6%
(無回答)	12	0.3%
合計	4,782	100.0%

**問3** あなたの高校卒業後の希望進路をお答えください。(最もあてはまるもの一つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 進学	4,347	90.9%
2. 就職	165	3.5%
3. 現時点では未定	259	5.4%
(無回答)	11	0.2%
合計	4,782	100.0%

**問4** あなたが関心のある学問分野をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 保健衛生学（看護学、臨床検査学、リハビリ、放射線など）	1,172	24.5%
2. 医学・歯学・薬学	575	12.0%
3. 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）	997	20.8%
4. 社会科学（法学・政治学、商学・経営学、経済学、社会学など）	836	17.5%
5. 理学・工学（数学、物理学、化学、生物学、機械工学、電気電子工学、建築学など）	1,586	33.2%
6. 農学（農学、農業経済学、林学、水産学など）	311	6.5%
7. 家政学（生活科学、食物学、住居学、被服学など）	331	6.9%
8. 芸術学（音楽、デザイン、美術など）	539	11.3%
9. 教育学・教員養成（幼稚園・小学校・中学校・高等学校等の教員養成、保育など）	836	17.5%
10. その他	184	3.8%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 4,782人（全回答者の人数）

問5以降は別紙・四日市看護医療大学「臨床検査学科（仮称）」の概要を見た上での回答を求めた。

**問5** あなたは四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」を受験したいと思いますか。  
(あてはまるもの1つにチェック)

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	165	3.5%
2. 受験しない	4,547	95.1%
(無回答)	70	1.5%
合計	4,782	100.0%

**問6** あなたは四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科（仮称）」を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	55	33.3%
2. 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい	108	65.5%
(無回答)	2	1.2%
合計	165	100.0%

次の問7は、問5で「2. 受験しない」を選択した高校生（4,547人）のみが回答対象

**問7** あなたが四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科（仮称）」を「受験しない」とされた理由をお答えください。（あてはまるものすべてにチェック）

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある学問分野ではないから	3225	70.9%
2. 他大学への進学を希望しているから	2283	50.2%
3. 短期大学への進学を希望しているから	102	2.2%
4. 専門学校への進学を希望しているから	316	6.9%
5. 就職を希望しているから	145	3.2%
6. 興味・関心のある学問分野だが、新設学科への進学は不安だから	100	2.2%
7. 四日市看護医療大学の看護学科に進学を検討しているから	69	1.5%
8. アクセスが不便だから	302	6.6%
9. 学費が高いから	218	4.8%
10. その他	85	1.9%

※ 問7は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 4,547人（問5で2を選択した者）

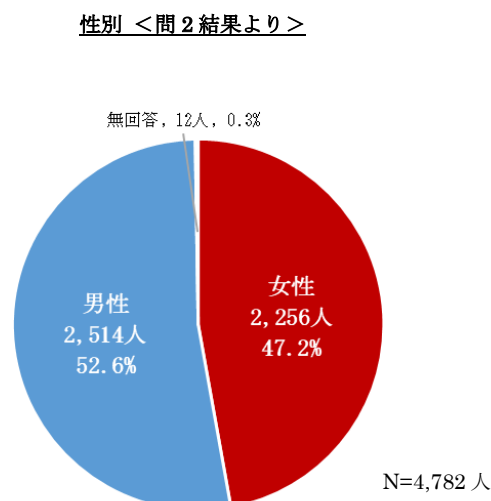
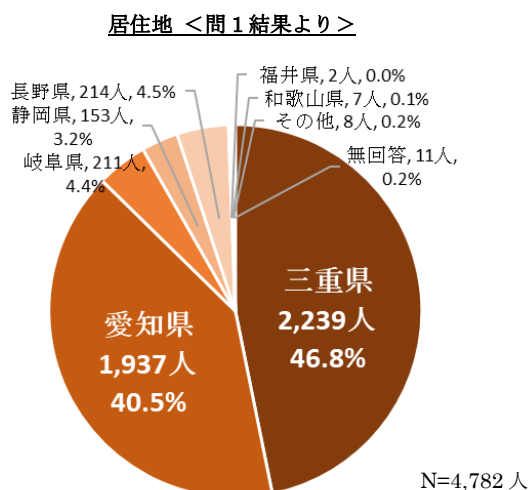
### 3. 「設置構想についての高校生アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

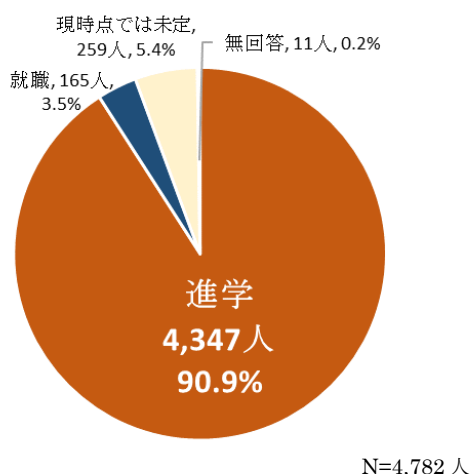
- Point** 回答者 4,782 人の約半数が地元三重県、9 割強が東海地方在住者。  
**1** 9 割超が進学を希望し、4人に1人が興味ある学問分野として保健衛生学を挙げる。

四日市看護医療大学が 2020 年度に設置予定の「看護医療学部 臨床検査学科（仮称・設置構想中）」に係る「設置構想についての高校生アンケート調査」において、有効回答 4,782 件の集計を行った。その結果、回答者を居住地別にみると、開設予定地である三重県が 2,239 人（全体の 46.8%）で最も多く、東海地方（三重県、愛知県、岐阜県、静岡県）在住者 4,540 人（同 94.9%）が全体の 9 割強を占めた。その性別でみると、回答者 4,782 人のうち「女性」が 2,256 人（同 47.2%）、「男性」が 2,514 人（同 52.6%）であった。高校卒業後の希望進路については、「進学」が 4,347 人（同 90.9%）で全体の 9 割を占めた。興味のある学問分野については、臨床検査学を含む「保健衛生学」は 1,172 人（同 24.5%）であった。（興味のある学問分野は複数回答の結果）。

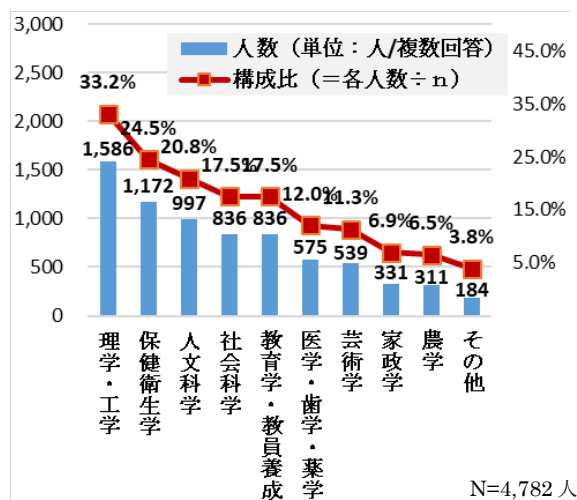
【グラフ】回答者の属性



**高校卒業後の希望進路 <問 3 結果より>**  
 ※左より回答数が多い順で複数回答の結果



**興味のある学問分野 <問 4 結果より>**  
 ※左より回答数が多い順で複数回答の結果



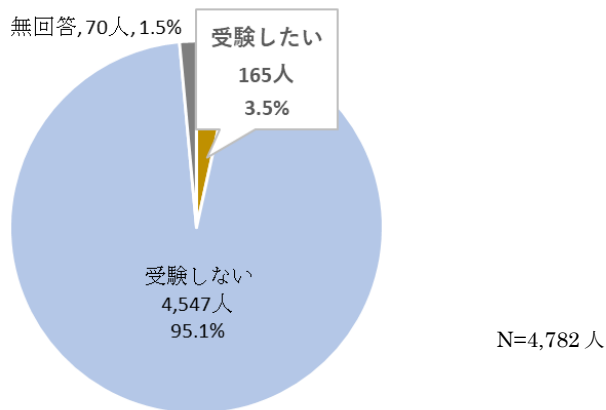
**Point 2** 「臨床検査学科（仮称）」に対し入学定員 50 名（予定）の3倍超となる 165 人が受験希望。そのうち 55 人が強い入学意欲を示し、他 108 人も併願先の結果により入学との意思。

四日市看護医療大学が設置を予定する「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」の概要を示し、受験・入学意欲について回答を求めた。その結果、165 人（全体の 3.5%）が「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」を「受験したい」と回答した。さらに、「受験したい」と回答した 165 人のうち、55 人が「合格した場合、入学したい」、108 人が「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」と回答した。「合格した場合、入学したい」とした 55 人のみで、「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」が予定する入学定員 50 名を上回り、また「合格した場合、併願先の結果によっては入学したい」とした者を加えると、入学定員の 3 倍超の 163 人が入学意欲を示す結果となった。このように、「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」に対しては、入学定員を上回る志願者確保が可能であり、また、強い入学意欲を示すいわゆる専門希望者のみで入学定員を上回ることが明らかとなった。

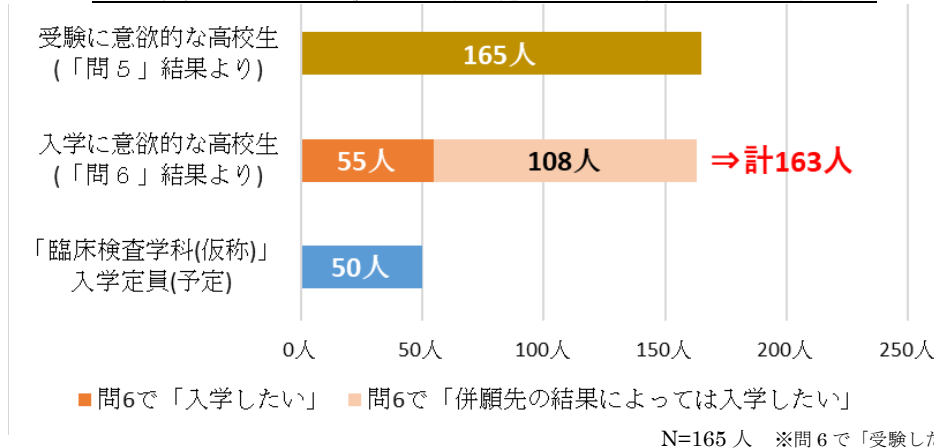
一方、「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」を「受験しない」とした 4,547 人（全体の 95.1%）に対し、その理由について回答を求めた。結果、「興味・関心のある学問分野ではないから」が 3,225 人（回答対象者 4,547 人の 70.9%）で最も多かったが、「興味・関心のある学問分野だが、新設学科への進学は不安だから」とした者が 100 人（同 2.2%）いた（いずれも複数回答の結果）。このことから、アンケート調査実施時点では当該学科への受験意欲を示さなかったものの、一定の興味を示している層が存在していることは明らかで、今後の広報活動を通して更なる志願者確保が可能であると推察される。

【グラフ】四日市看護医療大学「臨床検査学科（仮称）」への受験・入学意欲

四日市看護医療大学「臨床検査学科（仮称）」への受験意欲 <問 5 結果より>

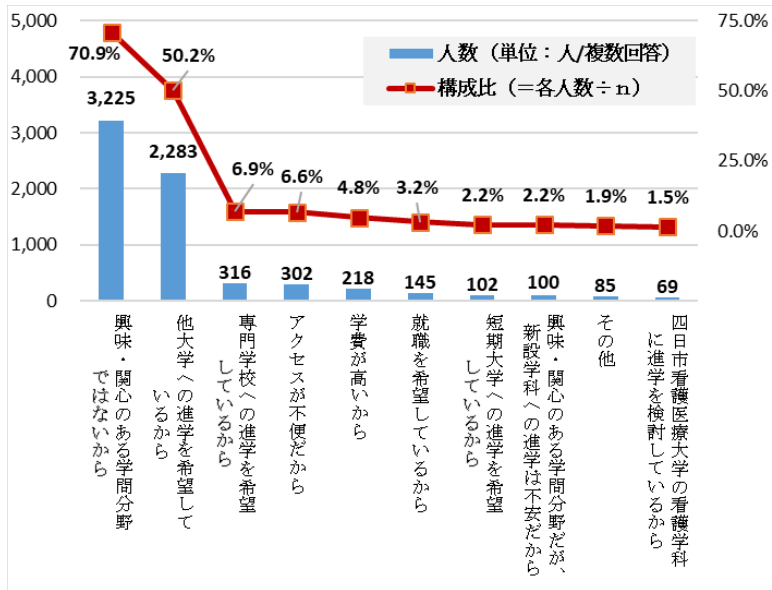


四日市看護医療大学「臨床検査学科（仮称）」への入学意欲 <問 5・6 結果より>



四日市看護医療大学「臨床検査学科(仮称)」を受験しない理由 <問7結果より>

※左より回答数が多い順で複数回答の結果



N=4,547 人  
 ※問5で「受験しない」とした者

**【添付資料】**

「設置構想についての高校生アンケート調査」







問 5 以降は別紙・ 四日市看護医療大学「臨床検査学科(仮称)」の概要 をご覧の上でお答えください。

問 5 あなたは四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」を受験したいと思いますか。  
(あてはまるもの一つにチェック)

- 受験したい ⇒ 問 6 にお答えください。
- 受験しない ⇒ 問 7 にお答えください。

以下の問 6 は問 5 で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問 6 あなたは四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」を受験し合格した場合、  
入学したいと思いますか。(あてはまるもの一つにチェック)

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願先の結果によっては入学したい

以下の問 7 は問 5 で「受験しない」と回答した方がお答えください。

問 7 あなたが四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」を「受験しない」とされた  
理由をお答えください。(あてはまるものすべてにチェック)

- 興味・関心のある学問分野ではないから
- 他大学への進学を希望しているから
- 短期大学への進学を希望しているから
- 専門学校への進学を希望しているから
- 就職を希望しているから
- 興味・関心のある学問分野だが、新設学科への進学は不安だから
- 四日市看護医療大学の看護学科に進学を検討しているから
- アクセスが不便だから
- 学費が高いから
- その他 [ ]

質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。



# 四日市看護医療大学

看護医療学部

## 臨床検査学科(仮称)

設置構想中

チーム医療の一員として、高いコミュニケーション能力と幅広い知識・技術を兼ね備えた臨床検査技師を養成

～ 四年制大学として中部初の文科省指定の臨床検査技師養成所として、細胞検査士とのダブルライセンス取得も可能(予定)～

### 学科の概要

- 開設時期： 2020年4月(予定)
- 開設場所： 四日市看護医療大学(三重県四日市市萱生町1200)
- 修業年限： 4年
- 入学定員： 50名(収容定員： 200名)
- 取得学位： 学士(臨床検査学)
- 取得資格： 臨床検査技師国家試験受験資格、細胞検査士認定試験受験資格(細胞検査士養成コースは選抜制)
- 養成する人材： 四日市看護医療大学の臨床検査学科(仮称)は、以下の能力・資質を兼ね備えた人材を養成します。

- 臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。
- 人間として自己の成長に努め、社会人として広い見識と高い倫理観を持ち、臨床検査の対象となる人々に愛情豊かに共感をもって接することができる。
- 人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から医療技術援助できる。
- 国際的視野で臨床検査を考え、ヘルスケアシステムにおける臨床検査の専門性を理解し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる。
- 将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。

初年次納付金： 入学金20万円、授業料96万円、教育充実費53万円(計169万円) ※別途、諸会費25,500円が必要。

### 学科の特色

#### 中部地方で初めて、臨床検査技師・細胞検査士(※)の同時取得が可能です。

##### 臨床検査技師 病気の原因をいち早く見つける専門家

医師の指示のもと、病院や臨床検査センターなどで血液検査や病理検査、心電図、脳波検査など、さまざまな生理学的検査などを行い、診療や治療の基礎となるデータを提供するのが臨床検査技師の仕事です。医師も見抜けなかった病気を見つけることもあり、チーム医療の要といえる重要な役割です。臨床検査技師は医療機関のほか、医療機器・製薬会社など幅広い分野で活躍しています。

##### 細胞検査士 がんの早期発見に欠かせない専門職

細胞検査士は、早期発見が望まれるがんなどの疾患を細胞レベルで検査する医療専門職です。受験資格を得るには、臨床検査技師を取得後、細胞診業務に1年以上従事するか、大学などで専門教育を受ける必要がありますが、本学では在学中に受験資格が得られる「細胞検査士」養成コース(※)を開設予定です。

※「細胞検査士」養成コースは選抜制です。

#### 併設の看護学科と連携し、医療・介護技術を持った臨床検査技師を養成します。

臨床検査技師の業務拡大によりさまざまな検体採取が可能となり、病棟に臨床検査技師を配属する医療機関が増えたほか、今後は在宅医療の分野での活躍も期待されます。患者様と直接接する機会も多くなることが予想され、四日市看護医療大学の「臨床検査学科(仮称)」は併設の看護学科との連携により看護・介護技術を併せ持つ臨床検査技師を養成します。

#### 臨床検査の専門性に加え、幅広い知識・高度な専門技術を身につけられます。

本学では、幅広い知識・高度な専門技術をもった臨床検査技師を養成します。たとえば、栄養面が臨床検査値の変化や疾患治療に重要な役割を果たしていることを踏まえ、本学では「栄養学」「食品学」の科目を配置し、院内NST(院内栄養サポートチーム)の一員として活躍し、また地域包括医療の栄養指導に貢献できる臨床検査技師を養成します。また、遺伝子検査やバイオ技術、細胞培養技術に関連する科目も設けます(いずれも選択科目)。

#### コミュニケーション能力が高く、“現場に強い”臨床検査技師を養成します。

本学の「臨床検査学科(仮称)」はIPE(他職種連携教育)にも力を入れ、臨床検査技師として現場を知る教員、医師・薬剤師、看護学科の教員が指導にあたります。看護学科との共通科目も多く、チーム医療意識、コミュニケーション能力を高める効果が期待できます。また、実務家教員による充実した臨床現場教育を学内でも実施するほか、臨地実習前の総合演習も行うことでより充実した臨地実習となるよう指導を行い、現場に強い臨床検査技師を養成します。

#### 充実した国家試験対策を実施し、キャリア支援講座も開講します。

国家試験に向けた教育を模擬試験形式で1年次より実施します。キャリア支援講座も開講し、“国家試験、就職に強い”臨床検査学科(仮称)を目指します。

### 卒業後の進路

四日市看護医療大学の「臨床検査学科(仮称)」を卒業した臨床検査技師・細胞検査士は、以下の方面での活躍が期待されます。

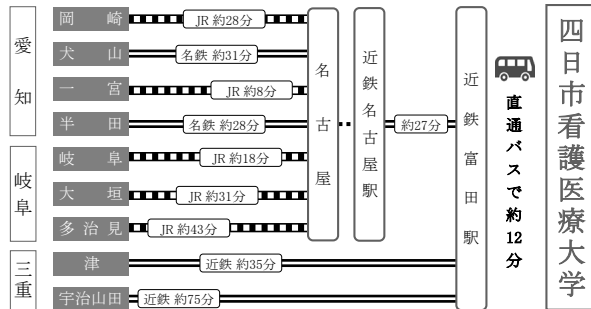
- 国公立病院、総合病院などの医療機関
- 臨床検査会社
- 製薬会社、医療機器会社などの医療関連企業
- 大学院への進学

### 参考

#### 中部地方で臨床検査技師養成を行う主な大学

中部大学(生命医科学科)、藤田医科大学(臨床検査学科)、岐阜医療科学大学(臨床検査学科)、鈴鹿医療科学大学(医療栄養学科臨床検査学専攻) など

### アクセス



**P** 学生専用駐車場(収容台数約400台)があり自動車での通学も可能です(申請要)。

## 年度別・地域別にみた大学進学対象者推移予測(2020～2034年度)

出典：平成27年「国勢調査」

大学進学年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	減少率 (2020→2034)
全国	1,168,566	1,152,224	1,118,555	1,098,898	1,061,074	1,059,128	1,066,954	1,075,000	1,054,736	1,043,969	1,040,723	1,012,766	1,006,691	970,336	957,190	81.9%
北海道	45,506	45,793	44,109	43,544	41,065	40,883	41,111	40,742	39,783	39,750	39,136	38,179	37,315	36,166	35,214	77.4%
青森県	12,408	11,992	11,405	10,917	10,247	10,083	9,780	9,865	9,258	9,310	9,148	8,785	8,642	8,511	7,857	63.3%
岩手県	12,030	11,794	11,187	10,901	10,482	10,129	10,306	10,067	9,926	9,710	9,425	9,086	9,015	8,574	8,360	69.5%
宮城県	21,379	21,040	20,424	19,936	19,194	18,946	19,195	19,705	18,677	18,720	18,426	17,841	18,354	17,018	17,148	80.2%
秋田県	8,496	8,329	8,032	7,683	7,660	7,391	7,399	7,260	6,895	6,748	6,560	6,357	5,990	5,724	5,517	64.9%
山形県	10,752	10,529	9,965	9,775	9,324	9,364	9,116	9,232	8,787	8,695	8,624	8,165	8,071	7,886	7,475	69.5%
福島県	18,516	18,120	17,104	16,845	15,971	15,619	15,429	15,082	14,597	14,146	14,030	13,123	13,622	13,633	13,050	70.5%
茨城県	27,915	27,419	26,514	26,342	24,921	24,791	24,876	24,828	24,179	23,493	23,069	22,366	22,028	20,944	20,666	74.0%
栃木県	18,941	18,810	18,117	17,956	17,418	17,272	16,908	17,254	16,792	16,335	16,214	15,589	15,664	14,763	14,803	78.2%
群馬県	19,304	19,209	18,577	18,207	17,496	17,099	17,129	17,047	16,822	15,943	16,115	14,957	14,863	14,294	13,822	71.6%
埼玉県	66,379	65,874	64,247	63,164	61,172	61,257	61,709	61,957	60,842	60,272	59,657	57,292	57,859	55,361	53,763	81.0%
千葉県	55,742	55,645	54,405	53,562	51,812	51,441	51,533	51,874	51,072	50,287	49,479	47,643	47,498	45,229	44,890	80.5%
東京都	101,164	100,889	98,578	97,692	95,236	96,079	98,658	101,115	101,548	102,232	103,017	102,006	105,642	105,847	108,427	107.2%
神奈川県	81,790	80,715	79,250	78,116	75,416	75,771	76,106	77,053	75,919	75,744	75,479	73,517	73,551	71,366	70,955	86.8%
新潟県	21,209	20,753	19,602	19,810	18,621	18,828	18,719	18,553	18,141	17,875	17,960	17,230	16,999	16,135	15,510	73.1%
富山県	10,053	10,078	9,451	9,460	8,993	8,805	8,698	8,742	8,401	8,169	7,937	7,856	7,667	7,361	7,177	71.4%
石川県	11,115	10,842	10,747	10,258	10,098	10,017	10,187	10,135	9,837	9,494	9,404	9,480	9,235	8,812	8,711	78.4%
福井県	7,740	7,603	7,523	7,138	7,027	7,032	7,087	7,010	6,940	6,703	6,633	6,437	6,285	5,966	5,862	75.7%
山梨県	7,986	7,841	7,604	7,496	7,056	7,017	6,912	6,877	6,642	6,643	6,365	6,261	6,006	5,930	5,634	70.5%
長野県	20,769	20,687	19,708	19,440	18,791	18,600	18,472	18,273	17,544	17,345	17,089	16,461	16,215	15,442	14,916	71.8%
岐阜県	20,278	20,173	19,767	18,882	18,406	18,219	18,118	18,190	17,549	17,277	17,358	16,737	16,211	15,196	14,637	72.2%
静岡県	35,245	35,101	33,954	33,583	32,421	32,244	32,677	32,464	31,911	31,361	31,003	30,669	29,888	28,279	27,284	77.4%
愛知県	73,166	71,885	70,036	69,794	67,191	67,418	68,488	69,398	68,344	67,902	68,362	67,023	66,297	63,866	63,362	86.6%
三重県	17,715	17,379	16,859	16,582	15,636	15,994	15,761	15,886	15,580	15,167	15,231	14,716	14,352	13,341	13,326	75.2%
滋賀県	14,669	14,720	14,266	13,998	13,528	13,517	13,844	13,737	13,572	13,509	13,514	13,126	13,073	12,304	12,073	82.3%
京都府	23,124	22,851	22,592	21,516	21,334	21,391	21,182	21,313	20,917	20,366	20,524	19,709	19,550	18,955	18,542	80.2%
大阪府	82,316	80,266	77,363	75,827	72,858	72,405	72,985	73,435	71,881	71,130	70,907	69,777	68,658	66,791	66,512	80.8%
兵庫県	52,879	51,834	50,615	49,429	47,695	47,342	47,620	48,282	46,823	46,149	46,279	44,800	43,830	42,018	41,276	78.1%
奈良県	13,207	12,731	12,453	11,939	11,657	11,617	11,595	11,407	11,127	10,847	10,726	10,516	10,218	9,497	9,433	71.4%
和歌山県	9,255	8,878	8,699	8,145	7,911	7,861	7,627	7,895	7,680	7,443	7,355	7,281	7,081	6,700	6,601	71.3%
鳥取県	5,566	5,238	5,330	5,157	4,932	5,108	4,879	4,948	4,867	4,671	4,876	4,680	4,680	4,389	4,364	78.4%
島根県	6,529	6,222	6,092	5,838	5,848	5,739	5,824	5,806	5,594	5,635	5,588	5,511	5,354	5,229	5,247	80.4%
岡山県	18,432	18,390	17,518	17,196	16,608	16,515	16,647	16,765	16,275	16,290	16,143	15,791	15,531	15,020	14,769	80.1%
広島県	27,078	26,522	26,010	25,406	24,802	24,910	25,171	25,393	25,334	25,099	25,353	24,567	24,295	23,306	22,644	83.6%
山口県	12,881	12,700	12,160	11,878	11,588	11,368	11,425	11,391	11,446	11,093	11,273	10,554	10,545	9,959	9,761	75.8%
徳島県	6,660	6,682	6,394	6,159	5,866	5,831	5,858	5,732	5,686	5,508	5,618	5,453	5,362	5,062	5,159	77.5%
香川県	9,238	9,095	8,713	8,647	8,517	8,060	8,285	8,228	8,092	8,075	7,757	7,706	7,621	7,231	7,059	76.4%
愛媛県	12,874	12,547	12,272	11,962	11,382	11,350	11,351	11,437	11,179	11,124	11,020	10,797	10,417	9,873	9,525	74.0%
高知県	6,637	6,413	6,158	5,872	5,738	5,682	5,662	5,645	5,522	5,411	5,233	5,146	5,161	4,794	4,810	72.5%
福岡県	47,463	46,603	45,311	44,962	43,732	44,076	45,592	46,393	45,820	45,499	46,059	44,467	44,357	43,179	42,532	89.6%
佐賀県	8,932	8,522	8,227	8,077	7,766	7,675	7,840	7,989	7,571	7,613	7,709	7,331	7,157	6,996	6,717	75.2%
長崎県	13,348	13,055	12,601	12,173	11,883	11,975	11,807	11,924	11,748	11,614	11,563	11,490	11,101	10,854	10,426	78.1%
熊本県	17,265	16,963	16,528	16,375	15,875	15,875	16,056	16,506	16,192	16,211	16,039	15,892	15,675	14,928	14,787	85.6%
大分県	10,755	10,469	10,224	9,949	9,658	9,935	9,907	10,033	9,904	9,781	9,685	9,474	9,303	8,851	8,485	78.9%
宮崎県	10,914	10,712	10,277	10,215	9,711	9,905	10,234	10,286	10,025	10,133	9,950	9,685	9,584	9,218	8,759	80.3%
鹿児島県	15,865	15,790	15,251	14,932	14,548	14,640	14,732	15,083	14,793	14,713	14,993	14,473	14,183	13,460	13,295	83.8%
沖縄県	17,081	16,521	16,336	16,163	15,983	16,052	16,457	16,763	16,702	16,734	16,838	16,764	16,686	16,078	16,048	94.0%

## 私立大学の臨床検査系学科における学生納付金

出典：各大学ホームページ

番号	地域	大学名	学部名	学科名	入学定員	初年度 納入金額	入学金	授業料	施設費	実習費	諸会費	授業料＋施設 費＋実習費
1	茨城県	つくば国際大学	医療保健学部	臨床検査学科	80	1,893,370	300,000	900,000	350,000	250,000	93,370	1,500,000
2	群馬県	群馬パース大学	保健科学部	検査技術学科	60	1,550,000	150,000	1,400,000				1,400,000
3	埼玉県	埼玉医科大学	保健医療学部	臨床検査学科	70	1,846,370	300,000	1,000,000	300,000	200,000	46,370	1,500,000
4	千葉県	国際医療福祉大学	成田保健医療学部	医学検査学科	80	1,580,000	300,000	900,000	300,000	50,000	30,000	1,250,000
5	東京都	文京学院大学	保健医療技術学部	臨床検査学科	80	1,914,520	280,000	940,000	442,000	220,000	32,520	1,602,000
6	東京都	東京工科大学	医療保健学部	臨床検査学科	80	1,923,300	340,000	1,560,000			23,300	1,560,000
7	東京都	帝京大学	医療技術学部	臨床検査学科	100	1,852,590	250,000	1,000,000	375,000	200,000	27,590	1,575,000
8	東京都	杏林大学	保健学部	臨床検査技術学科	85	1,988,370	250,000	1,150,000	200,000	300,000	88,370	1,650,000
9	神奈川県	桐蔭横浜大学	医用工学部	生命医工学科	40	1,630,260	200,000	920,000	300,000	170,000	40,260	1,390,000
10	神奈川県	北里大学	医療衛生学部	医療検査学科	105	1,804,000	300,000	950,000	550,000	0	4,000	1,500,000
11	神奈川県	麻布大学	生命・環境科学部	臨床検査技術学科	80	1,824,660	250,000	850,000	400,000	250,000	74,660	1,500,000
12	新潟県	新潟医療福祉大学	医療技術学部	臨床技術学科	100	1,883,600	350,000	1,000,000	350,000	150,000	33,600	1,500,000
13	石川県	北陸大学	医療保健学部	医療技術学科	60	1,745,000	200,000	1,100,000	400,000		45,000	1,500,000
14	岐阜県	岐阜医療科学大学	保健科学部	臨床検査学科	90	1,778,000	250,000	700,000		750,000	78,000	1,450,000
15	愛知県	中部大学	生命健康科学部	生命医科学科	60	1,903,300	280,000	990,000	500,000	80,000	53,300	1,570,000
16	愛知県	藤田医科大学	医療科学部	臨床検査学科	120	1,796,000	300,000	800,000	300,000	250,000	146,000	1,350,000
17	三重県	鈴鹿医療科学大学	保健衛生学部	医療栄養学科 臨床検査学専攻	50	1,500,000	200,000	1,300,000				1,300,000
18	滋賀県	長浜バイオ大学	バイオサイエンス学部	バイオサイエンス学科 臨床検査学プログラム	30	1,620,000	250,000	950,000	270,000	100,000	50,000	1,320,000
19	京都府	京都橘大学	健康科学部	臨床検査学科	80	1,730,000	250,000	1,200,000	30,000	250,000		1,480,000
20	大阪府	関西医療大学	保健医療学部	臨床検査学科	60	1,850,000	200,000	1,200,000	400,000		50,000	1,600,000
21	大阪府	森ノ宮医療大学	保健医療学部	臨床検査学科	60	1,959,000	250,000	900,000	680,000		129,000	1,580,000
22	兵庫県	神戸常盤大学	保健科学部	医療検査学科	80	1,843,000	300,000	900,000	350,000	250,000	43,000	1,500,000
23	奈良県	天理医療大学	医療学部	臨床検査学科	30	1,890,000	300,000	1,090,000	250,000	250,000		1,590,000
24	岡山県	岡山理科大学	理学部	臨床生命科学科	95	1,530,000	220,000	845,000	300,000	165,000		1,310,000
25	岡山県	川崎医療福祉大学	医療技術学部	臨床検査学科	60	1,760,000	300,000	1,000,000	400,000		60,000	1,400,000
26	岡山県	倉敷芸術科学大学	生命科学部	生命医科学科	50	1,785,000	220,000	845,000	470,000	250,000	0	1,565,000
27	広島県	広島国際大学	保健医療学部	医療技術学科 臨床検査学専攻	40	1,786,000	250,000	1,430,000	90,000		16,000	1,520,000
28	福岡県	純真学園大学	保健医療学部	検査科学科	75	1,536,000	200,000	850,000	200,000	250,000	36,000	1,300,000
29	福岡県	国際医療福祉大学	福岡保健医療学部	医学検査学科	80	1,580,000	300,000	900,000	300,000	50,000	30,000	1,250,000
30	熊本県	熊本保健科学大学	保健科学部	医学検査学科	100	1,585,000	200,000	800,000	200,000	300,000	85,000	1,300,000
31	宮崎県	九州保健福祉大学	生命医科学部	生命医科学科	60	1,796,000	300,000	1,146,000	350,000			1,496,000
平均(全国)						1,763,334	259,355	1,016,645	335,444	215,227	52,614	1,461,548
平均(東海四県)						1,744,325	257,500	947,500	400,000	360,000	92,433	1,417,500

三重県	四日市看護医療大学	看護医療学部	臨床検査学科	50	1,715,500	200,000	960,000	270,000	260,000	25,500	1,490,000
-----	-----------	--------	--------	----	-----------	---------	---------	---------	---------	--------	-----------

<p>最重要エリア</p> <p>三重県北勢・中勢、伊勢志摩 愛知県(名古屋市、西尾張)</p>	<p>【三重県】</p> <p>いなべ総合学園高校、津田学園高校、暁高校(6年制)、暁高校(3年制)、桑名西高校、川越高校、四日市西高校、四日市四郷高校、四日市南高校、神戸高校、セントヨゼフ高校、津西高校、津高校、津東高校、高田高校、鈴鹿高校、皇學館高校、伊勢学園高校、伊勢高校、宇治山田高校、松阪商業高校、松阪高校、三重高校、桑名高校、桑名北高校、四日市メリノール学院高校、四日市南高校、朝明高校、久居高校、津商業高校、白子高校、宇治山田商業高校、相可高校、四日市農芸高校、亀山高校</p>	<p>【愛知県】</p> <p>津島高校、津島東高校、美和高校、新川高校、五条高校、愛知啓成高校、惟信高校、富田高校、松蔭高校、同朋高校、中村高校、名城大学附属高校、西陵高校、名古屋西高校、愛知高校、菊里高校、椋山女学園高校、名古屋経済大学高蔵高校、名古屋大谷高校、瑞陵高校、愛知みずほ大学瑞穂高校、名古屋南高校、名古屋女子高校、北高校、日進西高校、鳴海高校、緑高校、中京大学附属中京高校、向陽高校、桜花学園高校、山田高校、清林館高校、桜台高校、熱田高校、栄徳高校、愛知工業大学名電高校、愛知商業高校、東邦高校、愛知淑徳高校、一宮興道高校、一宮南高校、一宮西高校、大成高校、一宮北高校</p>
<p>重要エリア</p> <p>三重県東紀州・伊賀 愛知県(東尾張、三河、知多) 岐阜県西濃、飛騨 静岡県西部</p>	<p>【三重県】</p> <p>尾鷲高校、木本高校、上野高校、名張青峰高校</p> <p>【和歌山県】</p> <p>新宮高校、近畿大学附属新宮高校</p>	<p>【愛知県】</p> <p>光ヶ丘女子高校、岡崎城西高校、岡崎東高校、安城東高校、刈谷東高校、刈谷北高校、知立東高校、横須賀高校、東海南高校、阿久比高校、半田東高校、愛知教育大学附属高校、蒲郡東高校、小酒井高校、豊橋西高校、成章高校、聖霊高校、瀬戸西高校、中部大学春日丘高校、春日井高校、安城高校、安城学園高校、豊橋東高校、岡崎学園高校、至学館高校、大府高校、大府東高校、桃陵高校、尾北高校、丹羽高校、西春高校</p> <p>【岐阜県】</p> <p>各務原西高校、羽島北高校、大垣東高校、大垣西高校、大垣南高校、大垣日本大学高校、長良高校</p> <p>【静岡県】</p> <p>浜松湖東高校、浜松湖南高校、浜北西高校、浜名高校、浜松商業高校、浜松学芸高校</p>
<p>推進エリア</p> <p>長野県(南信州) 静岡県中東部 北陸 沖縄県</p>	<p>【長野県】</p> <p>飯田風越高校、豊科高校、東京都市大学塩尻高校</p>	<p>【静岡県】</p> <p>掛川西高校、掛川東高校、聖霊クリストファー高校</p> <p>【沖縄県】</p> <p>知念高校、向陽高校、糸満高校、北山高校、名護高校、普天間高校、西原高校、首里高校、興南高校、那覇国際高校、小禄高校、那覇西高校、宮古高校</p>

## 2018年度 進学相談会実績

【資料 8】

単位:人

月	日	曜日	会場	開催時間	担当者	相談者数	来場者数
4	12	木	名古屋 吹上ホール	16:00~19:00		11	1048
	14	土	名古屋 アクセス名古屋駅前フォーラム	13:30~16:30		0	10
	17	火	豊田 豊田スタジアム	15:45~18:30		5	328
	18	水	名古屋 吹上ホール	13:30~18:30		10	1058
	19	木	四日市 じばさん三重	16:00~18:30		9	138
	19	木	一宮 尾張一宮駅前ビル(iービル)	16:00~18:30		12	392
	20	金	岐阜 じゅうろくプラザ	15:30~18:30		6	460
	22	日	名古屋 ウィンクあいち	12:00~16:00		14	498
	23	月	四日市 じばさん三重	14:15~18:15		16	456
	24	火	大垣 クインテッサホテル大垣	16:00~18:00		11	232
	25	水	伊勢 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	16:00~18:00		11	337
	25	水	岐阜 じゅうろくプラザ	15:45~18:00		4	144
	26	木	津 アスト津	16:00~18:00		12	344
	26	木	伊勢 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	15:00~18:00		21	392
	27	金	安城 アンフォーレ	15:45~18:30		4	244
29	日	名古屋 ウィンクあいち	13:00~16:00		8	503	
5	1	火	岡崎 岡崎市竜美丘会館	16:00~18:30		16	354
	9	水	浜松 アクトシティ浜松	16:00~18:30		15	528
	12	土	津 三重県総合文化センター	13:00~16:00		17	非公開
	23	水	多治見 多治見市産業文化センター	15:45~18:30		5	220
	26	土	名古屋 ウィンクあいち	10:30~17:00		21	3717
27	日	名古屋 ウィンクあいち	10:00~16:00		14	4299	
6	5	火	四日市 じばさん三重	16:00~18:15		12	189
	5	火	沖縄 沖縄市体育館	15:00~19:00		2	863
	6	水	四日市 じばさん三重	14:00~18:30		18	358
	6	水	伊勢 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	15:30~18:30		8	254
	6	水	那覇 奥武山公園 沖縄県立武道館	14:30~19:00		7	1281
	7	木	福井 フェニックスプラザ	15:30~19:00		3	1094
	7	木	岡崎 岡崎市竜美丘会館	16:00~18:30		21	635
	8	金	一宮 尾張一宮駅前ビル(iービル)	15:30~18:30		15	406
	8	金	宮古 ホテルアトールエメラルド宮古島	16:00~18:30		14	143
	11	月	四日市 じばさん三重	16:15~18:15		1	75
	12	火	四日市 じばさん三重	16:00~18:30		7	89
	13	水	津 アスト津	15:30~18:30		7	189
	13	水	鈴鹿 ホテルグリーンパーク鈴鹿	15:00~18:00		8	275
	14	木	名張 名張シティホテル	15:45~18:00		3	45
	14	木	浜松 遠鉄百貨店新館8Fえんてつホール	16:00~18:30		12	243
	17	日	四日市 じばさん三重	10:00~16:00		5	585
	20	水	津島 津島市文化会館	16:00~18:30		1	60
	24	日	名古屋 吹上ホール	11:00~16:00		9	1962
25	月	津 アスト津	15:00~18:30		10	192	
28	木	岐阜 みんなの森 ぎふメディアコスモス	16:00~19:00		5	283	
7	8	日	名古屋 ウィンクあいち	13:00~17:00		9	295
	10	火	津 メッセウイングみえ	13:00~16:30		16	953
	10	火	岡崎 岡崎市図書館交流プラザ Libra	16:00~18:30		9	91
	11	水	掛川 掛川グランドホテル	15:00~18:30		9	311
	17	火	多治見 多治見市産業文化センター	13:20~15:30		5	125
9	12	水	浜松 アクトシティ浜松	16:00~18:30		11	398
	13	木	岐阜 じゅうろくプラザ	15:30~18:30		10	442
	13	木	伊那 伊那市生涯学習センター	16:00~18:30		13	396
	20	木	四日市 じばさん三重	16:00~18:30		3	78
10	24	祝・月	津 アスト津	13:00~16:00		9	898
	5	金	大垣 クインテッサホテル大垣	15:30~18:30		1	140
	8	祝・月	名古屋 ウィンクあいち	13:00~16:00		4	192

11	6	火	四日市	じばさん三重	16:00~18:15		8	178
	15	木	津	アスト津	16:00~18:00		11	338
	21	水	伊勢	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	16:00~18:00		14	376
12	13	木	浜松	なゆた・浜北 3階なゆたホール	15:45~18:00		16	173
	14	金	四日市	じばさん三重	15:00~18:00		6	208
	16	日	名古屋	ウインクあいち	12:00~16:00		32	919
	17	月	一宮	尾張一宮駅前ビル(i-ビル)	13:30~16:30		1	113
	18	火	岐阜	じゅうろくプラザ	13:30~16:30		9	227
	19	水	津島	津島市文化会館	13:30~16:00		8	189
2	20	水	伊勢	シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢	16:00~18:30		10	233
	22	金	大垣	クインテッサホテル大垣	15:30~18:30			
3	15	金	名古屋	ポートメッセなごや	13:00~16:30			
	27	水	名古屋	ウインクあいち	14:30~17:00			

2018年度集計結果  
 進学相談会回数： 67回  
 相談者合計数： 624名



## 2017年度 進学相談会実績

単位:人

月	日	曜日	会場	開催時間	担当者	相談者数	来場者数	
4	13	木	名古屋	吹上ホール	16:00~19:00		14	1,532
	13	木	豊橋	名豊ビル本館	16:00~18:30		9	172
	19	水	名古屋	吹上ホール	13:30~18:30		17	1,332
	20	木	四日市	じばさん三重	16:00~18:30		3	216
	20	木	伊勢	伊勢市観光文化会館	16:00~18:00		14	313
	21	金	豊田	豊田スタジアム	15:45~18:00		13	381
	22	土	名古屋	ウインクあいち	13:00~16:00		10	414
	23	日	名古屋	ウインクあいち	11:30~16:30		23	596
	24	月	四日市	じばさん三重	14:30~18:30		21	473
	25	火	四日市	じばさん三重	16:15~18:15		2	151
	25	火	津	アスト津	16:00~18:00		22	453
	26	水	津	アスト津	15:30~18:30		4	70
	26	水	岐阜	じゅうろくプラザ	15:45~18:30		5	245
	27	木	岡崎	岡崎市竜美丘会館	16:00~18:30		14	363
27	木	飯田	シルクホテル	15:50~18:00		2	82	
5	2	火	岡崎	岡崎市竜美丘会館	16:00~18:30		10	196
	6	土	岐阜	岐阜市文化センター	13:00~16:00		7	853
	7	日	名古屋	名古屋国際会議場	13:00~16:00		2	711
	9	火	名古屋	吹上ホール	16:00~19:00		3	322
	10	水	大垣	ロワジールホテル大垣	15:30~18:30		5	282
	13	土	津	三重県総合文化センター	13:00~16:00		5	非公開
	23	火	大垣	ロワジールホテル大垣	16:00~18:00		4	223
	24	水	多治見	多治見市産業文化センター	15:45~18:30		6	262
	27	土	名古屋	ウインクあいち	10:30~17:00		15	3,766
	28	日	名古屋	ウインクあいち	10:00~16:00		15	4,225
30	火	伊勢	伊勢市観光文化会館	15:45~18:00		5	175	
6	6	火	沖縄	沖縄市体育館	15:00~19:00		12	986
	7	水	四日市	じばさん三重	15:45~18:15		8	322
	7	水	伊勢	伊勢市観光文化会館	15:30~18:30		15	201
	7	水	那覇	沖縄県立武道館	14:30~19:00		14	1,648
	8	木	豊橋	穂の国とよはし芸術劇場PLAT	15:30~18:30		6	146
	9	金	一宮	尾張一宮駅ビル(i-ビル)	15:30~18:30		6	319
	9	金	宮古	ホテルアトールエメラルド宮古島	16:00~18:30		4	89
	13	火	松本	ホテルブエナビスタ	14:00~18:30		4	1,937
	14	水	津	アスト津	15:30~18:30		2	128
	14	水	鈴鹿	ホテルグリーンパーク鈴鹿	15:00~18:00		12	328
	14	水	長野	ビッグハット	15:00~18:30		3	非公開
	15	木	四日市	じばさん三重	15:30~18:30		8	122
	15	木	伊勢	伊勢市観光文化会館	15:00~18:00		16	500
	15	木	名古屋	ウインクあいち	16:00~19:00		11	443
	16	金	浜松	遠鉄百貨店新館8Fえんてつホール	15:30~18:30		12	211
	16	金	岐阜	じゅうろくプラザ	15:30~18:30		3	271
	17	土	名古屋	吹上ホール	10:00~12:30		0	12
	18	日	四日市	じばさん三重	10:00~16:00		3	595
	20	火	津島	津島市文化会館	16:00~18:30		2	143
	21	水	浜松	アクトシティ浜松	16:00~18:30		18	584
7	7	金	名古屋	IMYホール	14:30~18:30		10	251
	17	月・祝	名古屋	ウインクあいち	13:00~17:00		11	384
	18	火	多治見	多治見市産業文化センター	13:30~16:00		7	112
	26	水	津	メッセウイングみえ	11:00~15:00		13	829
8	22	火	浜松	遠鉄百貨店新館8Fえんてつホール	13:00~16:00		1	927
	30	水	名古屋	吹上ホール	13:00~19:00		6	1,522
	31	木	名古屋	吹上ホール	13:00~19:00		4	1,217
	10	日	四日市	じばさん三重	10:00~16:00		5	424

9	12	火	四日市	じばさん三重	16:00~18:30	7	137
	12	火	豊田	名鉄トヨタホテル	16:00~19:30	6	142
	13	水	浜松	アクトシティ浜松	16:00~18:30	13	428
	15	金	岐阜	じゅうろくプラザ	15:30~18:30	7	431
	20	水	金沢	金沢駅もてなしドーム	15:30~19:00	2	1,113
	21	木	福井	フェニックス・プラザ	15:30~19:00	1	734
	23	土	津	アスト津	13:00~16:00	6	766
11	5	日	名古屋	名古屋JPタワー3Fホール	13:00~16:00	2	136
	17	金	津	アスト津	16:00~18:00	8	140
	17	金	四日市	じばさん三重	16:00~18:15	7	101
	20	月	伊勢	伊勢市観光文化会館	16:00~18:00	9	226
	24	金	四日市	じばさん三重	16:15~18:15	5	183
12	9	土	名古屋	ウインクあいち	12:00~16:00	28	822
	18	月	一宮	尾張一宮駅ビル(iービル)	13:30~16:30	3	215
	19	火	岐阜	じゅうろくプラザ	13:30~16:30	8	283
	20	水	津島	津島市文化会館	13:30~16:00	4	125
	21	木	名古屋	ウインクあいち	13:00~16:00	8	158
2	21	水	伊勢	伊勢市観光文化会館	15:30~18:00	12	286
	22	木	津島	津島市文化会館	13:00~15:30	2	127
3	13	火	名古屋	ポートメッセなごや	13:00~17:00	27	1,027
	27	火	名古屋	ウインクあいち	14:30~17:00	7	非公開

2017年度集計結果  
 進学相談会回数：75回  
 相談者合計数：638名

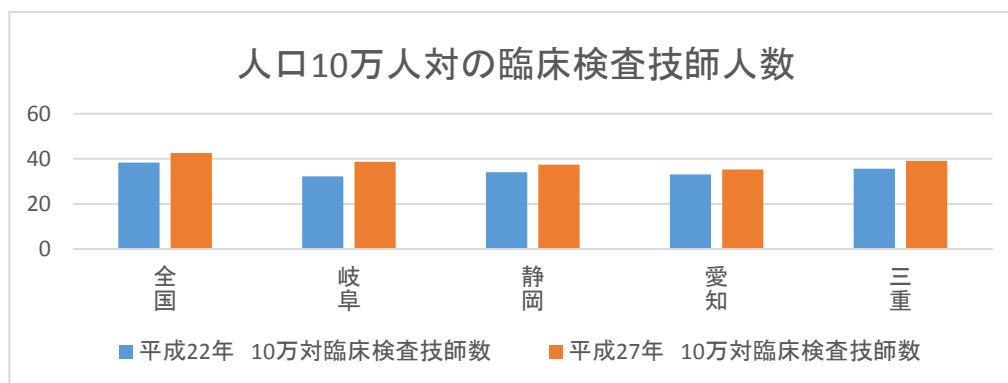
## 病院における臨床検査技師数

年	全国	岐阜	静岡	愛知	三重	東海四県
H09	44420	580	1183	2247	586	4596
H10	44574	594	1186	2264	592	4636
H11	44676	603	1186	2257	607	4653
H12	44826	603	1192	2271	595	4661
H13	45256	621	1214	2278	595	4708
H14	44945.6	609.3	1222.5	2297.9	605.3	4735
H15	44969.3	612.6	1250	2278.3	603.9	4744.8
H16	45168.1	626.3	1252.9	2275.5	624.6	4779.3
H17	45676.8	633	1282.2	2272.5	626.1	4813.8
H18	45935.3	640.8	1289.4	2320.1	641.5	4891.8
H19	46638.9	649.4	1258.3	2330.9	640.6	4879.2
H20	47371.9	667.8	1271.4	2354.2	655.6	4949
H21	48055.4	665.1	1259	2434.7	658.2	5017
H22	48986.3	671	1283.5	2456.4	659.9	5070.8
H23	49772.1	694.4	1291.6	2451.4	672.9	5110.3
H24	50665.4	710.4	1319.6	2526.6	669.9	5226.5
H25	51759.5	729.9	1322.9	2602.7	678.3	5333.8
H26	52961.5	766	1352.7	2613.7	690.5	5422.9
H27	54155.4	786	1384.8	2642.8	710.9	5524.5
H28	55072.1	795.7	1400.4	2705.7	720.7	5622.5
増加率 (H28/H9)	124.0%	137.2%	118.4%	120.4%	123.0%	122.3%

出典:厚生労働省政策統括官付保健統計室「医療施設調査・病院報告」

## 人口10万人対・勤務する臨床検査技師の人数

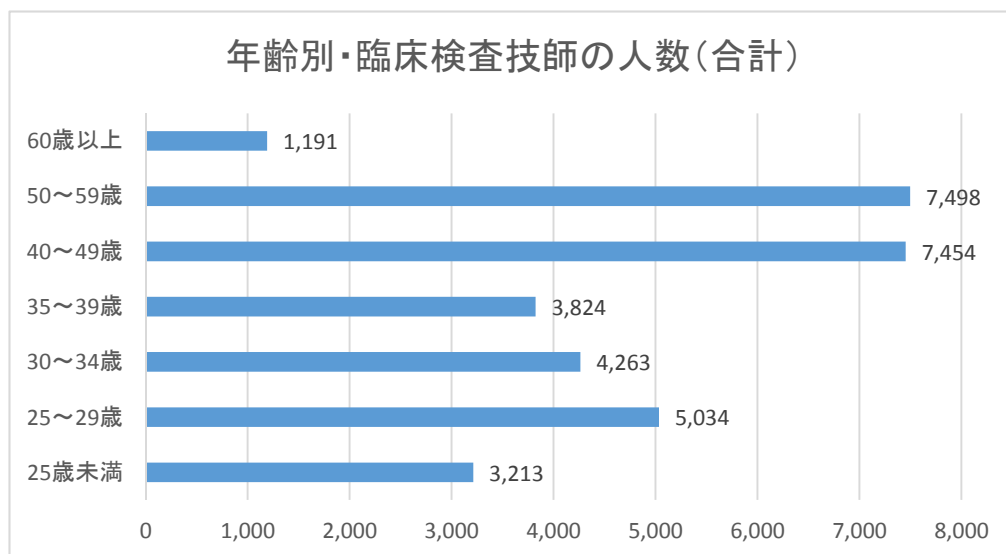
	全国	岐阜	静岡	愛知	三重
平成22年 人口(1000人)	128,057	2,081	3,765	7,411	1,855
平成27年 人口(1000人)	127,095	2,032	3,700	7,483	1,816
平成22年 10万対臨床検査技師数	38.3	32.2	34.1	33.1	35.6
平成27年 10万対臨床検査技師数	42.6	38.7	37.4	35.3	39.1



厚生労働省政策統括官付保健統計室「医療施設調査・病院報告」、総務省「国勢調査」を基に作成

## 勤務する臨床検査技師の年齢構成

性別	年齢	人数	構成比
男性	25歳未満	1,015	8.6%
	25～29歳	1,619	13.8%
	30～34歳	1,453	12.4%
	35～39歳	1,187	10.1%
	40～49歳	2,387	20.3%
	50～59歳	3,470	29.5%
	60歳以上	633	5.4%
	合計	11,764	100.0%
女性	25歳未満	2,198	10.6%
	25～29歳	3,415	16.5%
	30～34歳	2,810	13.6%
	35～39歳	2,637	12.7%
	40～49歳	5,067	24.5%
	50～59歳	4,028	19.4%
	60歳以上	558	2.7%
	合計	20,713	100.0%
合計	25歳未満	3,213	9.9%
	25～29歳	5,034	15.5%
	30～34歳	4,263	13.1%
	35～39歳	3,824	11.8%
	40～49歳	7,454	23.0%
	50～59歳	7,498	23.1%
	60歳以上	1,191	3.7%
	合計	32,477	100.0%



出典元:一般社団法人日本臨床衛生検査技師会  
「平成29年度会員施設実態調査」

四日市看護医療大学  
「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」  
設置に係る人材需要の見通し調査  
(設置構想についての人材需要アンケート調査)  
報告書

# 目次

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 概要        | 3 |
| 2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果      | 4 |
| 3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 集計結果のポイント | 9 |

## 添付資料

- |                        |    |
|------------------------|----|
| 「設置構想についての人材需要アンケート調査」 | 13 |
|------------------------|----|

## 1. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」概要

四日市看護医療大学が2020年度、設置予定の「看護医療学部 臨床検査学科（仮称・設置構想中）」における人材需要の見通しを測定するために、「設置構想についての人材需要アンケート調査」（無記名式）を計1,091箇所へ送付した。計176件の有効回答（アンケート調査用紙）を回収の上で集計した結果、123箇所が「臨床検査学科（仮称）」の学科特色および養成する人材を評価した。加えて、57箇所が「臨床検査学科（仮称）」の養成する臨床検査技師を「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は合計99人であった。一方、21箇所が「臨床検査学科（仮称）」の養成する細胞検査士を「採用したい」とし、その上で提示された採用可能人数は合計30人であった。

調査対象	四日市看護医療大学「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」卒業生の採用が見込まれる東海地方の病院と検診センター、東海地方に拠点を持つ臨床検査企業その他、全国の製造業（医薬品、医療検査機器）、合計1,091箇所を依頼対象とした。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 問1～4：回答企業等の基本情報（業種、所在地、臨床検査技師・細胞検査士の勤務人数および充足状況）</li> <li>● 問5～7：四日市看護医療大学「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」が養成する人材像、学科特色についての評価、採用意向及び業務内容、同学科に期待・要望する点について</li> </ul> 以上、全7問で主に選択肢式。一部記述を含む。
調査時期	2018年12月～2019年1月
調査方法	調査対象先の採用担当者宛にアンケート調査用紙1部・依頼状・返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
回収件数	有効回答数176件（配布1,091件に対し、回収率16.1%）

→ 配布した「設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙は13ページ【添付資料】参照。



## 2. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比」(%)はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

**問1** 貴機関・貴社についてあてはまるものをお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 病院	110	62.5%
2. 検診センター	13	7.4%
3. 臨床検査会社	19	10.8%
4. 製造業（医薬品）	4	2.3%
5. 製造業（医療検査機器）	4	2.3%
6. その他	21	11.9%
（無回答）	5	2.8%
合計	176	100.0%

**問2** 貴機関・貴社の所在地をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	1	0.6%
2. 青森県	0	0.0%
3. 岩手県	0	0.0%
4. 宮城県	0	0.0%
5. 秋田県	1	0.6%
6. 山形県	0	0.0%
7. 福島県	0	0.0%
8. 茨城県	2	1.1%
9. 栃木県	0	0.0%
10. 群馬県	1	0.6%
11. 埼玉県	1	0.6%
12. 千葉県	2	1.1%
13. 東京都	17	9.7%
14. 神奈川県	3	1.7%
15. 新潟県	0	0.0%
16. 富山県	0	0.0%
17. 石川県	1	0.6%
18. 福井県	0	0.0%
19. 山梨県	0	0.0%
20. 長野県	0	0.0%
21. 岐阜県	24	13.6%
22. 静岡県	30	17.0%
23. 愛知県	48	27.3%
24. 三重県	28	15.9%
25. 滋賀県	1	0.6%

選択項目	回答数	構成比
26. 京都府	3	1.7%
27. 大阪府	6	3.4%
28. 兵庫県	1	0.6%
29. 奈良県	0	0.0%
30. 和歌山県	2	1.1%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	0	0.0%
33. 岡山県	2	1.1%
34. 広島県	0	0.0%
35. 山口県	0	0.0%
36. 徳島県	0	0.0%
37. 香川県	0	0.0%
38. 愛媛県	0	0.0%
39. 高知県	0	0.0%
40. 福岡県	0	0.0%
41. 佐賀県	0	0.0%
42. 長崎県	0	0.0%
43. 熊本県	0	0.0%
44. 大分県	0	0.0%
45. 宮崎県	0	0.0%
46. 鹿児島県	0	0.0%
47. 沖縄県	0	0.0%
（無回答）	2	1.1%
合計	176	100.0%

**問3** 貴機関・貴社において勤務されている臨床検査技師および細胞検査士の人数をお答えください。  
 （臨床検査技師および細胞検査士が勤務されている場合のみ人数をご記入ください）

**【臨床検査技師】**

常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	15	15
2	12	24
3	7	21
4	12	48
5	7	35
6	4	24
7	2	14
8	4	32
10	6	60
11	3	33
12	4	48
13	4	52
14	2	28
15	1	15
16	3	48
17	2	34
18	3	54
19	1	19
21	1	21
22	2	44
23	1	23
24	1	24
25	1	25
26	3	78
27	2	54

回答人数	回答数	人数合計
29	2	58
30	2	60
32	3	96
33	2	66
34	2	68
36	2	72
39	1	39
41	1	41
42	2	84
44	1	44
48	1	48
52	3	156
53	1	53
60	1	60
65	2	130
66	1	66
92	1	92
95	1	95
113	1	113
160	1	160
251	1	251
294	1	294
1,000	1	1,000
合計	137	4,019

非常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	30	30
2	11	22
3	4	12
4	10	40
5	5	25
6	2	12
7	4	28
8	1	8
9	4	36
10	3	30
11	1	11
12	1	12

回答人数	回答数	人数合計
13	1	13
14	3	42
15	2	30
17	1	17
19	1	19
23	1	23
29	1	29
37	1	37
39	1	39
50	1	50
91	1	91
合計	90	656

【細胞検査士】

常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	8	8
2	12	24
3	6	18
4	2	8
5	3	15
6	5	30

回答人数	回答数	人数合計
7	2	14
9	2	18
10	3	30
18	1	18
60	1	60
合計	45	243

非常勤

回答人数	回答数	人数合計
1	7	7
2	1	2
5	2	10
7	1	7
10	1	10

回答人数	回答数	人数合計
18	1	18
30	1	30
34	1	34
80	1	80
合計	16	198

問4 貴機関・貴社における臨床検査技師および細胞検査士の充足状況についてお答えください。  
（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	臨床検査技師		細胞検査士	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 大きく不足している	4	2.3%	4	2.3%
2. やや不足している	60	34.1%	30	17.0%
3. 適度に充足している	77	43.8%	23	13.1%
4. 過剰である	2	1.1%	0	0.0%
5. わからない	24	13.6%	76	43.2%
（無回答）	9	5.1%	43	24.4%
合計	176	100.0%	176	100.0%

問5～7は四日市看護医療大学「臨床検査学科（仮称）」の概要を見た上での回答を求めた。

問5 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科（仮称）」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。（あてはまるもの一つにチェックをお願いします）

選択項目	回答数	構成比
1. 大変評価する	47	26.7%
2. ある程度評価する	76	43.2%
3. あまり評価しない	2	1.1%
4. 全く評価しない	0	0.0%
5. わからない	50	28.4%
（無回答）	1	0.6%
合計	176	100.0%

**問6** 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」が養成する人材(臨床検査技師および細胞検査士)を、貴機関・貴社において採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

選択項目	臨床検査技師		細胞検査士	
	回答数	構成比	回答数	構成比
1. 採用したい	57	32.4%	21	11.9%
2. 採用しない	25	14.2%	46	26.1%
3. わからない	91	51.7%	78	44.3%
(無回答)	3	1.7%	31	17.6%
合計	176	100.0%	176	100.0%

(問6)で「採用したい」とご回答された場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。

提示人数	臨床検査技師		細胞検査士	
	回答数	人数合計	回答数	人数合計
1人	27	27	7	7
2人	9	18	4	8
3人	4	12	5	15
5人	7	35	0	-
7人	1	7	0	-
(無回答)	9	-	5	-
合計	57	99	21	30

**問7** 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述となります)

※ 30箇所から回答を得た。以下、回答内容を掲載(原文通り)。順不同。【】内は【業種/所在地】を示す。

1.	四日市市内に臨床検査学科の学校が設置される時は、同門の技師として喜ばしい。6年に卒業生が出れば、高齡化している。当クリニックは、採用に関してお願ひしたい。【検診センター/三重県】
2.	採血技術をより教授【臨床検査会社/東京都】
3.	若い人材(有資格者)の方を男女問わず採用できたらいいと思っております。【臨床検査会社/東京都】
4.	欠員補充で採用試験を行う際は、是非貴大学学生の申し込みをお願いいたします。【病院/三重県】
5.	現在検査技師は充足しているが、必要となった時提供して貰える養成機関はありがたい【病院/岐阜県】
6.	弊社では、現在のところ臨床検査技師および細胞検査士の受け入れ実績がなく、能力や資格を活かせるポジションが無いため、十分は回答が出来ず誠に申し訳ございません。【その他/東京都】
7.	当院では完全に外注しています。【病院/三重県】
8.	検査センターで、対応可能のため、検査技師の採用は必要ない為。【病院/三重県】
9.	今後在宅医療推進が進む中、弊社では、訪看や医療機器に併用される薬品の運用についての知識者採用の可能性は否定できません。従って、薬学専門課学卒人材等の雇用の可能性はあると思われます。【無回答/東京都】
10.	愛知県と静岡県で医療機関を運営しております。貴学とは距離がいくらか離れてはおりますが、ご縁がございましたら、その際はよろしくお願ひ致します。【病院/愛知県】
11.	細胞検査士は採用が難しく確保に苦慮しておりますので、大変期待しております。【病院/愛知県】
12.	学科新設との事、検査センターとしても大変期待しております。是非、中部地方だけでなく、全国で活躍される事を願っております。今後とも宜しくお願ひ致します。【臨床検査会社/東京都】

13.	私的な考えとして……。現在、細胞検査士を含め、様々な認定資格がありますが、もちろん資格も重要と考えますが、臨床検査技師として幅広く活躍できる方が有用と感じる。（オールラウンダー）【病院/岐阜県】
14.	現状臨床検査技師、細胞検査士は在職者なく、また今のところ募集予定もございません。【病院/愛知県】
15.	愛知県に3校+修文大学、三重県に1校+貴校、中部圏における需要と供給のバランスは保たれるのか？【病院/愛知県】
16.	トラブル時対応（インシデント、アクシデント含む）、業務改善、手法、能力を強化いただければと思います。【臨床検査会社/茨城県】
17.	制度管理、システム管理知識の充実。細胞検査士認定試験合格率【病院/三重県】
18.	将来的に、臨床検査業務は2極化が予想されるので、チーム医療病棟進出の人との関係を求められる部分と遺伝子など従来型の専門性をより深く探求する方向になるので、教育面において、幅広い対応が必要だと思います。【病院/静岡県】
19.	弊社は、臨床検査技師および細胞検査士の資格を必要とする業務・部署がございませんので、申し訳ございませんが、問4以降の質問には回答いたしかねます。【その他/東京都】
20.	医師とも対等に話せる人材が必要。それには基礎（生化学等）医学が重要と思われれます。【臨床検査会社/和歌山県】
21.	現時点で採用予定は未定です。数年後に退職者補充は予定されます。【病院/三重県】
22.	医療看護技術より幅広い専門的知識のある臨床検査技師の誕生は疼痛の早期発見、治療への貢献とおおいに期待しています。【病院/愛知県】
23.	臨床検査技師は、今後大きな過渡期を迎えようとしています。AIの台頭に加え、コンパニオン診断によるオーダーメイド治療（治療のみでなくいずれは慢性疾患へも広がれるのでは）の発達など臨床検査技師の役割が大きく変化する可能性があります。そういった中、より先を見据えた教育が行われることを希望します。【病院/三重県】
24.	当施設では藤田医科大学、岐阜医療、国立大学、そして最近では鈴鹿医療大学から採用しております。新設の大学生の評判はあまり良いものではありません。（すべての学生が悪いわけではないのですが）。やっぱりあそこの学生はだめだね、と言われない教育をしていただきたいです。各大学ごとでそのカラーははっきりしている様に思えます。【病院/三重県】
25.	細胞検査士養成コースの創設には、特に期待しています。【病院/岐阜県】
26.	医療人としての倫理観に根付いた考え、そして（考える力）を養える教育とコミュニケーション能力をもった検査技師の養成育成をお願いします。【臨床検査会社/千葉県】
27.	申し訳ございませんが、弊社ではニーズがありません。【その他/大阪府】
28.	多様な人材の育成。職場適応能力のある人材の育成。【病院/岐阜県】
29.	知識、技術の他に医師への検査結果の報告を出来る能力、（コミュニケーション能力）の高い検査技師の養成を期待しております。【臨床検査会社/千葉県】
30.	併設の看護学科との連携により、また「栄養学」「食品学」の科目を配置から幅広い知識、高度な専門技術を期待します。【病院/岐阜県】

### 3. 「設置構想についての人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比」（％）はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

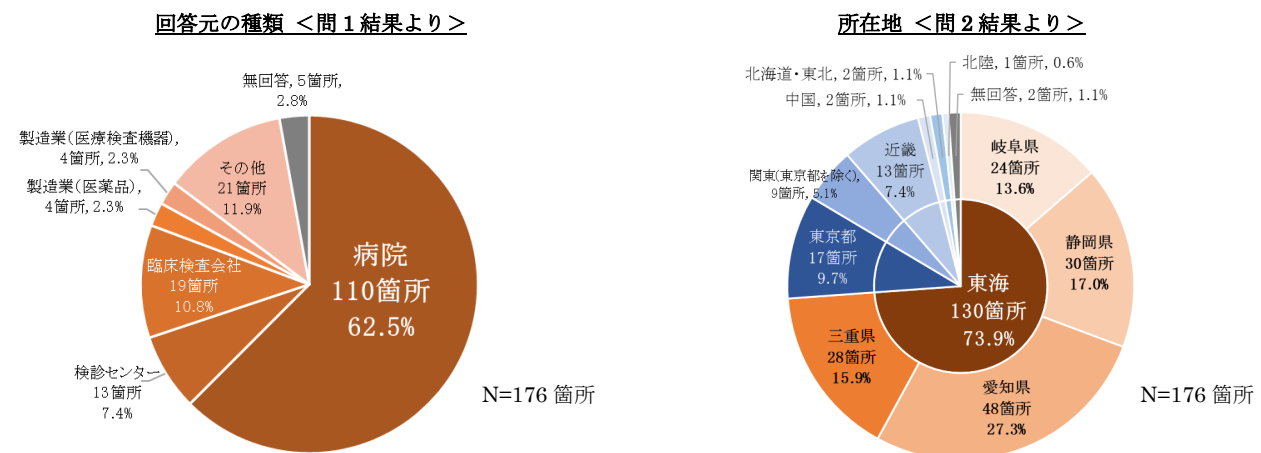
**Point 1** 東海地方を中心とした病院・臨床検査会社等、臨床検査技師・細胞検査士が活躍する 176 箇所が回答。内、臨床検査技師は 62 箇所、細胞検査士は 34 箇所が不足との認識。

四日市看護医療大学が 2020 年度、設置予定の「看護医療学部 臨床検査学科（仮称）」に係る「設置構想についての人材需要アンケート調査」において返送を得た有効回答 176 件の集計を行った。その結果、施設種別でみた場合、最も回答数が多かったのは「病院」で 110 箇所（全体の 62.5%）であった。以下、「臨床検査会社」19 箇所（同 10.8%）、「検診センター」13 箇所（同 7.4%）、「製造業（医薬品）」「製造業（医療検査機器）」各 4 箇所（同 2.3%）であった。また、所在地（本社・主たる事業所等）については、最も回答が多かったのは「愛知県」で 48 箇所（同 27.3%）であった。大学の所在地である三重県は 28 箇所（同 15.9%）で、東海地方（愛知県、三重県、静岡県、岐阜県）全体では、計 130 箇所（同 73.9%）で東海地方を拠点とするところが中心であった。一方で、「東京都」17 箇所（同 9.7%）、「大阪府」6 箇所（同 3.4%）をはじめとする近畿地方が計 13 箇所（同 7.4%）あった。

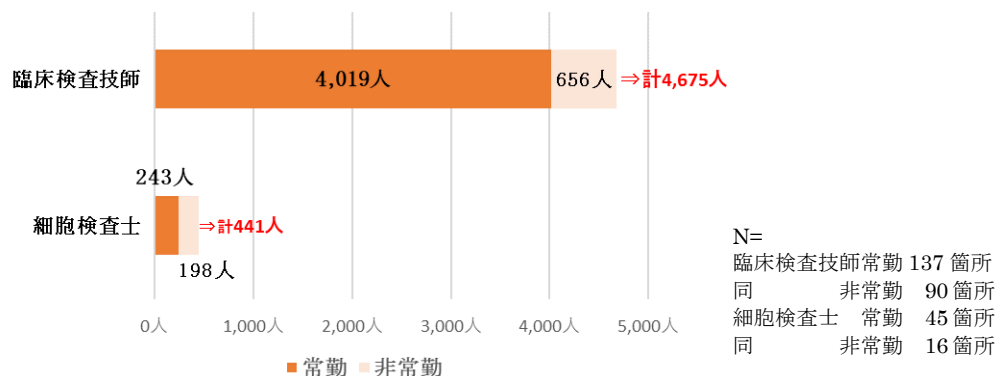
現在勤務する臨床検査技師・細胞検査士の人数については、臨床検査技師が常勤 4,019 人、非常勤が 656 人で計 4,675 名、細胞検査士が、常勤 243 人、非常勤 198 人で計 441 名であった。

充足状況については、臨床検査技師が「大きく不足している」が 4 箇所（同 2.3%）、「やや不足している」が 60 箇所（同 34.1%）、で、合計すると 64 箇所（同 36.4%）が臨床検査技師は不足していると回答した。また、細胞検査士が「大きく不足している」が 4 箇所（同 2.3%）、「やや不足している」が 30 箇所（同 17.0%）で、合計すると 34 箇所（同 19.3%）が細胞検査士は不足していると回答した。

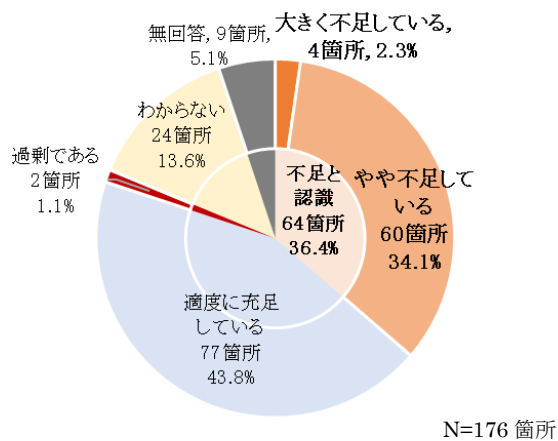
【グラフ】回答元について



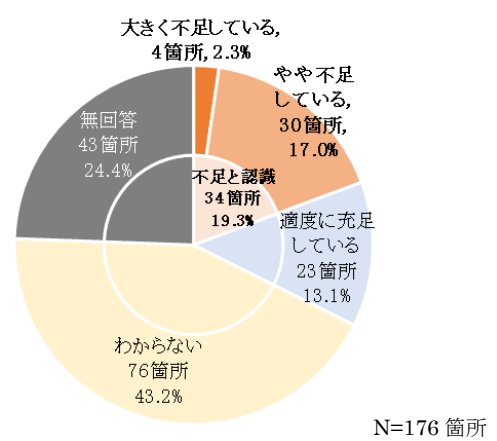
勤務する臨床検査技師・細胞検査士の人数 <問 3 結果より>



臨床検査技師の充足状況 <問4結果より>



細胞検査士の充足状況 <問4結果より>



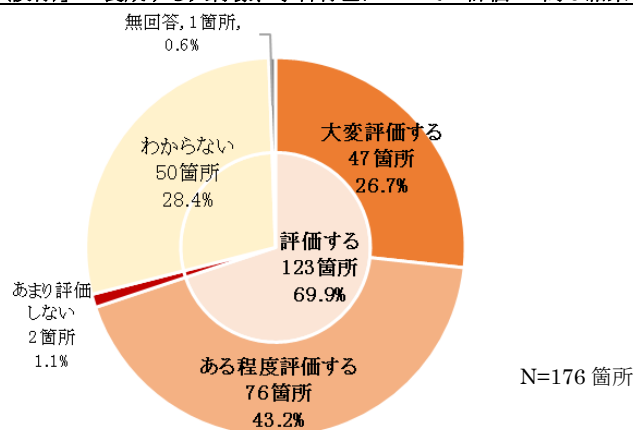
**Point 2** 「臨床検査学科（仮称）」を卒業する人材について約7割が評価するとし、学科定員50名（予定）に対し臨床検査技師は99名、細胞検査士は30名の採用意向が示される。

四日市看護医療大学が設置予定の「臨床検査学科（仮称）」の概要を示し、学科特色および養成する人材の評価、採用意向について回答を求めた。その結果、「臨床検査学科（仮称）」を「大変評価する」47箇所（全体の26.7%）、「ある程度評価する」76箇所（同43.2%）であった。合計すると、全体の約7割の123箇所（同69.9%）が「評価する」とした。

さらに、約3割の57箇所（同32.4%）が「臨床検査学科（仮称）」が養成する臨床検査技師を「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計99人であった。一方、細胞検査士については21箇所（同11.9%）が「採用したい」と回答した。その上で提示された採用可能人数は合計30人であった。

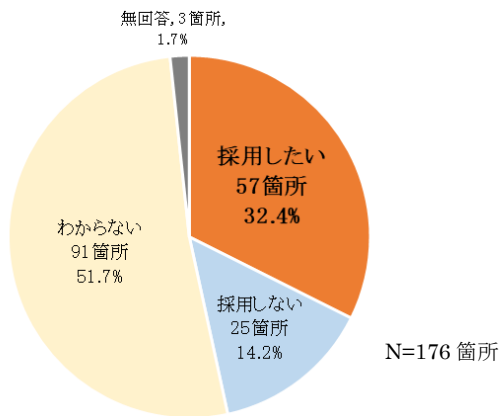
【グラフ】四日市看護医療大学 看護医療学部「臨床検査学科（仮称）」の評価・採用意向について

「臨床検査学科（仮称）」の養成する人材像、学科特色についての評価 <問5結果より>

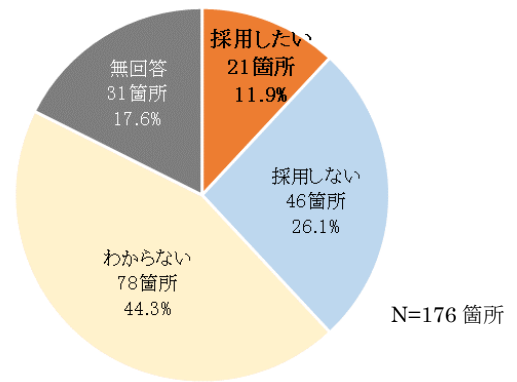


※グラフは次ページに続く。

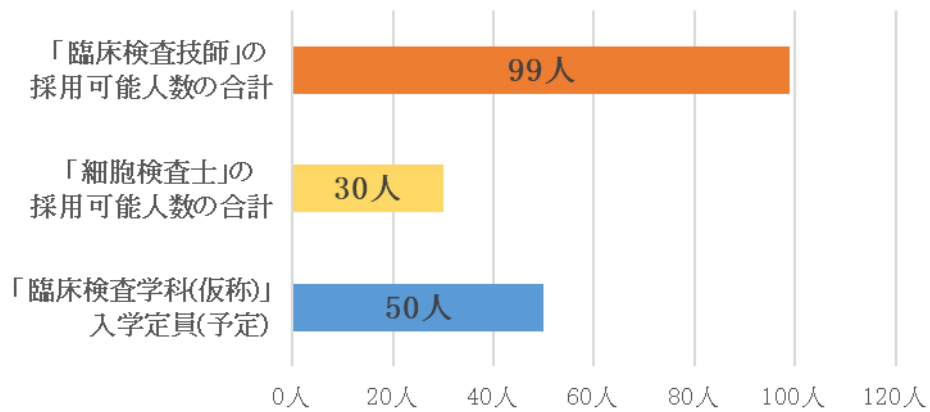
養成する臨床検査医技師の採用意欲 <問5結果より>



養成する細胞検査士の採用意欲 <問5結果より>



養成する臨床検査技師・細胞検査士の採用可能人数 <問5結果より>



N=  
臨床検査技師を採用したいとし、人数提示した 48 箇所  
細胞検査士を採用したいとし、人数提示した 16 箇所





**【添付資料】**

「設置構想についての人材需要アンケート調査」



# 看護医療学部

# 四日市看護医療大学 臨床検査学科 (仮称)

2020年4月開設にむけ 設置構想中

## 設置構想についての人材需要アンケート調査

(対象：人事・採用ご担当者様)

四日市看護医療大学(三重県四日市市萱生町 1200)は 2020 年 4 月、「看護医療学部 臨床検査学科(仮称/入学定員 50 名)」を予定)の設置を構想しています。「臨床検査学科(仮称)」は幅広い学びを通して、医療に必要な専門知識をはじめ、優れたヒューマンケア能力を持つ臨床検査技師を養成して参ります。また、中部地方の四年制大学における臨床検査技師養成課程としては初めて、文部科学省 臨床検査技師養成所の指定を申請することを計画しており、指定規則に則った専門性の高い教育を行います。また、こちらも中部地方では初の細胞検査士の同時取得が可能となる「細胞検査士」養成コース(選択制)を設ける予定です。

四日市看護医療大学ではこのアンケート調査を通して、将来卒業生の採用を検討いただく可能性のある皆様からご意見をお聞きし、設置構想の参考とさせていただきますと考えています。皆様から得られた情報は四日市看護医療大学「臨床検査学科(仮称)」の設置構想に係る統計資料としてのみ活用いたします。アンケート調査へのご協力を、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は四日市看護医療大学から委託された第三者機関(株式会社高等教育総合研究所)が実施しています。

記入例を参考にご回答ください。 正しい 誤り 正しい 誤り

問1 貴機関・貴社についてあてはまるものをお答えください。  
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 病院
- 検診センター
- 臨床検査会社
- 製造業 (医薬品)
- 製造業 (医療検査機器)
- その他

問2 貴機関・貴社の所在地をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- |                           |                            |                           |                            |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県  | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県  | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県  |
| <input type="radio"/> 福島県 | <input type="radio"/> 茨城県  | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県  | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県  |
| <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 | <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県  | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県  |
| <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県  | <input type="radio"/> 岐阜県 | <input type="radio"/> 静岡県  | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県  |
| <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府  | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県  | <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 |
| <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県  | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県  | <input type="radio"/> 山口県 | <input type="radio"/> 徳島県  |
| <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県  | <input type="radio"/> 高知県 | <input type="radio"/> 福岡県  | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県  |
| <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県  | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 | <input type="radio"/> 沖縄県 |                            |

問3 貴機関・貴社において勤務されている臨床検査技師および細胞検査士の人数をお答えください。  
(臨床検査技師および細胞検査士が勤務されている場合のみ人数をご記入ください)

【臨床検査技師】 常勤    人      非常勤    人

【細胞検査士】 常勤    人      非常勤    人





問 4 貴機関・貴社における臨床検査技師および細胞検査士の充足状況についてお答えください。  
(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

**【臨床検査技師】**

- 大きく不足している       やや不足している       適度に充足している  
 過剰である                       わからない

**【細胞検査士】**

- 大きく不足している       やや不足している       適度に充足している  
 過剰である                       わからない

**問 5 以降は別紙「四日市看護医療大学「臨床検査学科(仮称)」の概要」をご覧ください。**

問 5 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」の養成する人材像、学科特色についての評価をお答えください。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

- 大変評価する                       ある程度評価する       あまり評価しない  
 全く評価しない                       わからない

問 6 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」が養成する人材(臨床検査技師および細胞検査士)を、貴機関・貴社において採用したいと思われますか。(あてはまるもの一つにチェックをお願いします)

**【臨床検査技師】**

- 採用したい                       採用しない                       わからない



「採用したい」とご回答された場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。   人

**【細胞検査士】**

- 採用したい                       採用しない                       わからない



「採用したい」とご回答された場合、よろしければ採用可能な人数をお答えください。   人

問 7 四日市看護医療大学が設置構想中の「臨床検査学科(仮称)」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述となります)

**質問は以上となります。ご協力いただき、ありがとうございました。**



# 四日市看護医療大学

看護医療学部

## 臨床検査学科(仮称)

設置構想中

チーム医療の一員として、高いコミュニケーション能力と幅広い知識・技術を兼ね備えた臨床検査技師を養成

～ 四年制大学として中部初の文科省指定の臨床検査技師養成所として、細胞検査士とのダブルライセンス取得も可能(予定) ～

### 学科の概要

- 開設時期： 2020年4月(予定)
- 開設場所： 四日市看護医療大学(三重県四日市市萱生町1200)
- 修業年限： 4年
- 入学定員： 50名(収容定員： 200名)
- 取得学位： 学士(臨床検査学)
- 取得資格： 臨床検査技師国家試験受験資格、細胞検査士認定試験受験資格(細胞検査士養成コースは選抜制)
- 養成する人材： 四日市看護医療大学の臨床検査学科(仮称)は、以下の能力・資質を兼ね備えた人材を養成します。

- 臨床検査の専門性と責務を自覚するとともに、地域に住むあらゆる健康レベルの人々に専門的知識と技術に基づき臨床検査を実践できる。
- 人間として自己の成長に努め、社会人として広い見識と高い倫理観を持ち、臨床検査の対象となる人々に愛情豊かに共感をもって接することができる。
- 人間の健康を環境との関係において捉え、地域社会の生活者の視点から医療技術援助できる。
- 国際的視野で臨床検査を考え、ヘルスケアシステムにおける臨床検査の専門性を理解し、保健・医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる。
- 将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。

初年次納付金： 入学金20万円、授業料96万円、教育充実費53万円(計169万円) ※別途、諸会費25,500円が必要。

### 学科の特色

#### 中部地方で初めて、臨床検査技師・細胞検査士(※)の同時取得が可能です。

##### 臨床検査技師 病気の原因をいち早く見つける専門家

医師の指示のもと、病院や臨床検査センターなどで血液検査や病理検査、心電図、脳波検査など、さまざまな生理学的検査などを行い、診療や治療の基礎となるデータを提供するのが臨床検査技師の仕事です。医師も見抜けなかった病気を見つけることもあり、チーム医療の要といえる重要な役割です。臨床検査技師は医療機関のほか、医療機器・製薬会社など幅広い分野で活躍しています。

##### 細胞検査士 がんの早期発見に欠かせない専門職

細胞検査士は、早期発見が望まれるがんなどの疾患を細胞レベルで検査する医療専門職です。受験資格を得るには、臨床検査技師を取得後、細胞診業務に1年以上従事するか、大学などで専門教育を受ける必要がありますが、本学では在学中に受験資格が得られる「細胞検査士」養成コース(※)を開設予定です。

※「細胞検査士」養成コースは選抜制です。

#### 併設の看護学科と連携し、医療・介護技術を持った臨床検査技師を養成します。

臨床検査技師の業務拡大によりさまざまな検体採取が可能となり、病棟に臨床検査技師を配属する医療機関が増えたほか、今後は在宅医療の分野での活躍も期待されます。患者様と直接接する機会も多くなることが予想され、四日市看護医療大学の「臨床検査学科(仮称)」は併設の看護学科との連携により看護・介護技術を併せ持つ臨床検査技師を養成します。

#### 臨床検査の専門性に加え、幅広い知識・高度な専門技術を身につけられます。

本学では、幅広い知識・高度な専門技術をもった臨床検査技師を養成します。たとえば、栄養面が臨床検査値の変化や疾患治療に重要な役割を果たしていることを踏まえ、本学では「栄養学」「食品学」の科目を配置し、院内NST(院内栄養サポートチーム)の一員として活躍し、また地域包括医療の栄養指導に貢献できる臨床検査技師を養成します。また、遺伝子検査やバイオ技術、細胞培養技術に関連する科目も設けます(いずれも選択科目)。

#### コミュニケーション能力が高く、“現場に強い”臨床検査技師を養成します。

本学の「臨床検査学科(仮称)」はIPE(他職種連携教育)にも力を入れ、臨床検査技師として現場を知る教員、医師・薬剤師、看護学科の教員が指導にあたります。看護学科との共通科目も多く、チーム医療意識、コミュニケーション能力を高める効果が期待できます。また、実務家教員による充実した臨床現場教育を学内でも実施するほか、臨地実習前の総合演習も行うことでより充実した臨地実習となるよう指導を行い、現場に強い臨床検査技師を養成します。

#### 充実した国家試験対策を実施し、キャリア支援講座も開講します。

国家試験に向けた教育を模擬試験形式で1年次より実施します。キャリア支援講座も開講し、“国家試験、就職に強い”臨床検査学科(仮称)を目指します。

### 卒業後の進路

四日市看護医療大学の「臨床検査学科(仮称)」を卒業した臨床検査技師・細胞検査士は、以下の方面での活躍が期待されます。

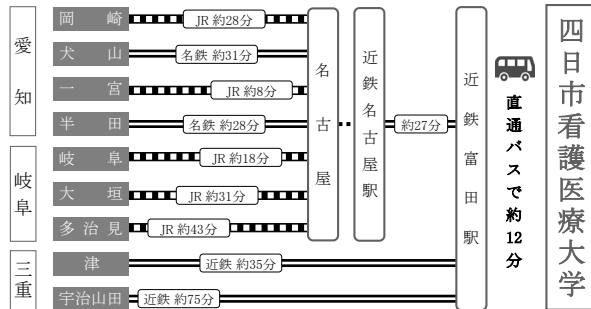
- 国公立病院、総合病院などの医療機関
- 臨床検査会社
- 製薬会社、医療機器会社などの医療関連企業
- 大学院への進学

### 参考

#### 中部地方で臨床検査技師養成を行う主な大学

中部大学(生命医科学科)、藤田医科大学(臨床検査学科)、岐阜医療科学大学(臨床検査学科)、鈴鹿医療科学大学(医療栄養学科臨床検査学専攻) など

### アクセス



**P** 学生専用駐車場(収容台数約400台)があり自動車での通学も可能です(申請要)。

平成27年3月5日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
会長 宮島 喜文 様

メディカルスタッフ業務推進  
ワーキンググループ

メンバー 奥田 勲  
          實原 正明  
          津田聡一郎  
          永井 正樹  
          山口 浩司  
          工藤 岳秀  
          丸田 秀夫  
担当理事 丸田 秀夫

## 『病棟』『在宅医療』への臨床検査技師の関わりについての提言

### I. はじめに

チーム医療の必要性が叫ばれて久しいが、国が積極的にチーム医療を推進する契機となったのは平成16年度から開始された新臨床研修制度の影響による医師不足、そして平成18年の診療報酬改定で導入された7:1看護基準での看護師の奪い合いによる看護師不足といった、医療の中心を担う職種の人材不足の顕在化であったと考える。そのような中で、他職種の専門性を活かし、医師・看護師の負担軽減の議論からチーム医療の重要性がクローズアップされてきた。

この状況を更に「少子高齢化」が追い詰める。いわゆる2025年問題である。戦後のベビーブームが後期高齢者に達する2025年、介護制度を担うのに必要な人手は過去最大になり、これを支える介護保険予算は膨大なものとなる。現在の医療制度の予算も決して十分な額ではなく、加えて介護保険にも予算を付けなくてはならない。消費税が5%から8%に増額され、最終的には10%となる予定である。この増収部分は全て福祉予算に回す、としていた安倍政権の政策は諸般の事情で先送りされており、加えて増税により消費は落ち込み、税収見込みは予測を下回る可能性もある。

当然、福祉に回せる予算に限りがあり、介護に回す分だけ医療を減らすという短絡的な思考ではないかもしれないが、結果的には、増やす名目が有れば、減らす名目が必要となる。

その時に、「役に立っている職種」を減らす事よりも、「役に立っていない職種」を減らす

事の方が理に適っている。我々にとって死活問題となるか、ならないかは『病棟』でも『在宅医療』でも、欠くべからざる“臨床検査技師”という職種に姿を変えているか否かである。

『在宅医療』で何をしたいのか、『在宅医療』で何をしたらいいのか、ではなく、どこでも、何かをしていないのであればその『職種』は要らないのである。

そのような状況の中、我々メディカルスタッフ業務推進WGにおいて『病棟』『在宅医療』に対して臨床検査技師がどのような関わりが必要であるのか検討を行ったので報告する。

## II. 『病棟』での臨床検査技師の関わりについて

### 【現状】

永らく『病棟』における業務は医師、看護師が中心であったが、近年チーム医療の名のもとに管理栄養士、薬剤師、リハビリ関連職種等様々なメディカルスタッフが業務範囲を拡大している。この状況に対し臨床検査技師の関わりは現在のところ極めて希薄なものと言わざるをえない状況にある。実際に、平成 25 年に当会調査の“検査部門の実態調査結果”ではチーム医療を実践している項目についての設問に対し、病棟業務（採血など）の回答は 10%（339 施設/3,501 施設）と極め少ない割合であった。『病棟』において我々がなすべき仕事は無いのであろうか？

臨床検査（検体検査）の工程は大きく分けて検査前工程、検査工程、検査後工程の 3 フェーズに区分されるが、『病棟』における検査前工程並びに検査後工程については医師、看護師に依存している部分が多いのではないだろうか。また様々な装置の開発により POCT 等によるベッドサイド検査の導入も一部では進んできており、検査工程が『病棟』で実施される機会も増えることも予想される。

一方で医療制度改革により病床機能の再編が進められている中で、いわゆる高度急性期病床や一般急性期病床では、入院診療、病棟業務に重点が置かれることが想定され、それぞれの病院の臨床検査室の業務の再構成が必要になると考える。

それらを踏まえ『病棟』での臨床検査技師の関わりについて検討した。

### 【想定される業務】

『病棟』での臨床検査技師が担うべき業務について以下に列記する。

- 採血準備・採血・検体採取と適切な検体処理、それらに伴う患者への説明
- 患者が受ける生理機能検査についての説明
- 輸血療法についての説明、輸血後の副作用チェック、輸血後感染検査の管理
- 検査結果の確認、病棟内患者の検査データの一元管理
  - 患者状態を確認し異常値等については適宜主治医へ報告
- POCT の実施
- ベッドサイドでの生理機能検査の実施

- NST、ICT、DM、化学療法、輸血療法など従来のチーム医療を病棟で展開
- 患者に対する検査結果についての説明
- メディカルスタッフに対する臨床検査についてのアドバイス
- 病棟内カンファレンスへの参加

上記の通り様々な領域において臨床検査技師が活躍できる場面が想定されるとともに、裏を返せば我々がなすべき事項が手付かずで放置されている現状であると言える。これらが臨床検査技師の業務として常態化することによりチーム医療における臨床検査技師の職責を果たし患者診療に大きく貢献できるのではないだろうか？

#### 【具現化への課題】

前項の『病棟』で想定される臨床検査技師の業務を実践していくために必要と思われる事項を以下に列記する。

##### ○臨床検査技師の意識改革

検査室を離れ患者の傍で業務を行うことが今後の臨床検査技師に求められることを意識づけるための啓発活動が不可欠である。

##### ○臨床検査技師のスキルの向上

より患者の傍で業務を進めるために接遇、検査説明・検査相談、患者心理の理解、コミュニケーション能力、バイタルチェック、患者急変時対応など現在では不足しているスキルを向上させる必要がある。さらに単独での業務となる場合が多く、幅広い臨床検査に関する知識・技術の習得も必須となる。それらについて当会が積極的に研鑽の場を提供する必要がある。

##### ○各施設内での調整

それぞれの技師のおかれた状況により様々な対応が必要となるが、各施設において技師長等の検査室責任者が主体となり施設管理者並びに関連職種と十分に検討して方向性を決定する必要がある。

##### ○成功事例の共有

病棟業務を既実践している施設や導入に成功した施設の事例を収集し、導入までの経過、実際の運用などについて情報発信することにより、導入検討施設のサポートを行う。

### Ⅲ. 『在宅医療』での臨床検査技師の関わりについて

#### 【現状】

これまでの『在宅医療』では病状が安定した慢性期疾患の管理や緩和医療が中心であり、『在宅医療』の現場において臨床検査へのニーズはあまりなかった。そのような中、2025年問題を控え国は、平成24年度介護報酬改定並びに平成26年度診療報酬改定において、地



域包括ケアシステムの構築に向け急性期病院から回復期病院さらに介護老人保健施設にまで在宅復帰に関する評価報酬が設定された。また医療費の圧縮のために診療報酬の包括評価制度において現在のDPC/PDPSからDRG/PPSへの移行も想定されており、対象病院においてはさらなる在院日数の短縮が求められる可能性がある。

これらの情勢から医療必要度の高い患者が早期に病院を離れ、在宅あるいは在宅に準ずる施設において療養することが当たり前になってくることが想定される。病状が不安定な患者の管理に臨床検査は不可欠であり新たなニーズが発生すると考える。

それらを踏まえ『在宅医療』での臨床検査技師の関わりについて検討した。

### 【想定される業務】

『在宅医療』での臨床検査技師が担うべき業務について以下に列記する。

- 検査説明、検体採取、検体の適切な処理と管理保存、迅速な検査実施、結果の説明
- 検査結果の整理、集計、記録、保管、及び結果の精度確認と結果値の保証
- 採血の実施（プラスα将来的には+ヘパロック、点滴に対応）
- POCTの実施と、POCT管理運営
  - 栄養管理、透析予防、血糖モニター、炎症の発見、電解質異常、など
- 心電図・超音波検査等の生理機能検査の実施
- 感染防止への関わり
- 検査データの共有化、システム化に向けた取り組み

上記の様な業務が想定されるが以下、より具体的な例を示す。

#### 『在宅医療』への同行

現在の介護では介護士やヘルパー（介護助手）が在宅利用者を訪問してそれぞれのサービスに当たっている。慢性的、突発的に医療処置が必要になった時には、医師による往診が行われる。同行は看護師である場合が多い。この往診に臨床検査技師が同行し、採血を初めとする検体採取から検査に関わるようになる。その場で医師の指示の下にPOCT装置を用い生理学的検査、検体検査を行い測定、計測、データ管理を行い、データ保管し必要に応じデータを解釈し、医師に結果を伝え記録を残す事に関わる。検体採取や検査前後の説明については臨床検査技師が対応する。

#### 『在宅医療』への一人訪問

これらは、当初は医師と同行する範囲で実施するが、定期的訪問や定期健康診断の様な採血（検体採取）であれば、医師の指示を受けて、一人で利用者宅を回って、検体採取や測定してデータを収集して来るまでを一人で行う（医師との連携の下に）。

#### 在宅医療情報の管理

更にこうした例が増えて来たら検査技師が積極的にデータ管理に関わる様にして、検査データの整理、次回検査の指示要請・準備、訪問終了時のデータ整理・過去デー

タとの照合を行い、検査データの把握については医師から全面的な信頼を得る様な作業をする。臨床検査技師により確実なデータ管理がなされることにより在宅医の負担軽減に寄与することができる。

現状では『在宅医療』の将来像は不確かな部分が多いが、臨床検査技師が『在宅医療』で様々な業務に参画することが出来ることを早い時期からアピールすることが肝要であると考えられる。また、すでに在宅医療で活躍している在宅医や保健師・看護師との連携を深め臨床検査技師への潜在的なニーズ分析を行うことも不可欠である。

#### 【具現化への課題】

前項の『在宅医療』で想定される臨床検査技師の業務を実践していくために必要と思われる事項を以下に列記する。多くは病棟業務での課題と重複するものであり両者は区別して論ずるものではないと考える。

##### ○臨床検査技師の意識改革

『在宅医療』というこれまで経験のない領域で業務を行うことも我々臨床検査技師の重要な業務であるという意識づけるための啓発活動が不可欠である。

##### ○臨床検査技師のスキルの向上

より患者の傍で業務を進めるために接遇、検査説明・検査相談、患者心理の理解、コミュニケーション能力、バイタルチェック、患者急変時対応など現在では不足しているスキルを向上させる必要がある。さらに単独での業務となる場合が多く、幅広い臨床検査に関する知識・技術の習得も必須となる。それらについて当会が積極的に研鑽の場を提供する必要がある。

##### ○各施設内での調整

それぞれの会員のおかれた状況により様々な対応が必要となるが、各施設において技師長等の検査室責任者が主体となり施設管理者並びに関連職種と十分に検討して方向性を決定する必要がある。

##### ○成功事例の共有

在宅業務の導入に成功した施設の事例を収集し、導入までの経過、実際の運用などについて情報発信することにより、導入検討施設のサポートを行う。

##### ○他職種からの提言

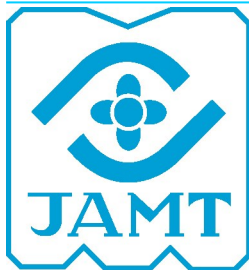
検査技師の取り組みを掲げると同時に他職種からの要望等を取り上げ、理解を求め実践に繋げる。

#### IV. 結語

ここ数年、医療業界は 2025 年問題に対応するために急激な変革がすすめられており、我々臨床検査技師もそれらに柔軟に対応しメディカルスタッフの一員としての確固たる立

ち位置を確保していかなければならない。まさにここ数年間の我々の取り組みが未来の臨床検査・臨床検査技師を左右する大きな分岐点になるといっても過言ではない。平成 26 年度より開始された検査説明・相談ができる臨床検査技師の育成事業に加え、法改正により平成 27 年度 4 月より新たに実施可能となる検体採取等は、今後の臨床検査技師の業務の幅を広げるきわめて有効なツールであり、それらの業務を各現場で実践し広めていくことは、『病棟』『在宅医療』への参画への布石となることは間違いない。

2025 年を迎えても、臨床検査技師が医療の現場で必要不可欠な人材であるためにも、『病棟』『在宅医療』への我々の関わりについて十分な議論と準備が不可欠であり、今回の提言書がその一助となれば幸いである。



# 会報 JAMT

JAPANESE ASSOCIATION OF MEDICAL TECHNOLOGISTS

**発行所**  
 一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会  
 発行責任者 宮島喜文  
 編集責任者 横地裕広

〒143-0016 東京都大田区大森北4丁目10番7号  
 TEL (03) 3768-4722 FAX (03) 3768-6722  
 ホームページ <http://www.jamt.or.jp>

P1~P2 臨床検査技師による在宅医療推進講習会並びに  
 第20回日本在宅医学会 日臨技合同シンポジウム開催報告  
 P2 各種変更手続きのご案内

## 臨床検査技師による在宅医療推進講習会並びに 第20回日本在宅医学会 日臨技合同シンポジウム開催報告

担当執行理事 深澤 恵治

平成30年4月28日（土）および29日（日）に臨床検査技師による在宅医療の推進を目的とした講習会および第20回日本在宅医学会学術集会（聴講参加）が当会会員参加者78名を得て開催されました。

本講習会のメインテーマは“「しっかり知って、携わる」在宅医療”として開催しました。団塊世代が後期高齢者となる2025年に向けて大きく変わる医療需要と疾病構造の変化へ対応すべく医療供給体制の整備が進められている中で、「在宅医療の質の確保」が求められています。その中で、在宅医療の現場で必要とされる臨床検査とは？臨床検査技師に何ができるのか？を探るために、第1日目は日臨技企画として「在宅医療と臨床検査」に関する講習会を日臨技会館で開催しました。



山中崇講師



森亮太講師

講義3では医療法人八事の森 杉浦病院の森亮太医師に「在宅医が臨床検査技師に期待すること」と題してご講義いただきました。

それぞれ、ご講演いただいた先生の話術に引き込まれ、在宅における臨床検査技師の役割を改めて見つめ直すことができました。

そして翌日は第20回日本在宅医学会学術集会の企画の一つとして「在宅医の現場において臨床検査(技師)が果たす使命」と題したシンポジウムが開催されました。本企画は第20回日本在宅医学会学術集会学会長の川越正平医師（あおぞら診療所院長）より日臨技との合同シンポジウムの開催を依頼され企画したものです。座長は日本在宅医学会理事である山中崇医師（前出ご所属）と小野宏志医師（坂の上ファミリークリ



第1日目：日臨技会館での講習会の様子

講義1では東京大学大学院 医学系研究科在宅医療学講座 特任准教授の山中崇医師に「在宅医療におけるEvidenceと臨床検査」と題してご講義いただきました。講義2ではJA長野厚生連 北アルプス医療センターあずみ病院の佐々木朝海技師に「在宅医療における超音波の活用例」と題してご講義いただきました。

(次ページへ続く)



第2日目：シンポジウムの様子

クリニック理事長)のお二人に依頼し、演者としては日臨技の立場から宮島喜文会長、在宅医の現状から任博医師(文京根津クリニック院長)、厚労省から日本の在宅医療の現状と題して松岡輝昌氏(厚労省在宅医療推進室長)、在宅診療所の事務長の立場からは、自身も臨床検査技師免許を保有されている宮下勉技師(医療法人社団鴻鵠会睦町クリニック事務長)に、それぞれ

本シンポジウムの開催を通して、在宅医療現の現状と実践、在宅医療における臨床検査の将来について考える機会を多くの会員と共有することができました。

今後も臨床検査技師の様々な医療現場への進出は、日臨技としての至上命題となります。特に在宅医療への臨床検査技師の進出は政府が目指す医療政策に則った方向性であり、日臨技として乗り遅れることはできません。私たち日臨技執行部はこれからも政府が目指す医療政策への方向性を会員の皆様に啓発しながら、環境づくりを進めてまいります。会員の皆様におかれましても、そのような日臨技の趣旨をご理解いただき、今後ご支援ご協力をいただけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

## 各種変更手続きのご案内



### ■自宅住所・勤務先等の変更

#### ①Webでの手続き

会員専用ページの会員情報変更から変更手続きができます。

※勤務先の施設番号がわからない場合、一部変更不可の項目については事務局へお問合せください。

#### ②書面での手続き

当会HPの【入会・退会・会員情報変更】のページより「会員異動届」を印刷、記入し事務局までご郵送ください。

※勤務先施設の登録がない場合には施設登録用紙と会員異動届をセットにしてご郵送ください。

### ■会員証の再発行(氏名変更)

【入会・退会・会員情報変更】のページより「会員証再発行申請書」を印刷、記入し事務局までご郵送ください。

※紛失等の場合には再発行手数料500(切手)の同封が必要です。

※氏名変更の場合には旧姓の会員証を貼付してください。無償で再発行いたします。会員情報を変更されていない場合は必ず「会員異動届」も同封してください。

### ■口座情報の変更

【入会・退会・会員情報変更】のページより「口座振替依頼書」を印刷、記入、押印し事務局までご郵送ください。

※平成31年度会費の口座振替から適応となります。口座情報の変更には2~3か月お時間をいただいております。

◇上記すべてを変更する場合は「会員異動届」「会員証再発行申請書」「口座振替依頼書」の3点を事務局へご郵送いただくと一度に手続きが可能です。

### ■パスワード・メールアドレスの変更

会員専用ページの会員情報変更、パスワード変更から手続きができます。

※「パスワードを忘れた方」からの申請では、パスワードは変更なりません。従前のものを再度お知らせとなりますので会員専用ページからの変更をお願いいたします。

※お電話での変更手続は受付けておりません。所定の方法で手続きをお願いします。

(事務局)

(編集後記) 5月11日に、「次世代医療基盤法」、別名「医療ビッグデータ法」が施行された。この法律によって、病院の患者情報や検査結果、処方箋だけでなく、学校や職場の健康診断結果、遺伝情報までが統合管理され、匿名化した情報が製薬企業や研究機関に提供されることが可能となった。2020年にはマイナンバーカードを保険証として利用できることも決定している。患者情報をビッグデータとして解析することで、病気の早期診断や新たな治療法の研究開発、AIの学習などにつなげていくことが期待されており、医療業界にとっては大きなイノベーションである。標準化を進めてきた検査技師会にとっても朗報だと思うが、繰り返される情報漏洩のニュースに不安も払拭できない。実名情報を管理する国や、匿名化を担当する業者には高い情報セキュリティと守秘義務の厳守を願うばかりである。

(上原)



## 在宅医療における臨床検査（特に POCT）の実態調査

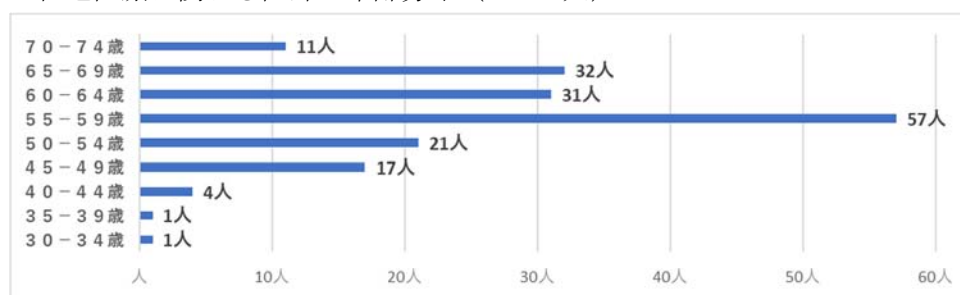
（平成 28. 7. 31 じほう社刊「在宅医療チームのため臨床検査（監修：臨床検査振興協議会）」より抜粋）

医療施設で行う臨床検査と同等レベルの精度で測定可能といわれる臨床現場即時検査（Point of care testing=POCT）は医療従事者が自在に動いて必要な検査を行う機動性に富んだ検査で「患者中心の検査」とも言われており、その場で検査結果を確認できる即時性もあり、在宅医療分野での利用とその効果が期待される。以下、在宅医療における POCT の利用状況について、在宅医療に関わる医師（提供側）を対象に行った調査の結果である。

### 1. 回答者の基礎情報

在宅医療に関わる医師 175 人の年齢層は 50～60 歳が最も多かった。医師経験年数の平均は 32.1 年で、そのうち在宅利用経験数の平均は 19.2 年であった。

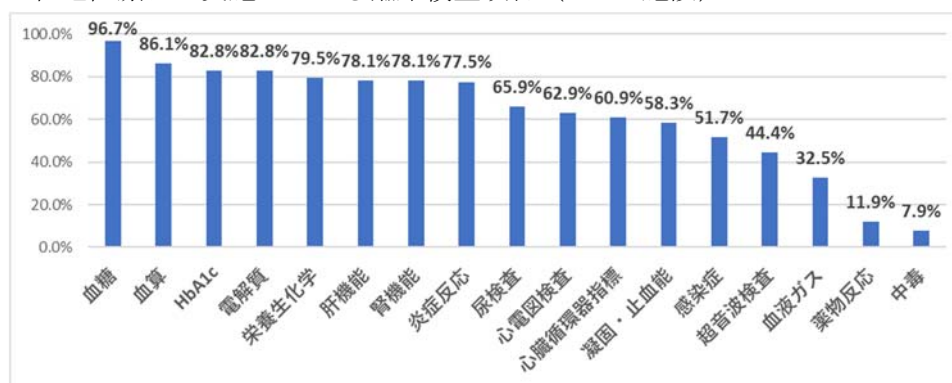
グラフ：在宅医療に関わる医師の年齢分布（N=175 人）



### 2. 実施している臨床検査項目

臨床検査を実施している 151 の施設から得た結果として、実施している臨床検査項目として需要が高かったのは血糖が 96.7%、血算が 86.1%、HbA1c が 82.8%であった。それ以外の項目としてはグラフが示すように、栄養生化学、肝機能、腎機能、炎症反応など、医療施設で一般的に実施されている検査と同様であった。

グラフ：在宅医療にて実施している臨床検査項目（N=151 施設）



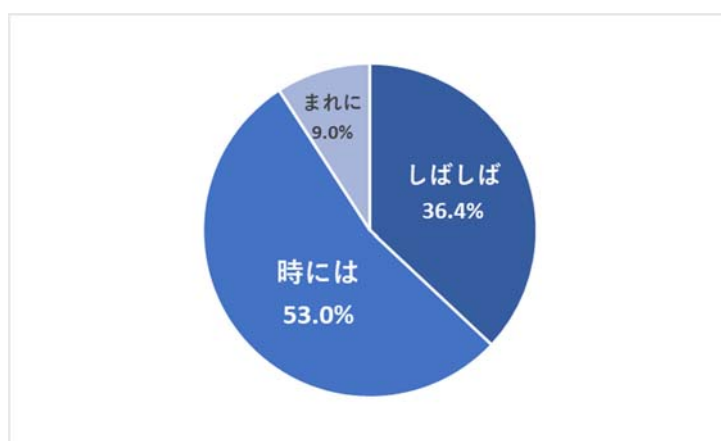
### 3. 臨床検査の利用頻度

在宅医療の利用頻度は「しばしば」実施している施設が 36.4%、「時には」実施している施設が 53.0%であった。

また、具体的に寄せられたコメントとして、「病院と同じくらいの必要性がある」「検査が出来なければ、きちんとした治療ができない」「在宅患者の中には重症の方もいるので検査は必要」「在宅医療における臨床検査の重要性については、もっとしっかりとその大切さを厚労省、中協医等の関係機関は学び、認識すべきである」「今後も臨床検査が必要と考える」

「自分で検査を院内でするのはひと、時間、費用ともに難しい」といったコメントが寄せられ、いずれも在宅医療における臨床検査の必要性を訴えるものであった。

グラフ：臨床検査の利用頻度 (N=151 施設)



# 在宅医療の四日市モデル



医療法人SIRIUS いしが在宅ケアクリニック 石賀丈士



# 多死時代を迎えて

	年間死亡者	在宅看取り率	在宅看取り数
2015年	127万人	12.8%	16万人
2025年	160万人	30%	48万人

増加する32万人に  
どう対応するか？

年間100名以上看取るクリニック  
現在全国に50数ヶ所しかない  
3200か所必要

# 在宅医療の担い手

三次 在宅	在宅 特化型	年間看取り 100名以上	医師 4名
二次 在宅	在支診 (強化型等)	年間看取り 20名以上	医師 1~2名
一次 在宅	かかりつけ医	年間看取り 5名以上	医師 1名

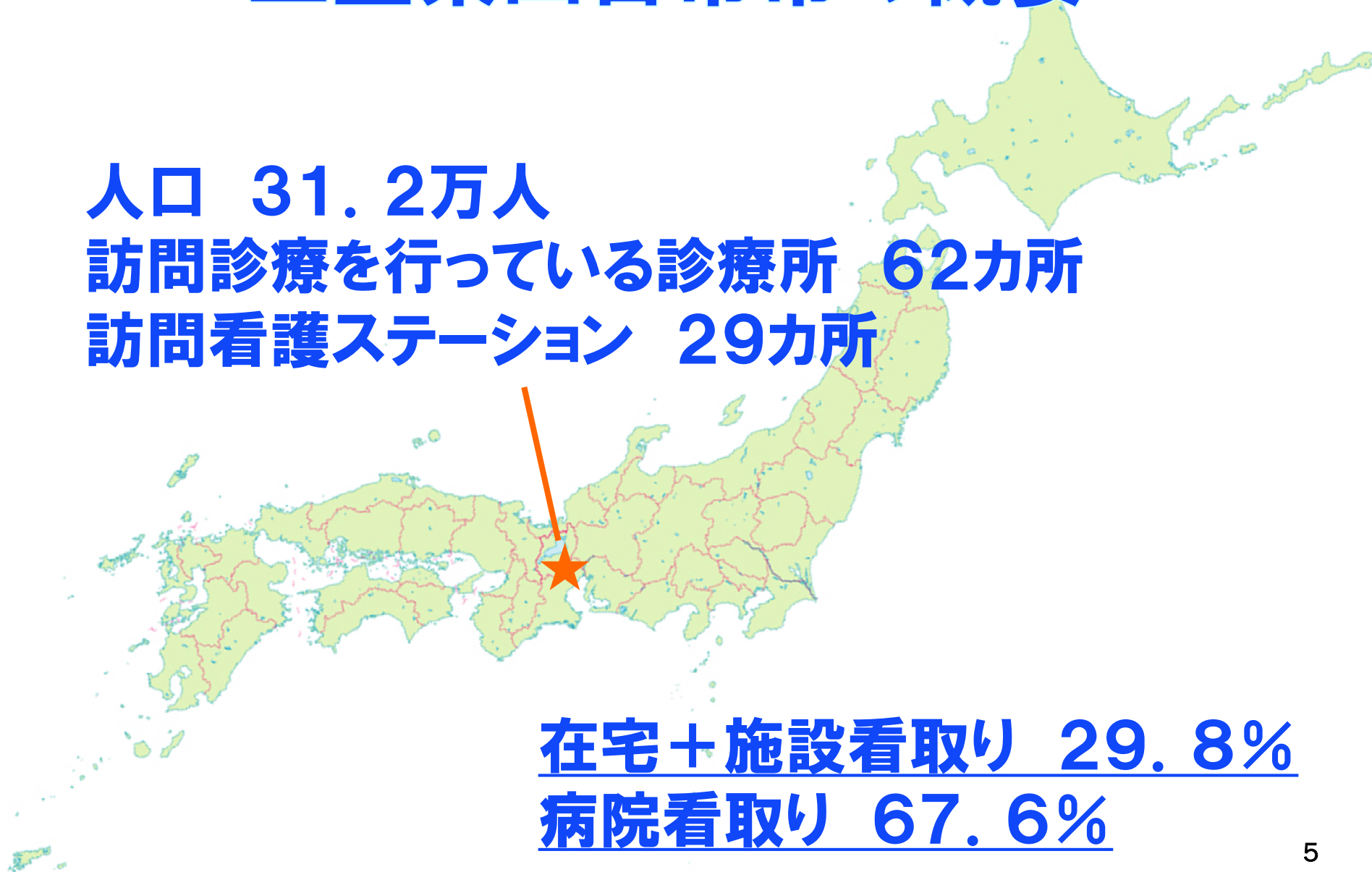


# 三重県四日市市の概要

人口 31.2万人

訪問診療を行っている診療所 62カ所

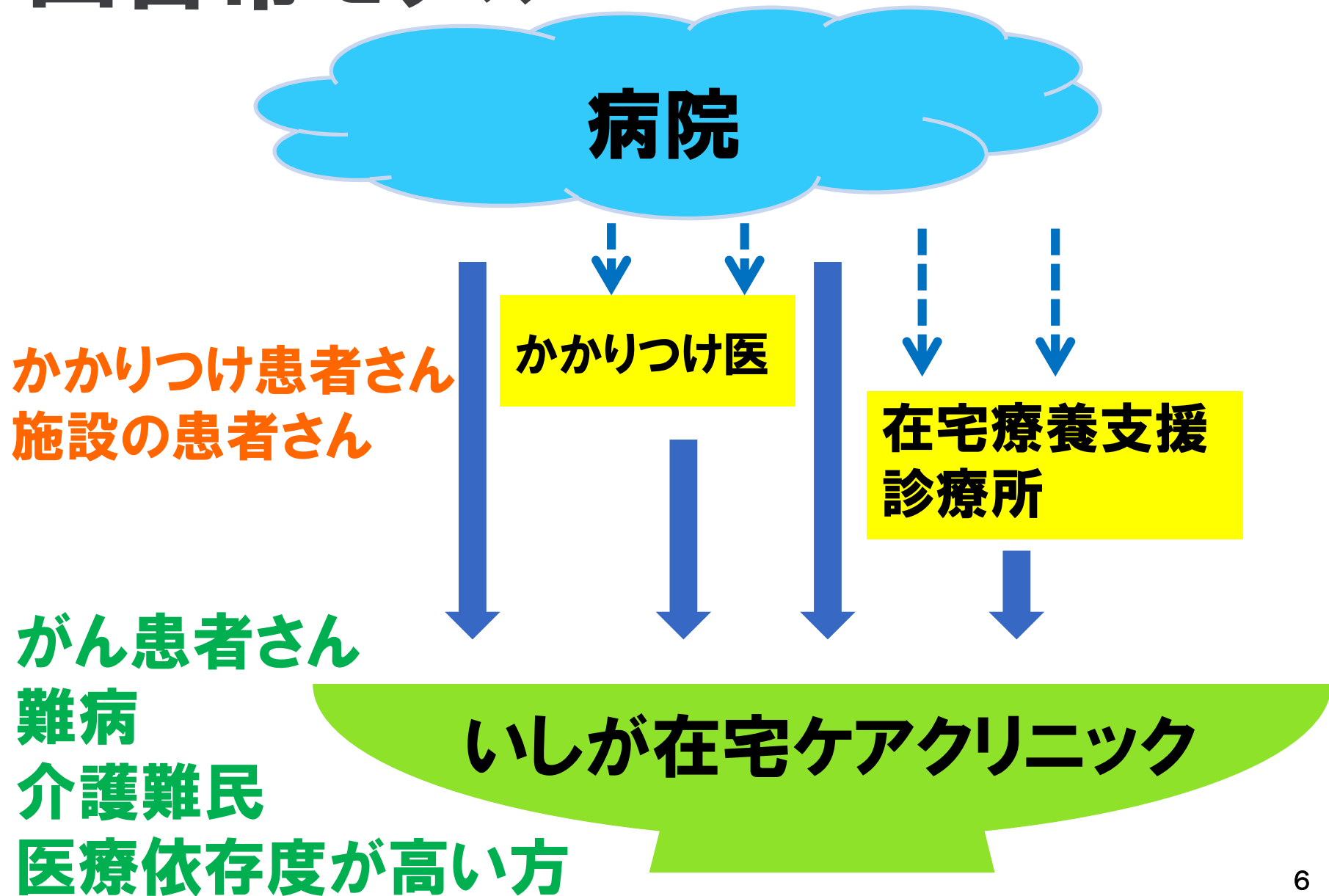
訪問看護ステーション 29カ所



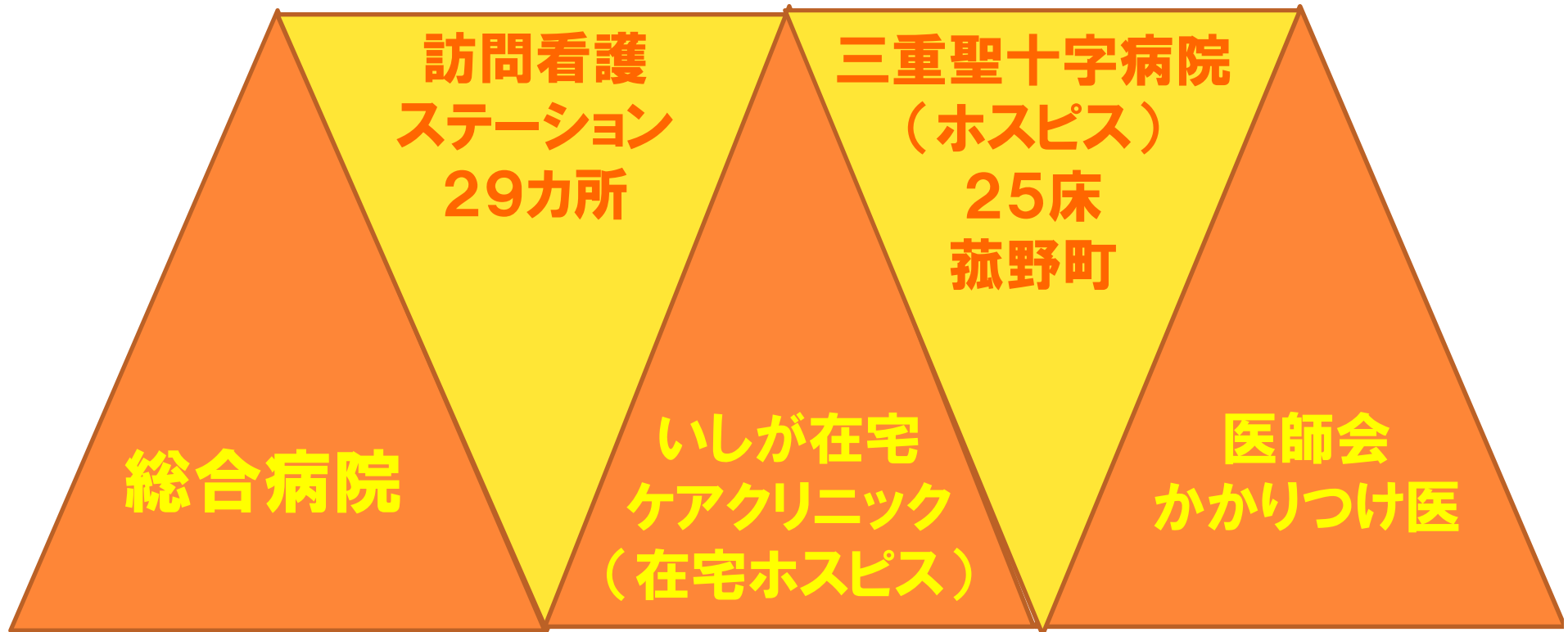
在宅＋施設看取り 29.8%

病院看取り 67.6%

# 四日市モデル

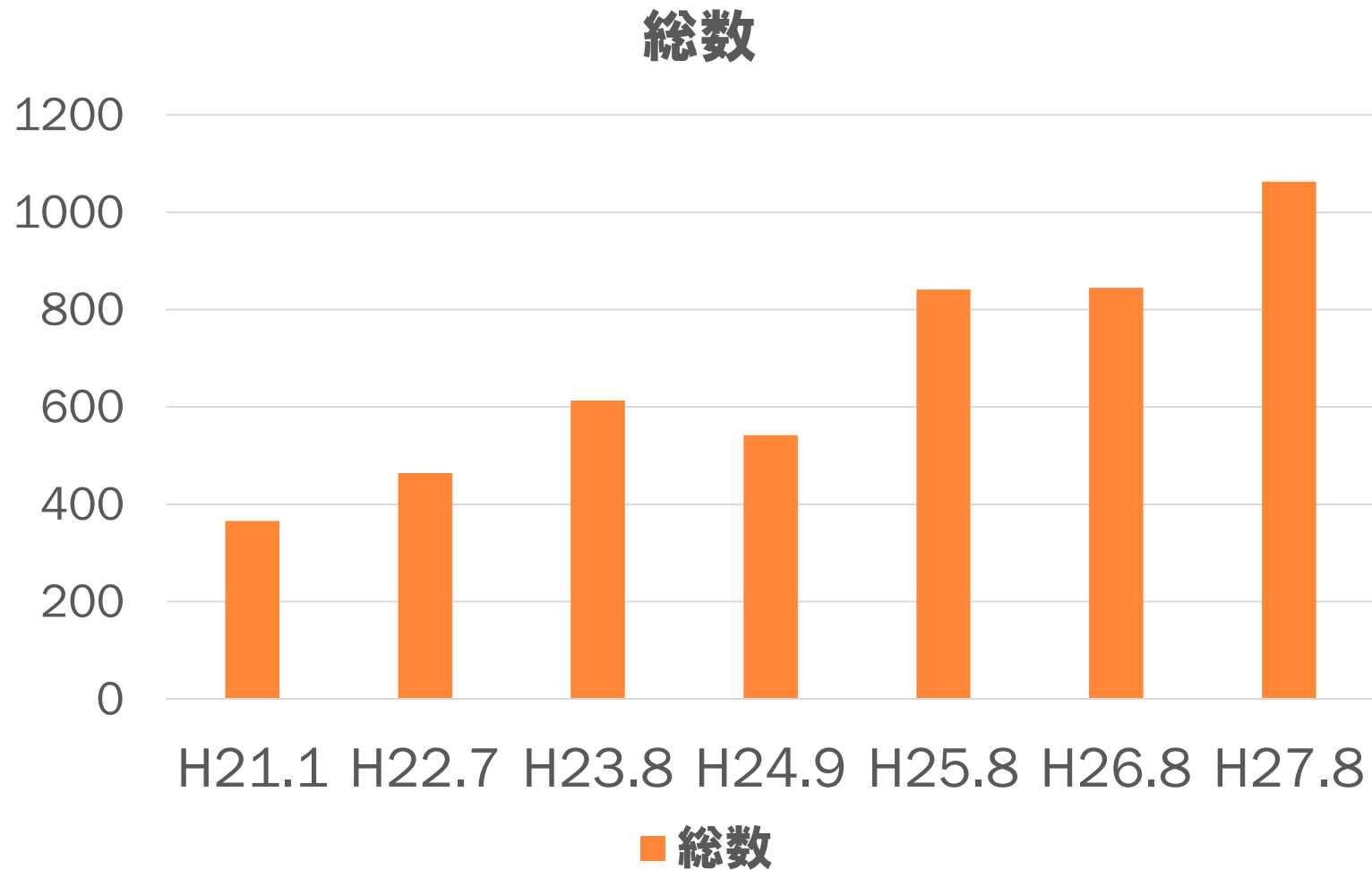


# 四日市市のがん患者さんを支える医療資源



四日市市の訪問看護利用率は全国トップレベル

# 四日市市の在宅患者総数



# 在宅患者人数別 医療機関数

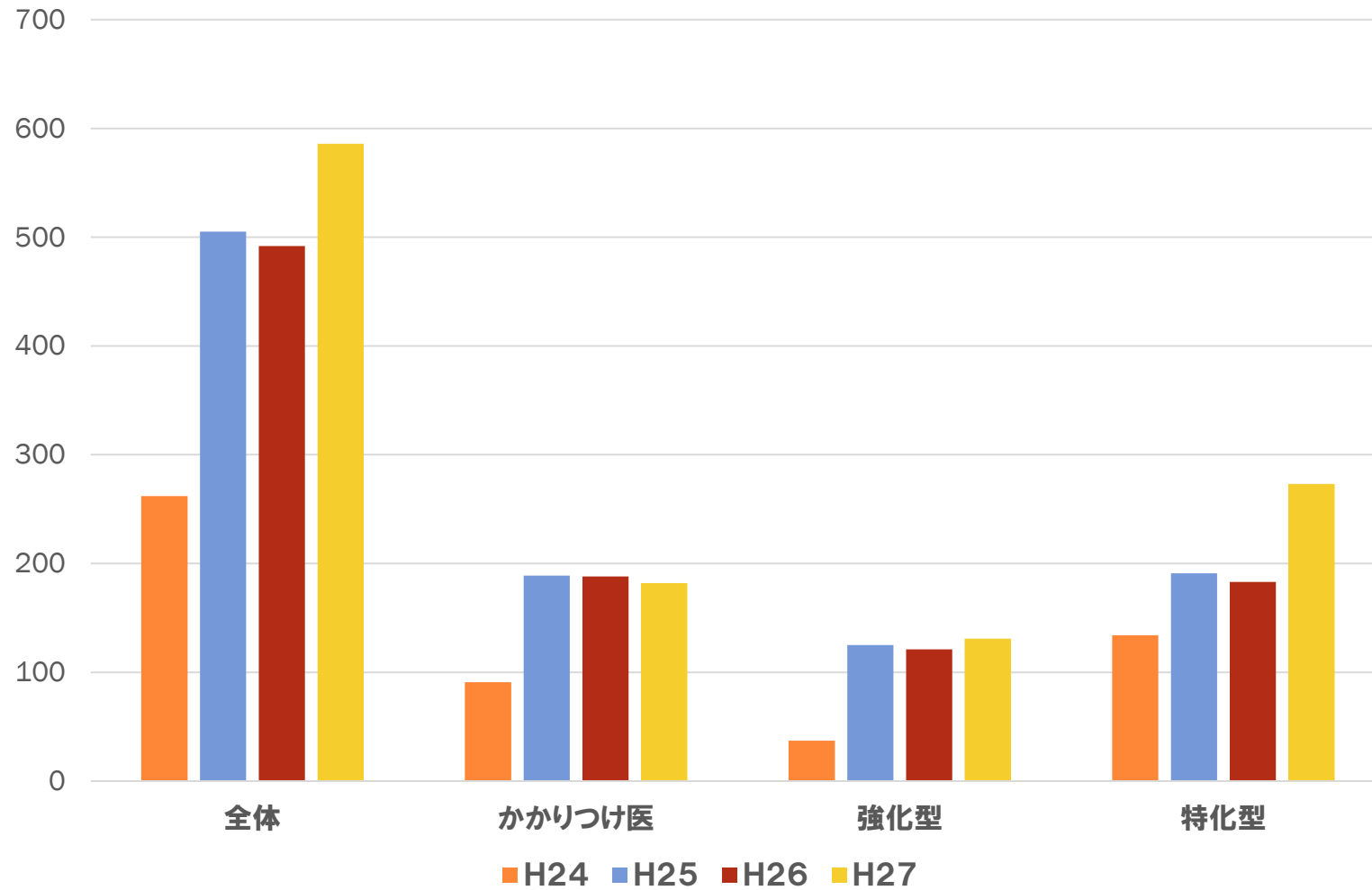
	1-5	6-10	11-20	21以上
全体	32	12	6	11
かかりつけ医	29	9	4	5
強化型	3	3	2	5
在宅特化型	0	0	0	1



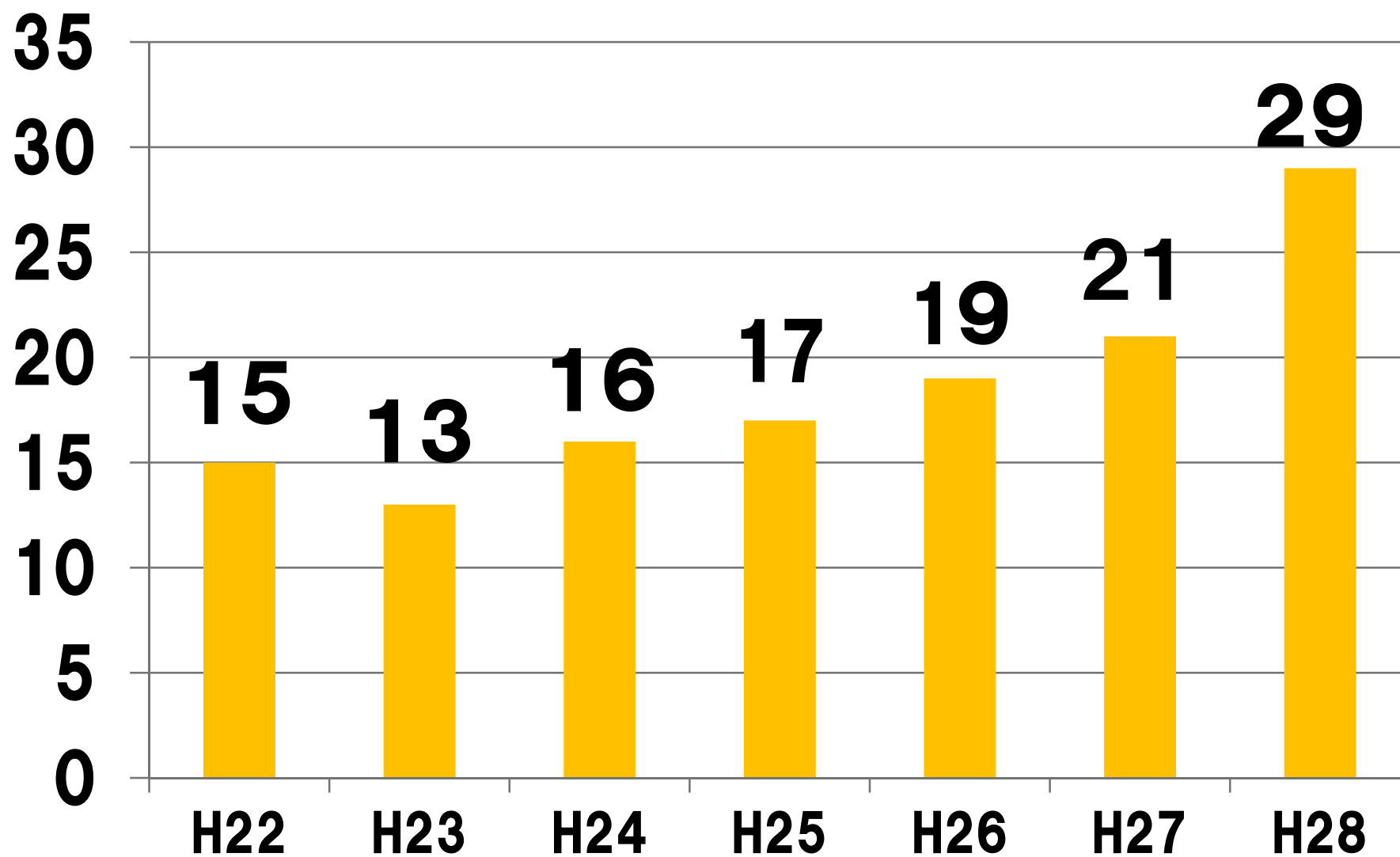
# 年間看取り人数別 医療機関数

	1-5	6-10	11-20	21以上
全体	40	7	8	4
かかりつけ医	35	4	5	1
強化型	5	3	3	2
在宅特化型	0	0	0	1

# 看取り数の推移



# 四日市市の訪問看護ステーション数



# 四日市在宅医療研究会

平成19年5月(第1回)~

平成29年1月(第58回)まで開催

- 座談会形式と講義形式を交互に
- 医師会の在宅委員が4~5人で座長持ち回り
- 医師会員の在宅医療のスキルアップが目的
- 医師以外の参加も可能
- 顔の見える関係づくりに役立っている

# 四日市市が制作した 在宅医療のパンフレット



四日市市が制作した  
看取りのパンフレット



# 第6回 東海北陸在宅医療推進フォーラム

第6回 東海北陸 在宅医療 推進フォーラム  
**在宅ケアをすすめよう**  
～地域包括ケアの窓として～

**参加無料**  
事前申込  
不要

**日時** 2015年12月13日(日)  
13:00～16:30(12:30受付開始)

**会場** 四日市市文化会館 第2ホール(590席)  
三重県四日市市安島2丁目5-3

**プログラム(敬称略)**

基調講演Ⅰ「病から詩が生まれる…認知症の場合」  
大井 玄(在宅内科医・東大名誉教授・公衆衛生学者)

基調講演Ⅱ「看取り経験を子供たちに」～在宅医療の四日市モデル～  
石賀 丈士(いしが在宅ケアクリニック院長)  
座長 遠藤 太一郎(いせ在宅医療クリニック院長)

シンポジウム「四日市の地域ケアの話をしよう」

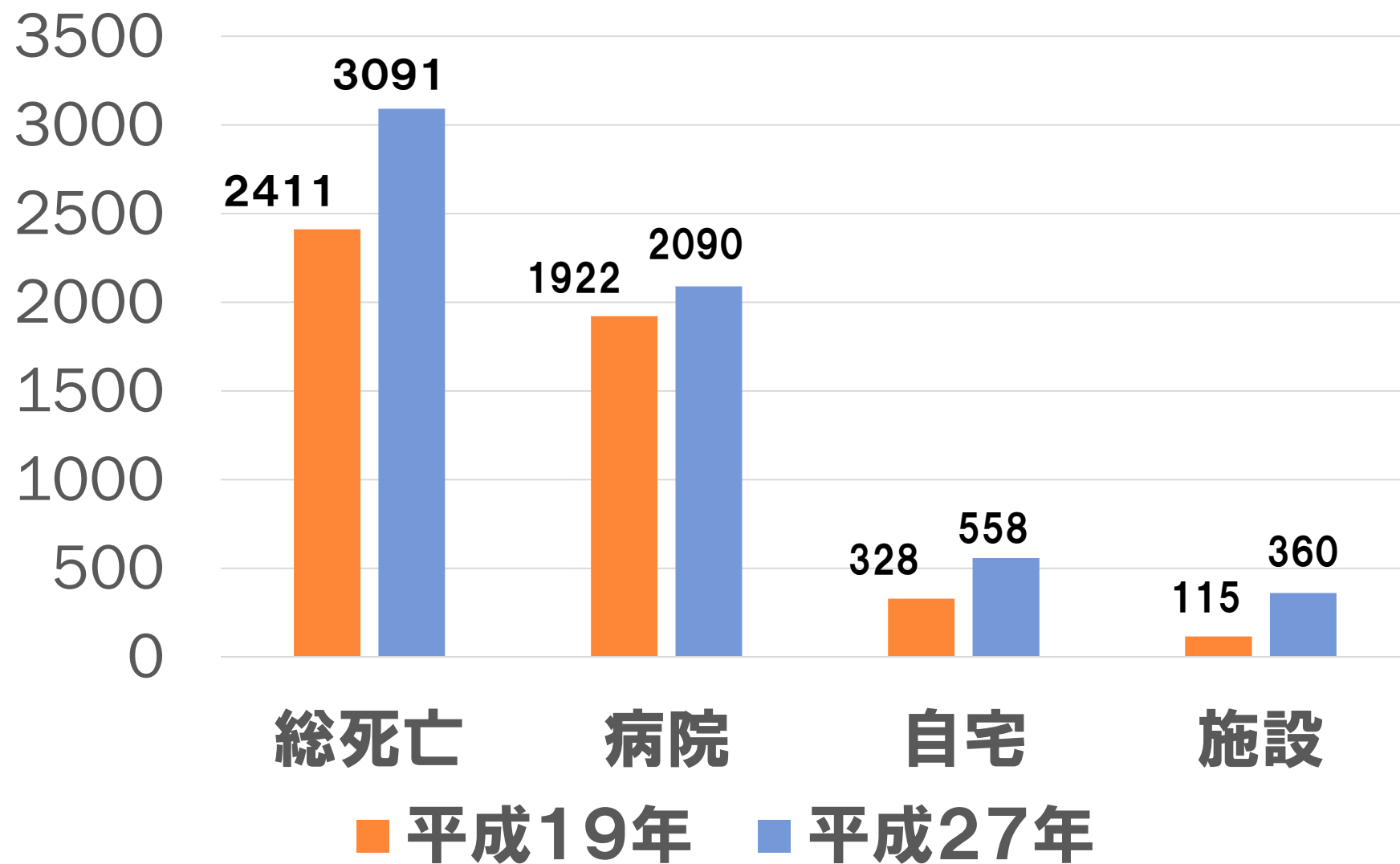
**主催** 第6回東海北陸在宅医療推進フォーラム三重県実行委員会・四日市医師会

**共催** 四日市市・鈴鹿市医師会・社会福祉法人青山里会・全国在宅療養支援診療所連絡会  
三重県医師会・三重県保険医協会・公益社団法人三重看護協会・三重県社会福祉協議会

**後援** 三重県医療ソーシャルワーカー協会・三重県歯科医師会・三重県薬剤師会  
三重県訪問看護ステーション連絡協議会四日市地区・三重県訪問リハビリテーション連絡協議会・三重県介護支援専門員協会  
四日市(歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーション連絡協議会・訪問リハビリテーション連絡協議会・市保健委員会)

16

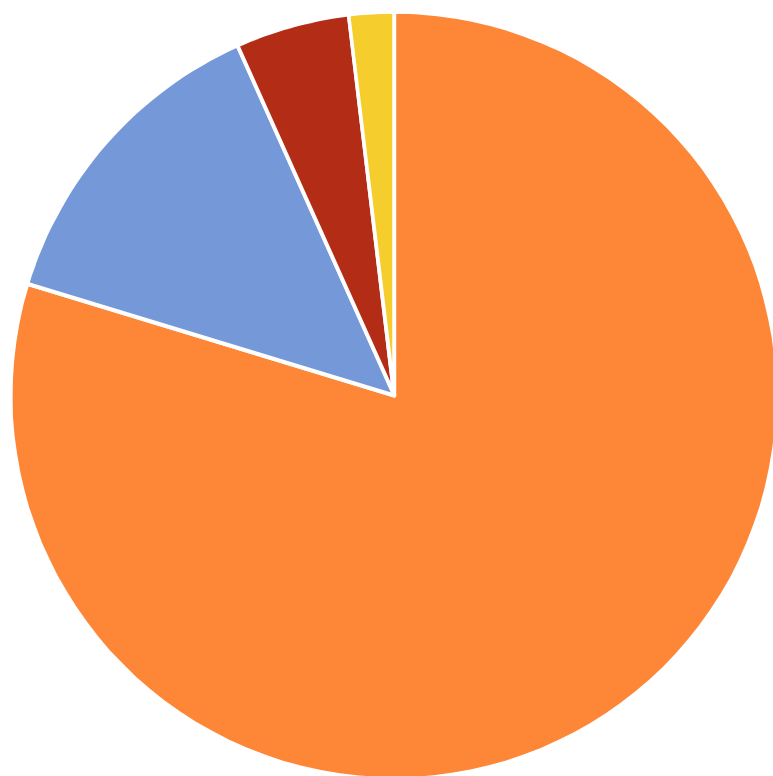
# 四日市市における死亡場所の変化



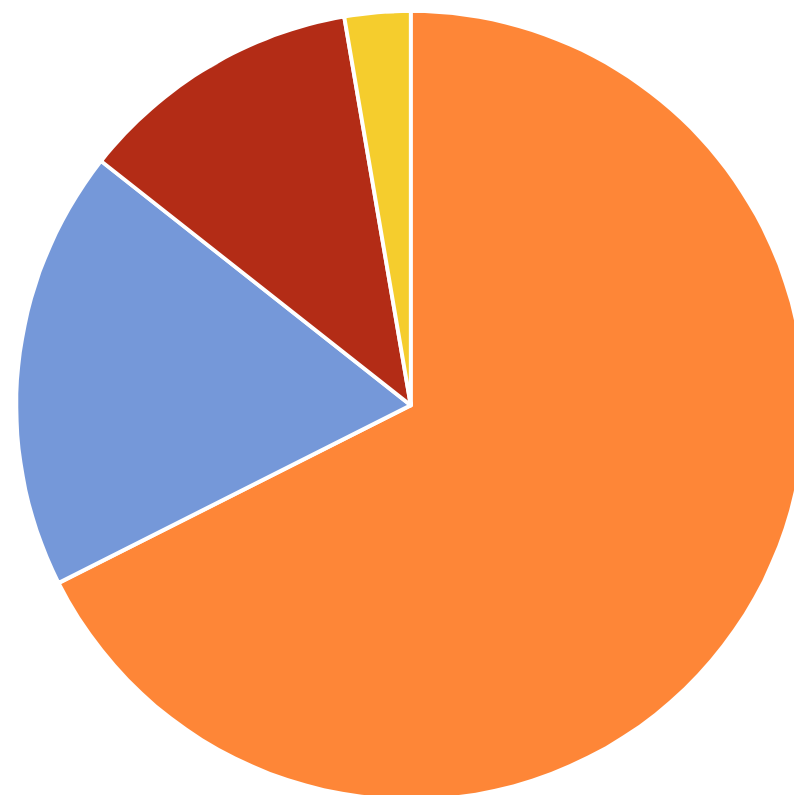


# 四日市市における死亡場所の変化

平成19年

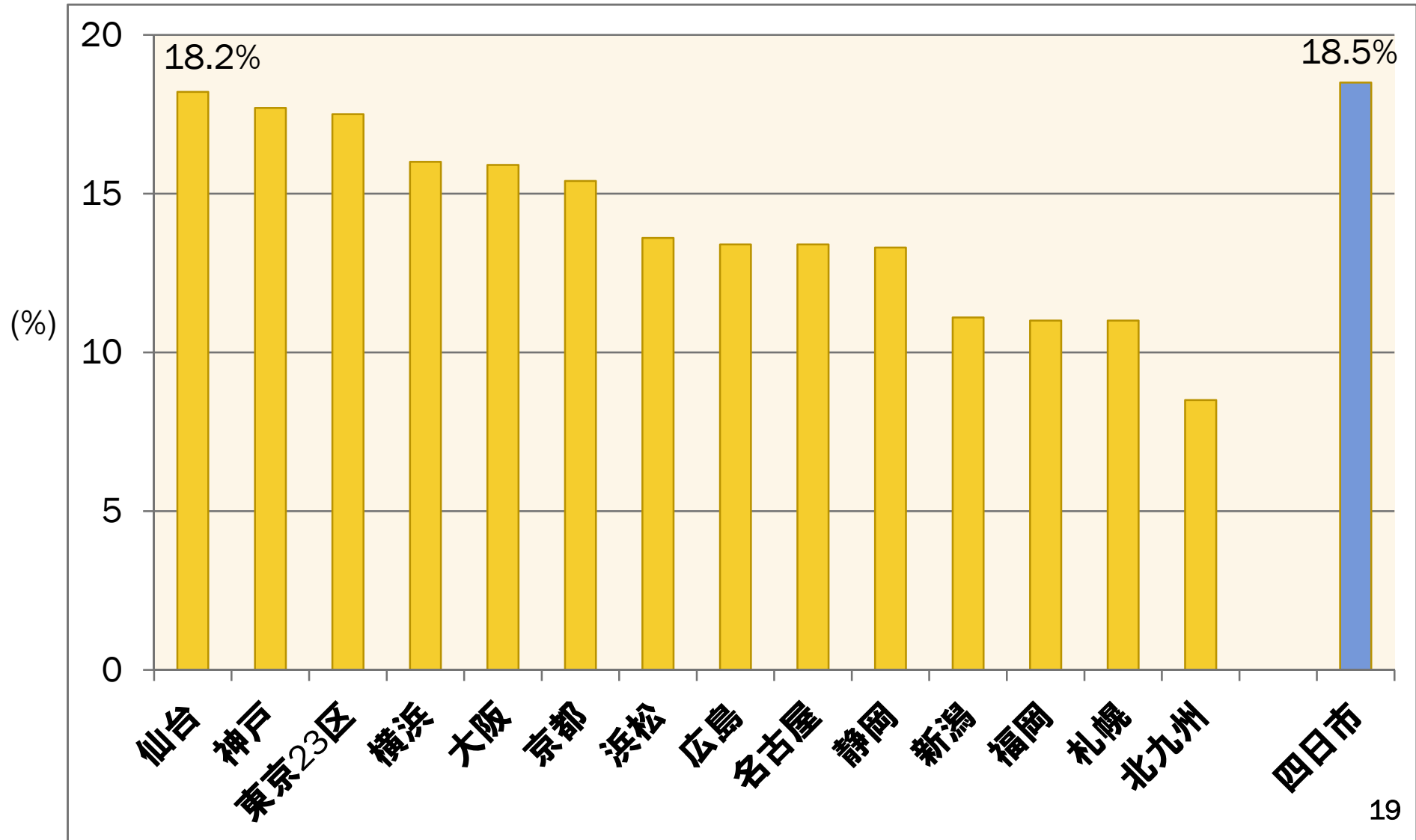


平成27年



■ 病院 ■ 自宅 ■ 施設 ■ その他

# 全国主要都市の在宅看取り率 (平成24年)



# 四日市モデルの成果(看取りの場)

	四日市 平成19年	四日市 平成27年	全国 平成27年
自宅	13.6%	18.1%↑	12.7%
施設	4.8%	11.7%↑	8.6%
病院	79.7%	67.6%↓	76.6%

自宅・施設の看取りは進み、病院死は全国最少レベルに

# いしが在宅ケアクリニックの概要 (在宅ホスピス型)

2009年7月開院

三重県四日市市:人口31.2万人

緩和ケアを中心としたクリニック

(現在訪問中)

自宅 292名

施設 171名

年間在宅看取り数

H27 312名(西日本一)

H28 274名



## チームZAITAKU 34名

常勤医師	7名	看護師	12名
非常勤医師	1名	医療事務	11名
		ケアマネジャー	3名

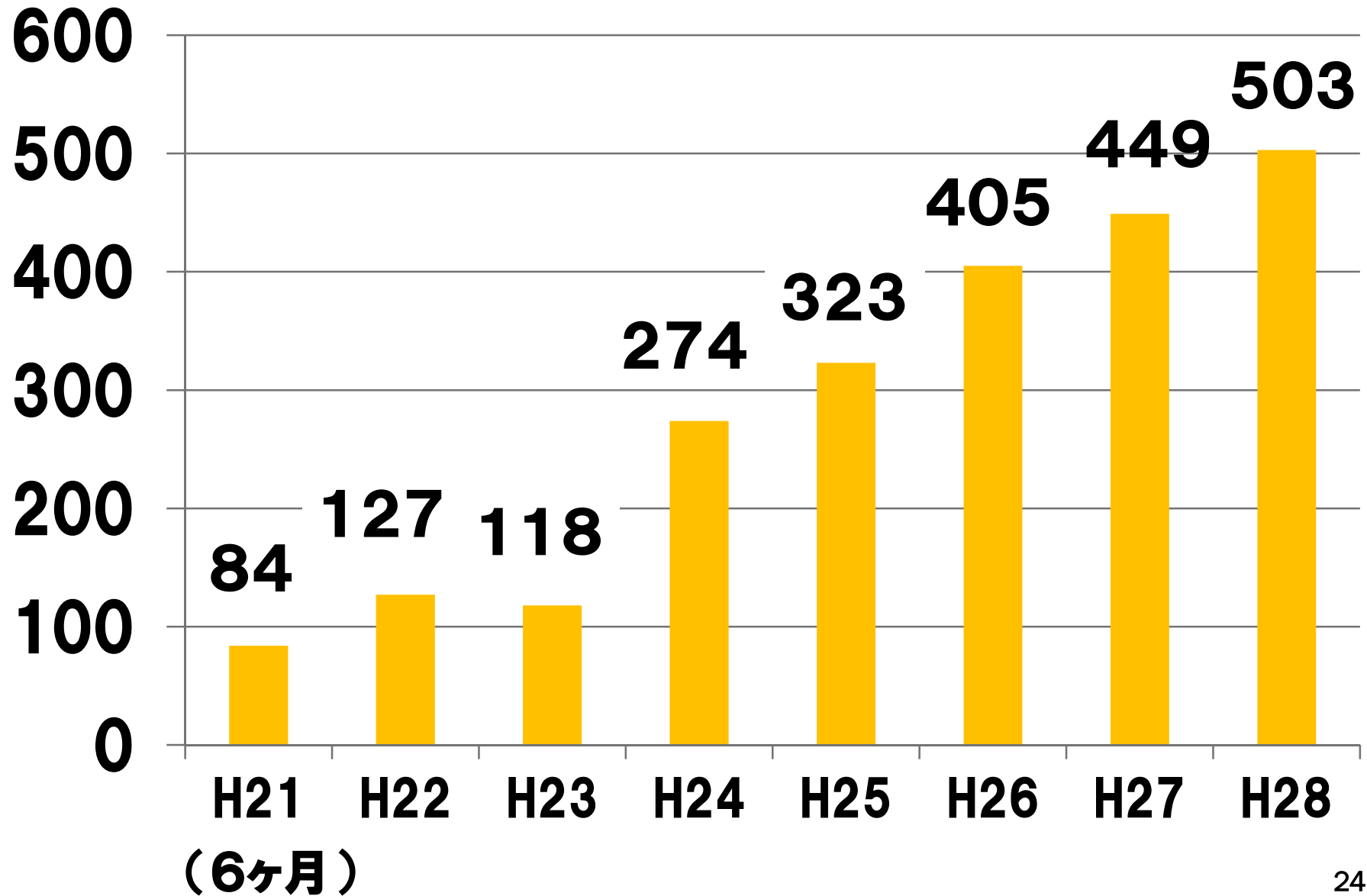


クリニックから概ね半径約10km以内  
または車で約30分以内の地域



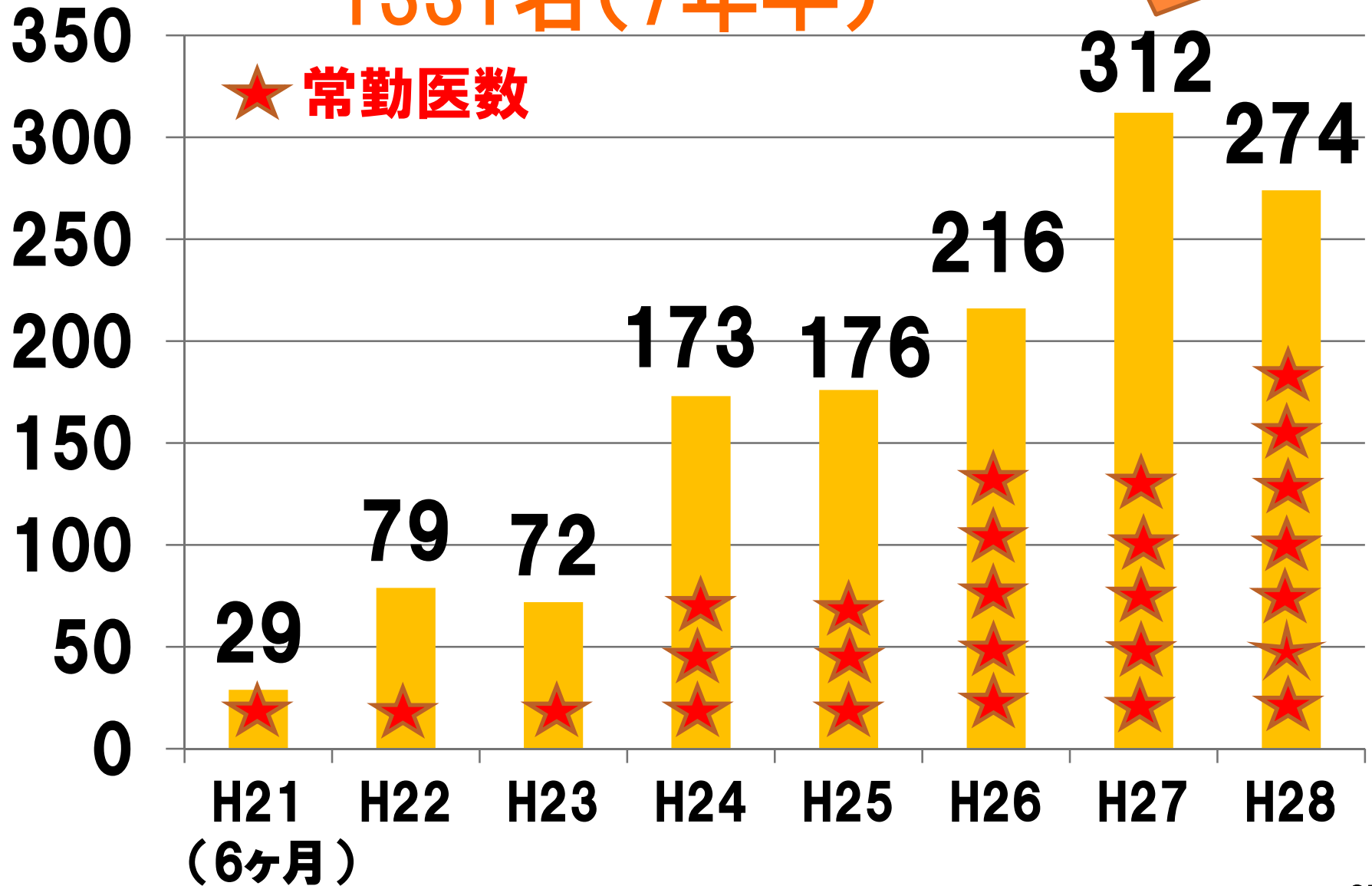
**いしが**  
**在宅ケアクリニック**

# 新規訪問患者数



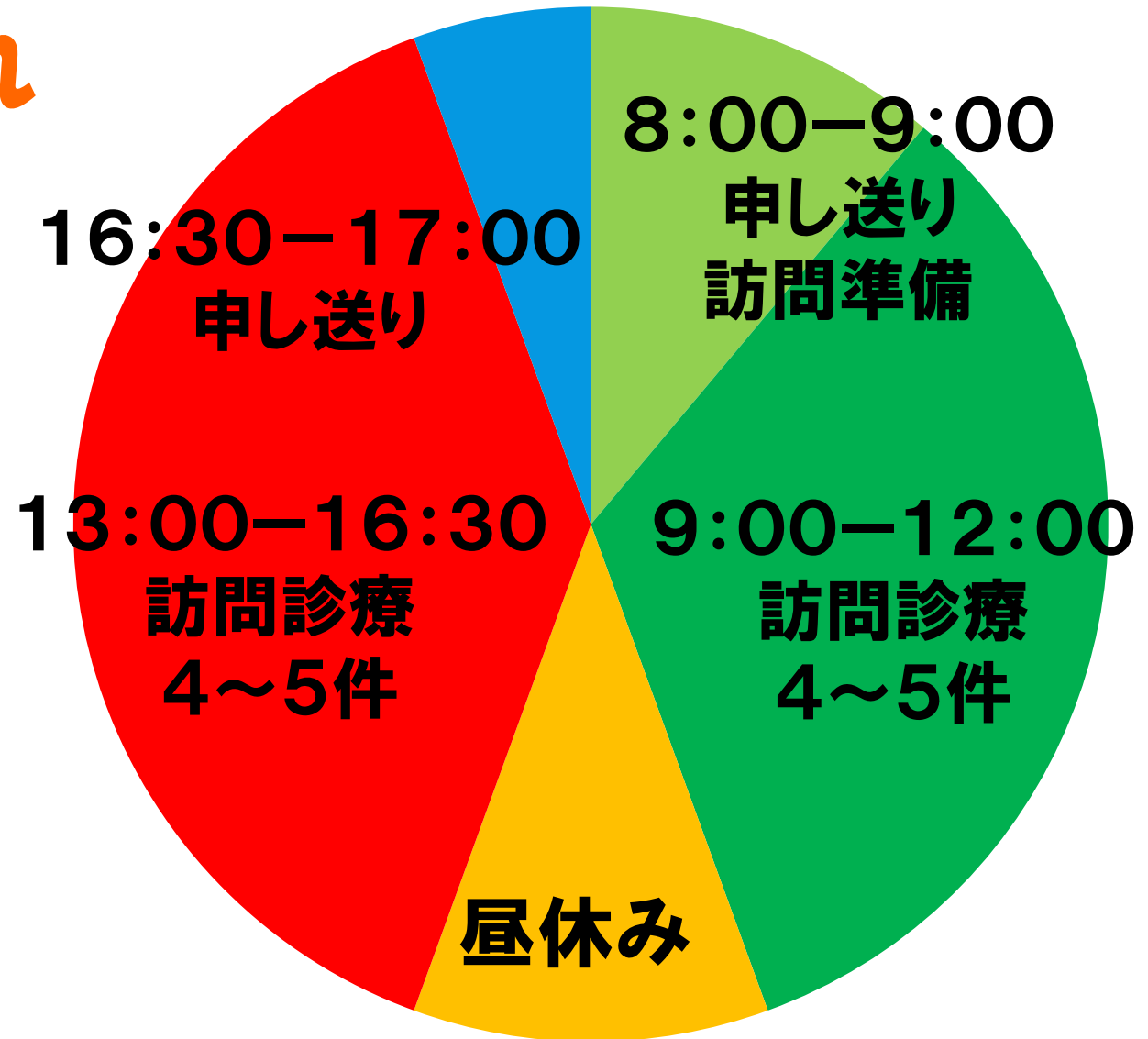
# 在宅看取り数 1331名(7年半)

西日本  
第1位





# 1日の流れ



夜間休日は当番医師がすべて対応

# 時間外の往診

平日 17時～翌朝8時(15時間)

平均 1.94 回

休日 8時～翌朝8時(24時間)

平均 6.22 回

# 当院の基本的考え方

地域とのつながりを大切に

- ◆ 訪問看護ステーションを作らない
- ◆ 入院施設を作らない
- ◆ 施設を作らない

スタッフが疲弊しない仕組みづくり

- ◆ 17時終業、有給休暇は全消化
- ◆ 1日の訪問件数は基本10件まで
- ◆ 夜間休日はすべて医師が対応
- ◆ 看護師は日中の業務に専念(連携・診療補助・運転)

人材育成

- ◆ 医師らしくない多様な人材を集める
- ◆ 緩和ケアのプロフェッショナルを育成する
- ◆ 医療は究極のサービス業であるという意識

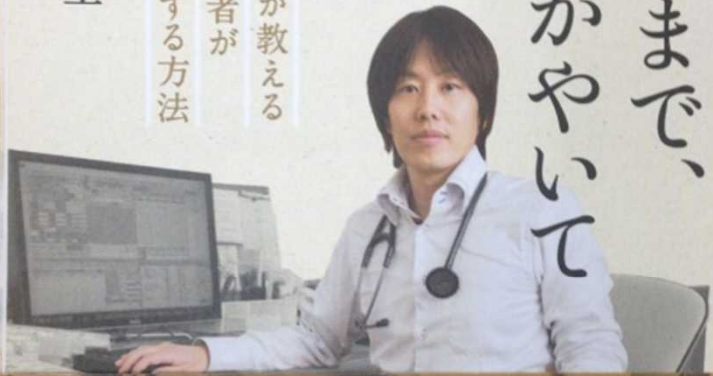
# 在宅医療を普及させるために

- ◆ 講演活動
- ◆ いのちの授業(小中学校)
- ◆ ホームページ
- ◆ 書籍

石賀丈士

緩和ケア医が教える  
末期がん患者が  
人生を全うする方法

最期まで、  
命かがやいて



14年間で1000人を看取ってきた  
39歳の若手緩和ケア医が語る

末期がん患者が最期まで  
自分らしく過ごす在宅医療とは

残された日を  
いちばんの  
親友と  
過ごした青年

余命2か月を  
乗り越え、  
娘の成人式を  
見届けた母

念願の  
クリスマス  
パーティーで、  
家族に囲まれて  
旅立った父



幻冬舎 定価(本体0000円+税)

自分も家族も  
「満足死」のすすめ

人生の最後に  
笑顔で死ねる  
31の心得



延命治療、抗ガン剤、胃ろう、腹水、  
お迎え現象、死の瞬間……すべてを語る

1000人を看取った  
緩和ケア医が明かす  
後悔しない生き方

石賀丈士  
いしが在宅ケアクリニック院長  
マキノ出版